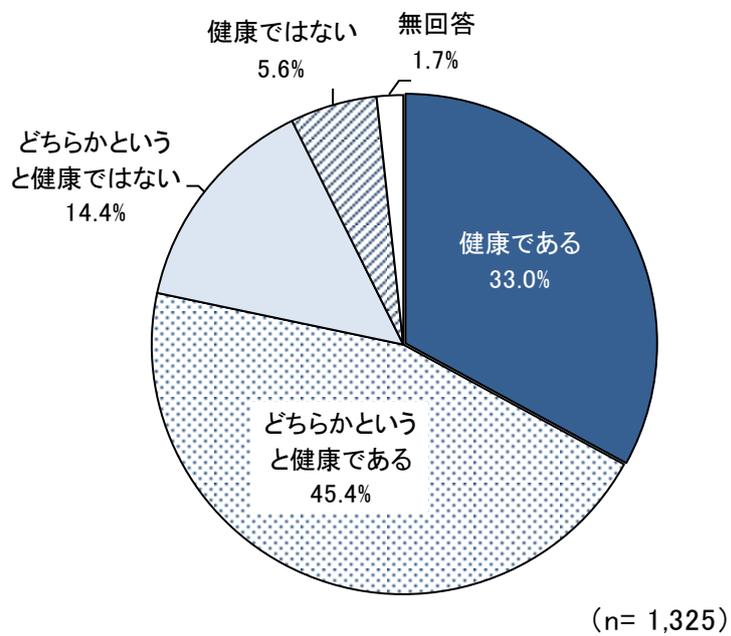


4. 「地域福祉」について

「問 25 健康状態」－1

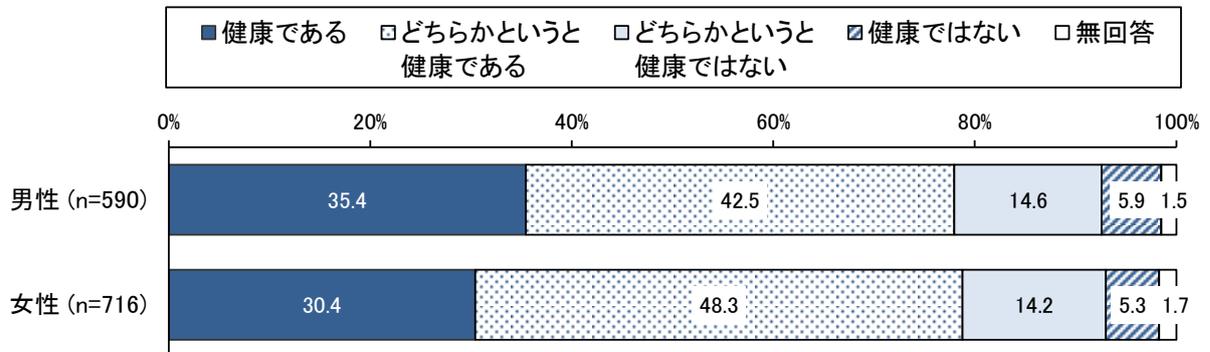
自身の健康状態をどう感じているか尋ねたところ、「健康である」が3割強、「どちらかという健康である」が4割半ばで、これらを合わせた8割近くの人が自身を健康と感じている。



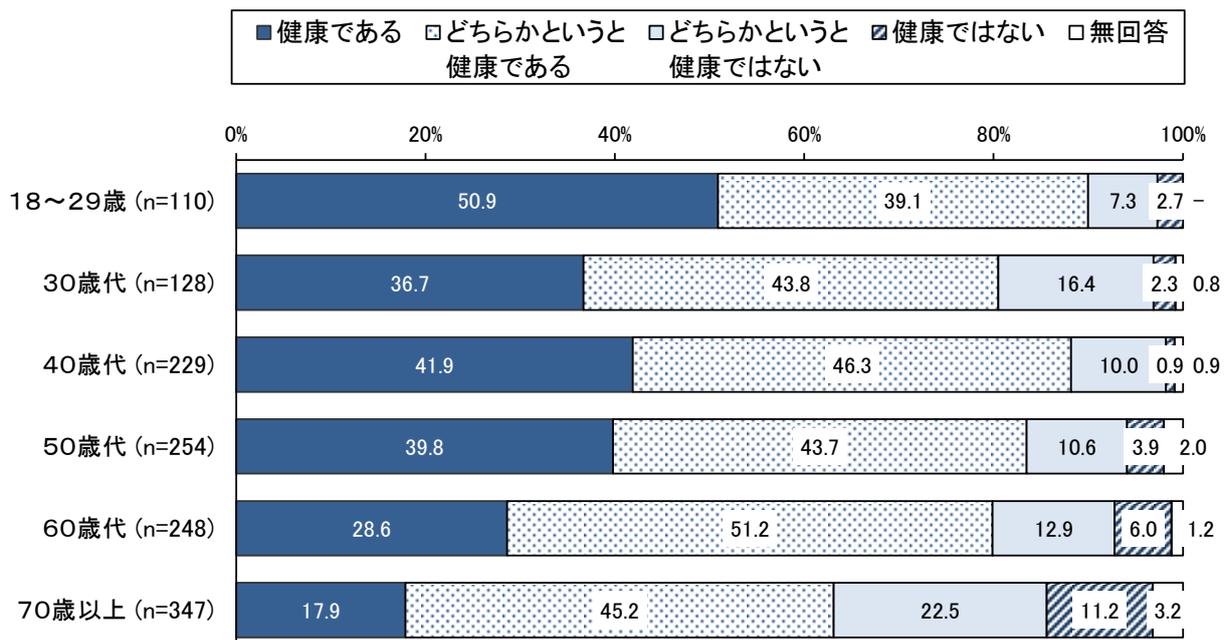
「問 25 健康状態」－ 2

性別にみると、「健康である」は男性の方が女性よりやや高くなっている。
 年代別にみると、おおむね若い年代の方が「健康である」の割合が高い傾向となっている。

【問 25_性別】



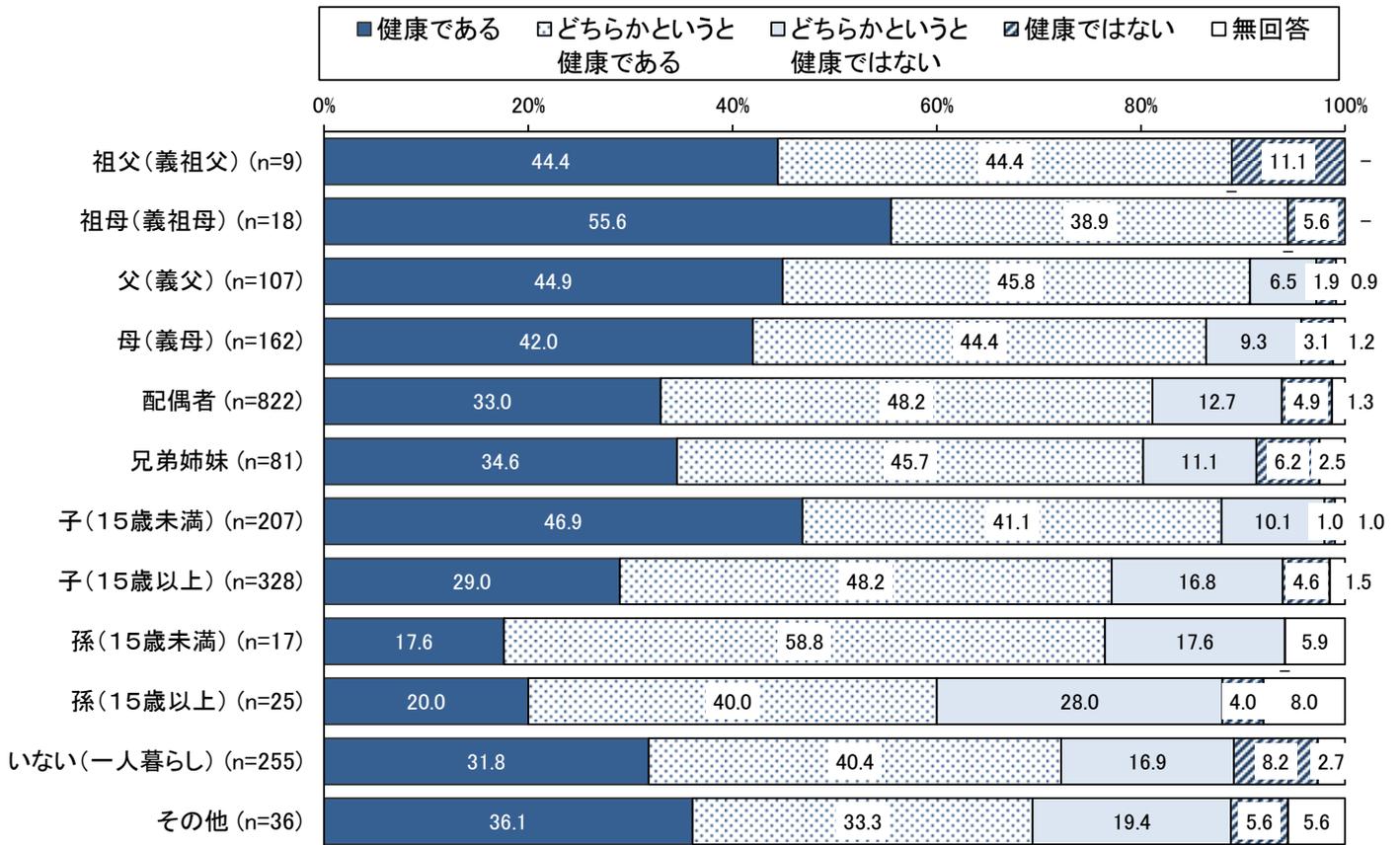
【問 25_年代別】



「問 25 健康状態」－ 3

同居家族別にみると、15歳未満の子供と同居している人は「健康である」の割合が4割半ばと高くなっている一方、15歳以上の子供と同居している人は3割弱と低くなっている。一人暮らしの人は、全体に比べると自身を健康と感じている割合はやや低い。

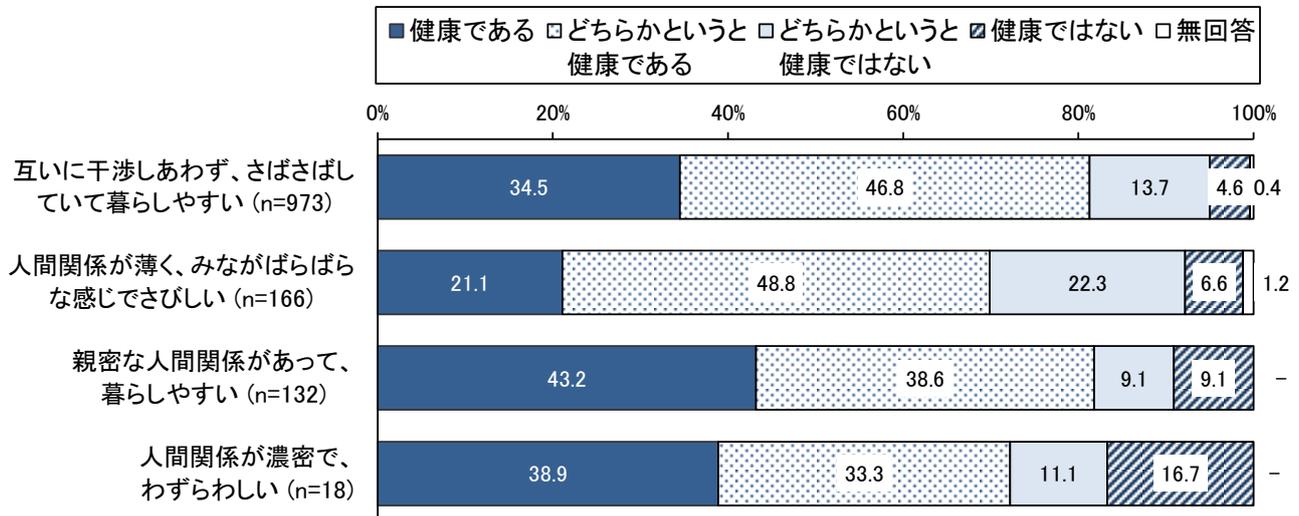
【問 25_同居家族別】



「問 25 健康状態」 - 4

隣近所との付き合い方の感じ方別にみると、『親密な人間関係があって、暮らしやすい』という人で「健康である」が4割を超え最も高くなっている。

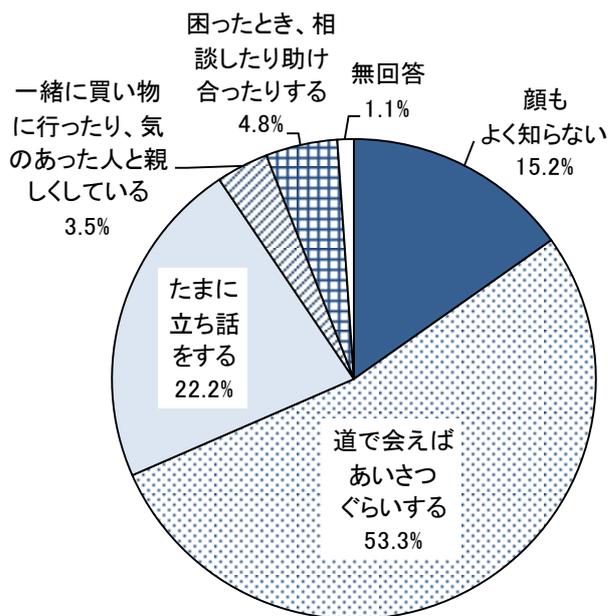
【問 25_隣近所との付き合い方の感じ方別】



「問 26 隣近所との付き合い方」－ 1

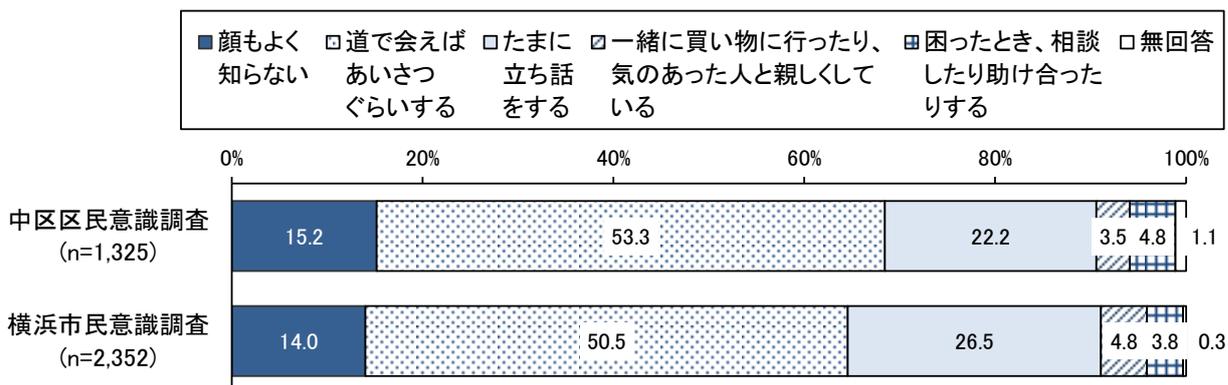
隣近所との付き合い方については、「道で会えばあいさつぐらいする」が5割を超え最も高くなっている。次いで、「たまに立ち話をする」が2割強、「顔もよく知らない」が1割半ばの順となっている。「困ったとき、相談したり助け合ったりする」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」はそれぞれ1割未満である。

横浜市民意識調査（平成 30 年度）と比較すると、「たまに立ち話をする」はやや低く、「道で会えばあいさつぐらいする」はやや高くなっている。



(n= 1,325)

【平成 30 年度横浜市民意識調査との比較】

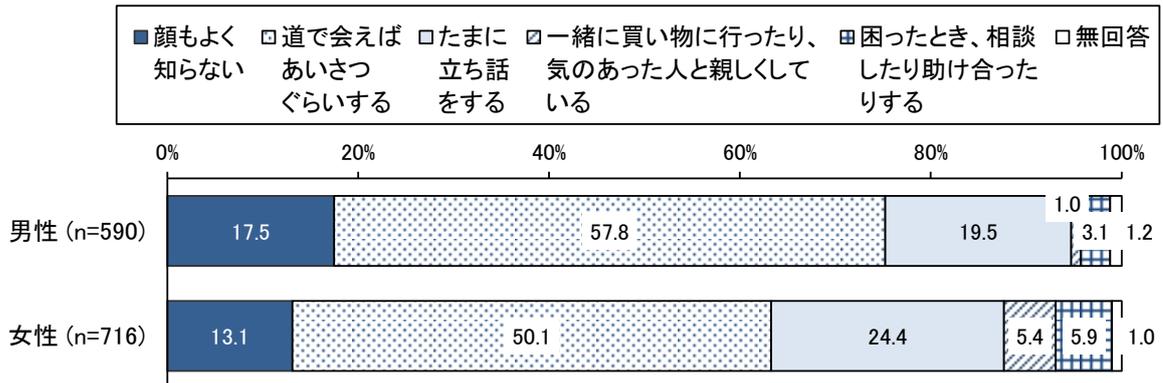


「問 26 隣近所との付き合い方」－ 2

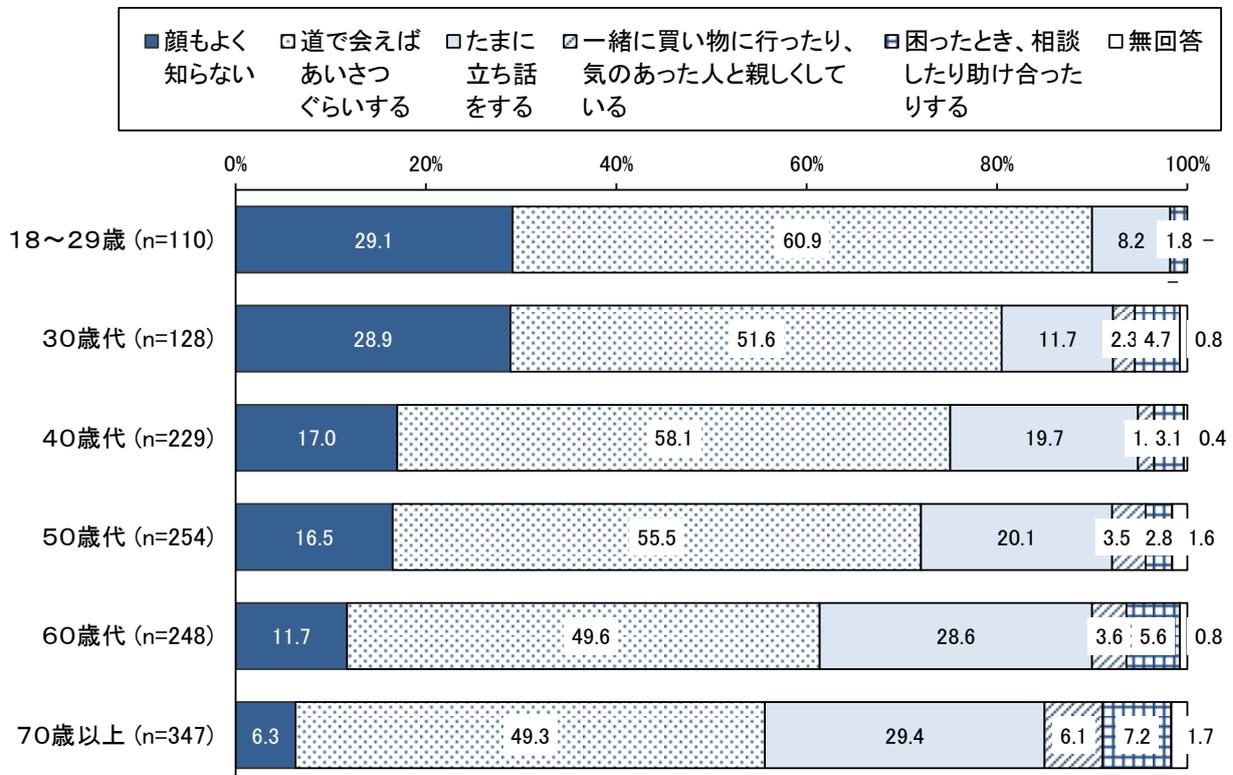
性別にみると、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」「たまに立ち話をする」は女性の方が男性より高く、女性の方がより深い付き合い方をしていることがわかる。

年代別にみると、年代が上がるにつれ親しく近所付き合いをしている割合が高くなっている。一方、18～29歳・30歳代の若年層では、「顔もよく知らない」が3割近くにのぼっている。

【問 26_性別】



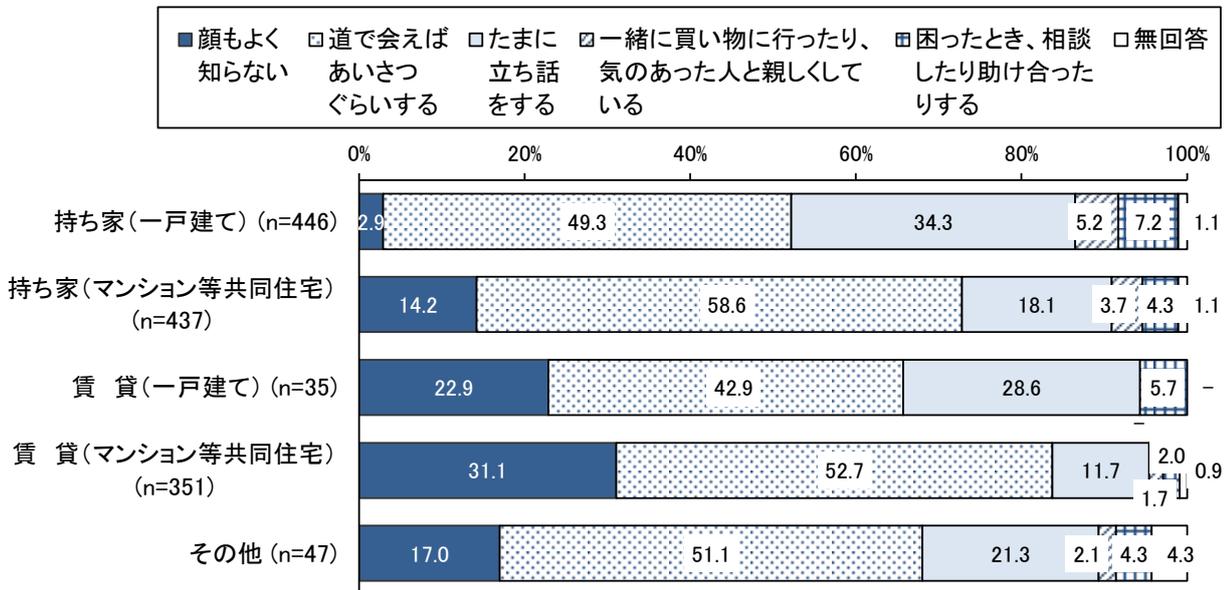
【問 26_年代別】



「問 26 隣近所との付き合い方」－ 3

居住形態別にみると、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」「たまに立ち話をする」は持ち家（一戸建て）居住者が最も高くなっている。賃貸（マンション等共同住宅）居住者では、「顔もよく知らない」が3割を超えている。

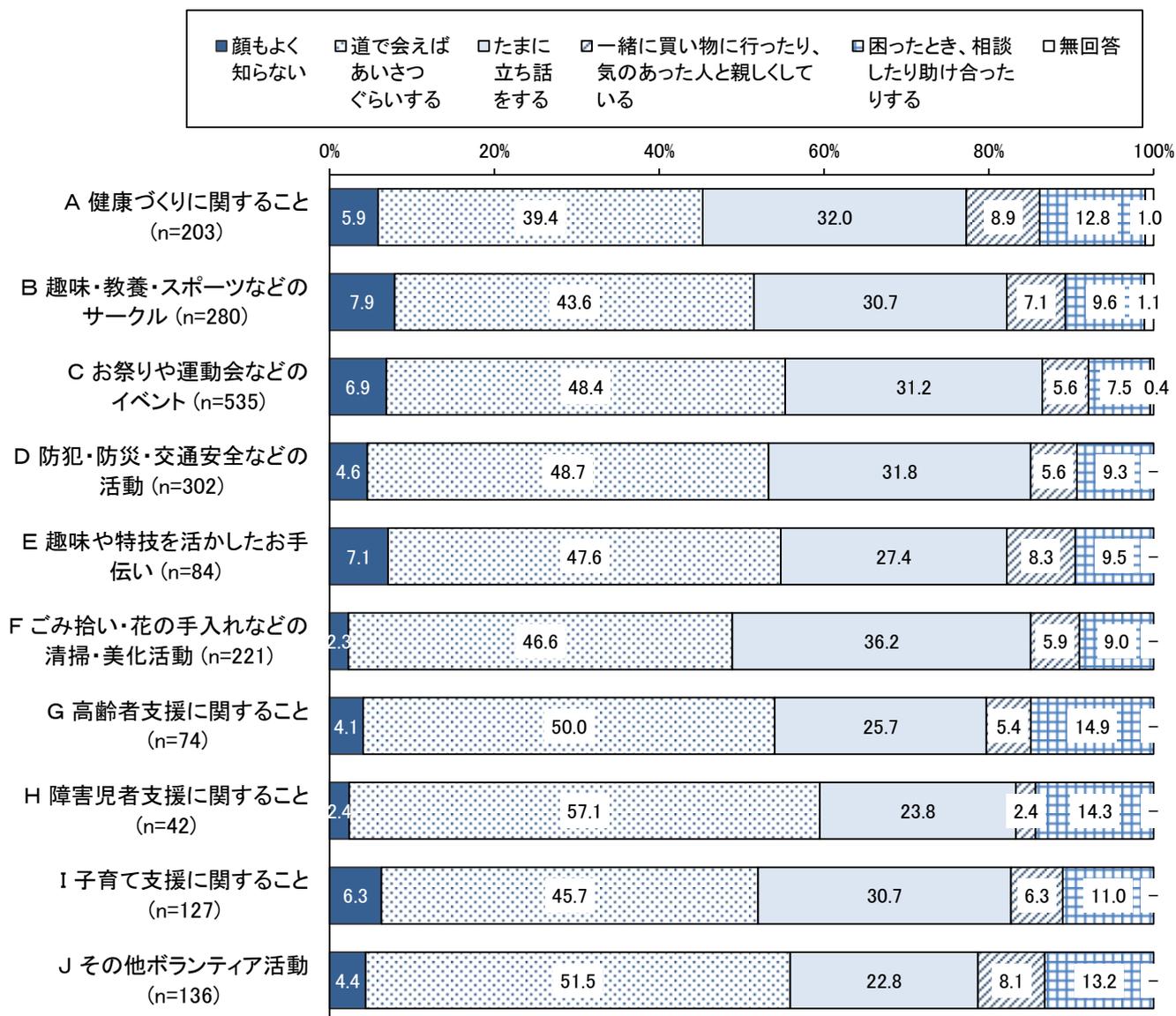
【問 26_居住形態別】



「問 26 隣近所との付き合い方」－ 4

地域活動参加経験別にみると、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の割合が1割を超えるのは、『高齢者支援に関すること』『障害児者支援に関すること』『その他ボランティア活動』『健康づくりに関すること』『子育て支援に関すること』の参加経験者である。なお、どの活動についても参加経験者は「顔もよく知らない」が1割未満であり、隣近所との付き合い方が比較的深いことがうかがえる。

【問 26_地域活動参加経験別】(A～J 参加経験者での集計結果)

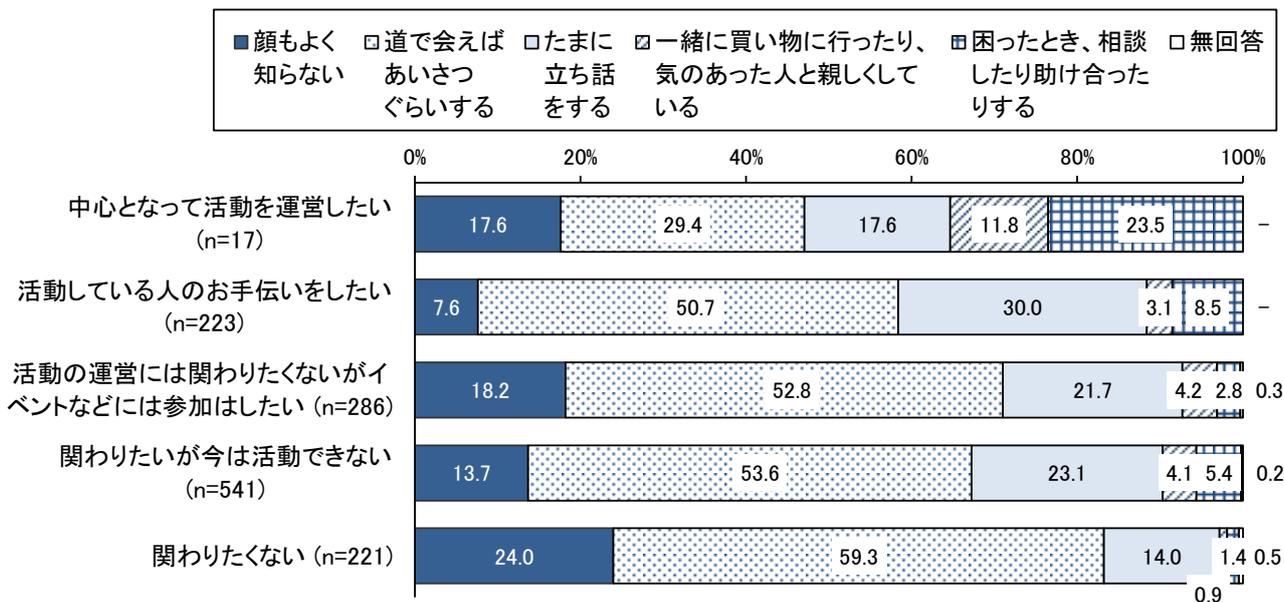


「問 26 隣近所との付き合い方」－ 5

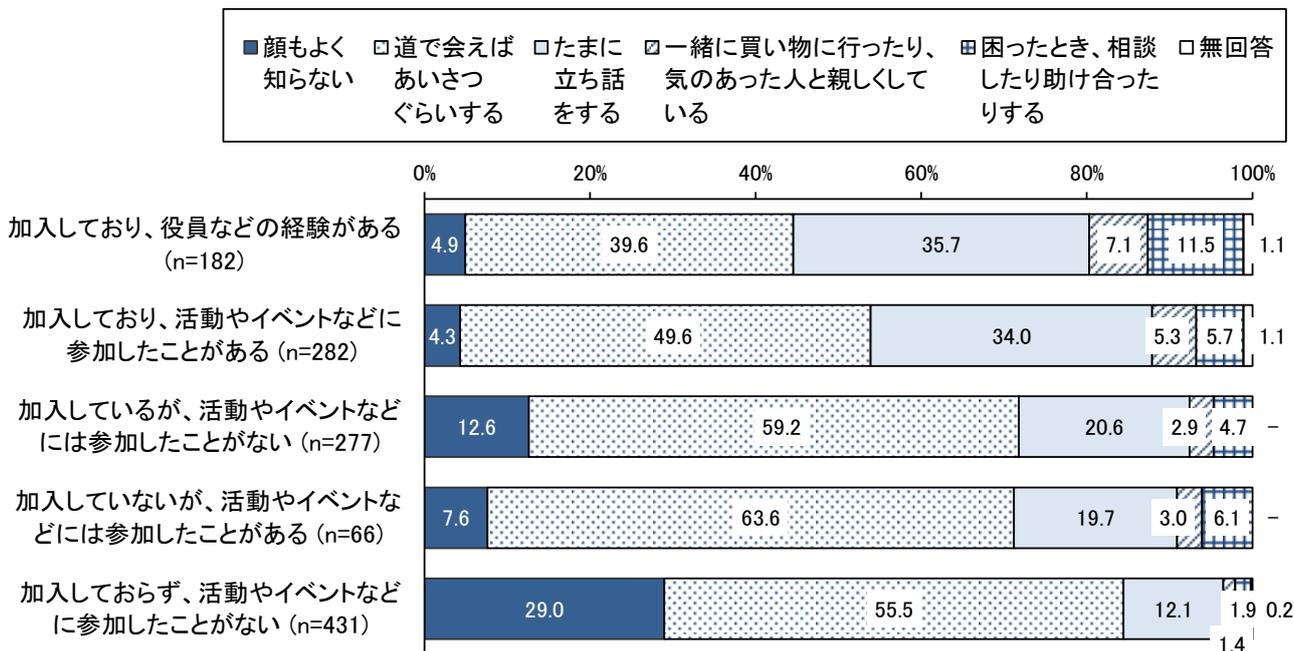
地域活動に関する考え方別にみると、標本数が少ないものの、『中心となって活動を運営したい』という人は「困ったとき、相談したり助け合ったりする」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」の割合が他属性に比べ高くなっている。『関わりたくない』という人は、「顔もよく知らない」の割合が最も高い。

自治会町内会加入・活動等参加状況別にみると、『加入しており、役員などの経験がある』という人は「困ったとき、相談したり助け合ったりする」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている」「たまに立ち話をする」の割合が他属性に比べ高い。

【問 26_地域活動に関する考え方別】



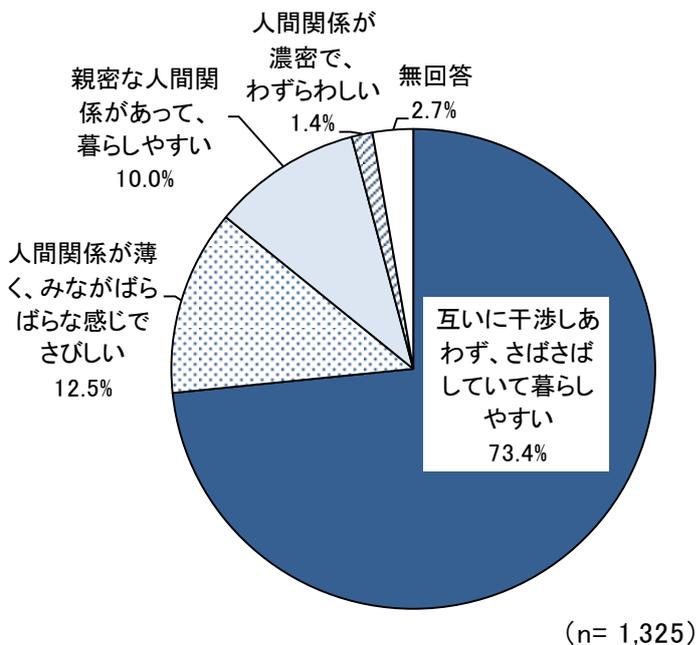
【問 26_自治会町内会加入・活動等参加状況別】



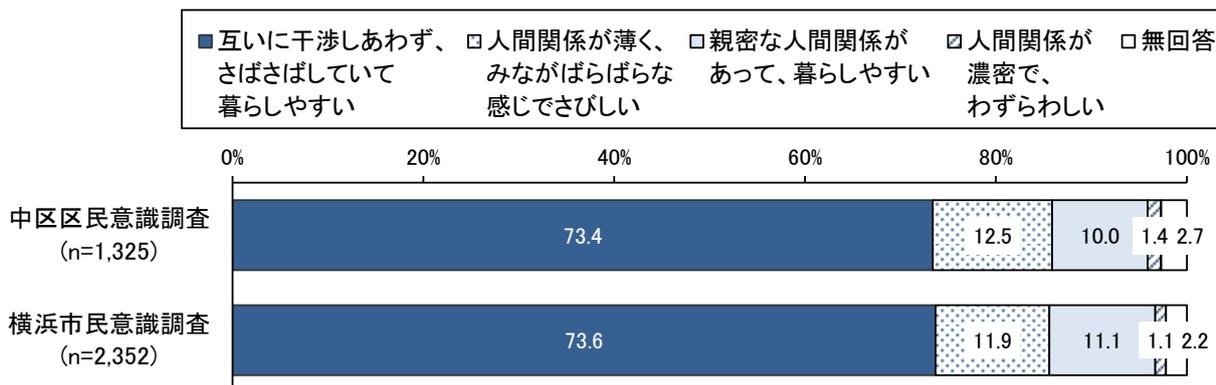
「問 27 隣近所との付き合いをどう感じているか」－ 1

隣近所との付き合い方をどう感じているかについては、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」が7割を超え最も高くなっている。「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」は1割強、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は1割、「人間関係が濃密で、わずらわしい」はわずかとなっている。

横浜市民意識調査（平成 30 年度）との比較では、大きな差はみられなかった。



【平成 30 年度横浜市民意識調査との比較】

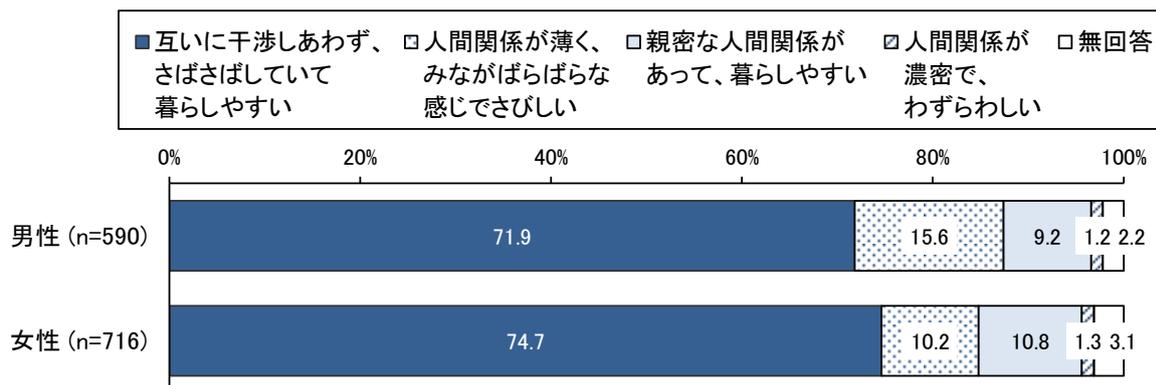


「問 27 隣近所との付き合いをどう感じているか」 - 2

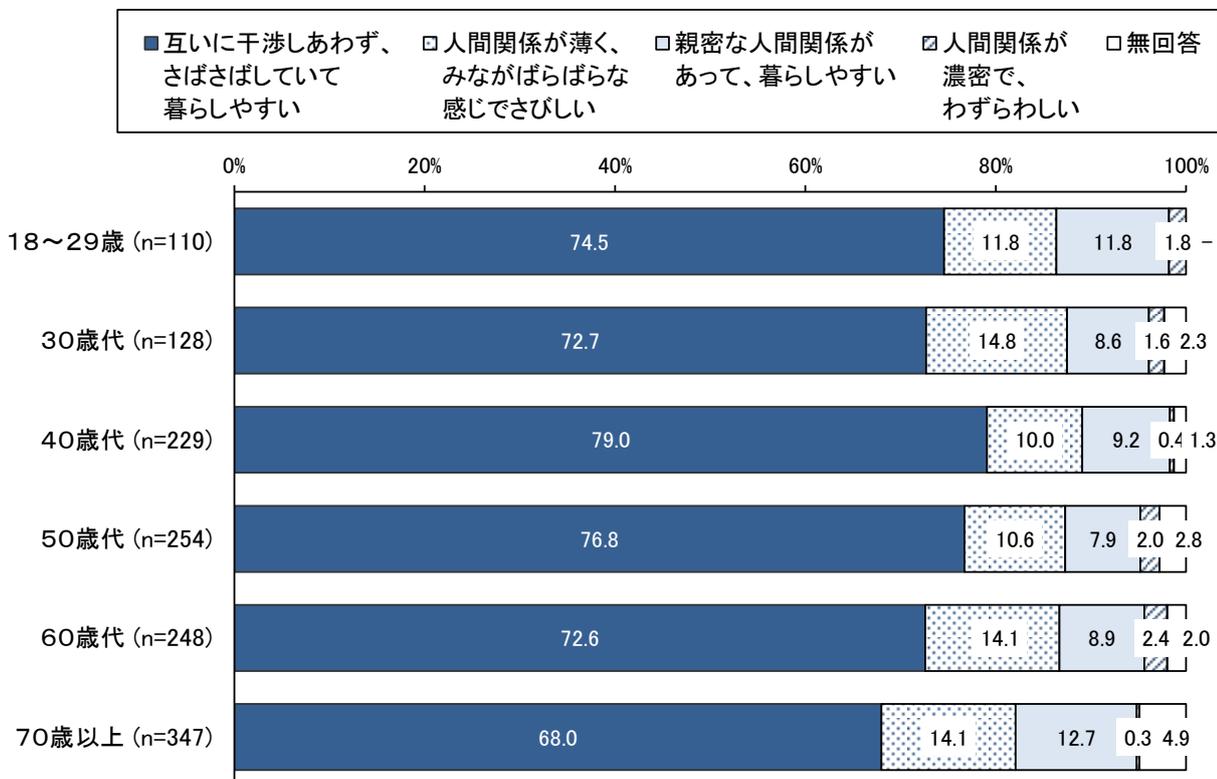
性別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は女性の方がやや高く、「人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい」は男性の方がやや高くなっている。

年代別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は60歳代以下の各年代では7割以上、特に40歳代では8割近くにのぼる。一方、70歳以上では7割を切っており、他の年代に比べやや低くなっている。「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は、70歳以上が最も高く、次いで18～29歳となっており、この2つの年代のみ1割を超えている。

【問 27_性別】



【問 27_年代別】

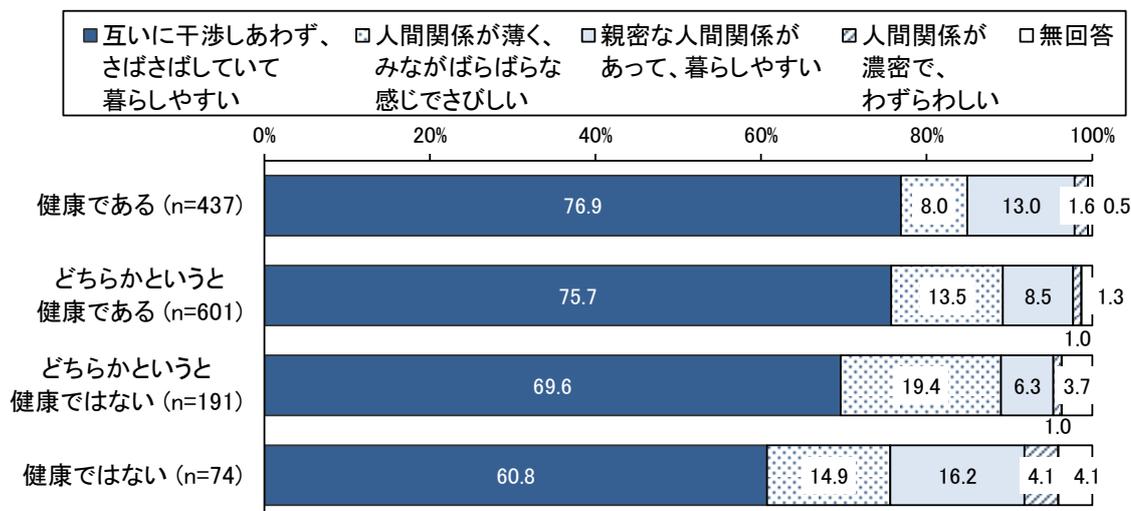


「問 27 隣近所との付き合いをどう感じているか」 - 3

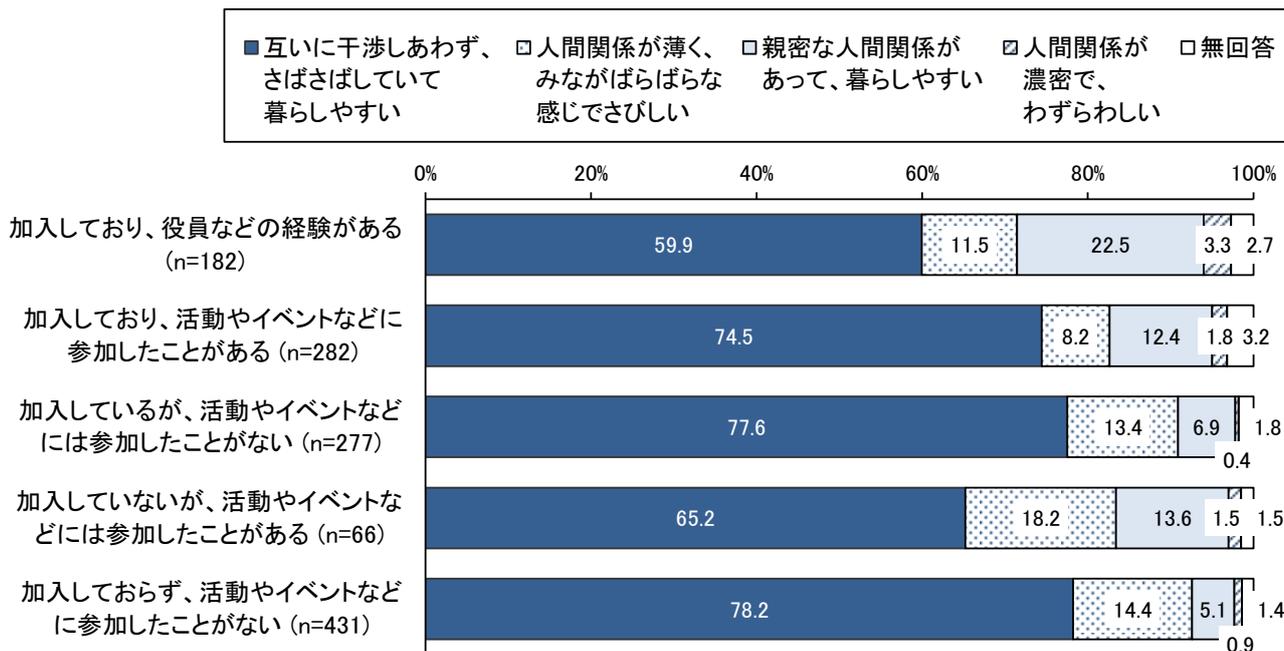
健康状態別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は、『健康ではない』という人が最も高く、次いで『健康である』という人となっている。

自治会町内会加入・活動等参加状況別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は『加入しており、役員などの経験がある』という人が2割を超え最も高くなっている。次いで、『加入していないが、活動やイベントなどには参加したことがある』『加入しており、活動やイベントなどに参加したことがある』がそれぞれ1割を超えている。自治会町内会加入者、または非加入者でも活動・イベント参加者の方が、隣近所と付き合いの深い人が多いことがうかがえる。

【問 27_健康状態別】

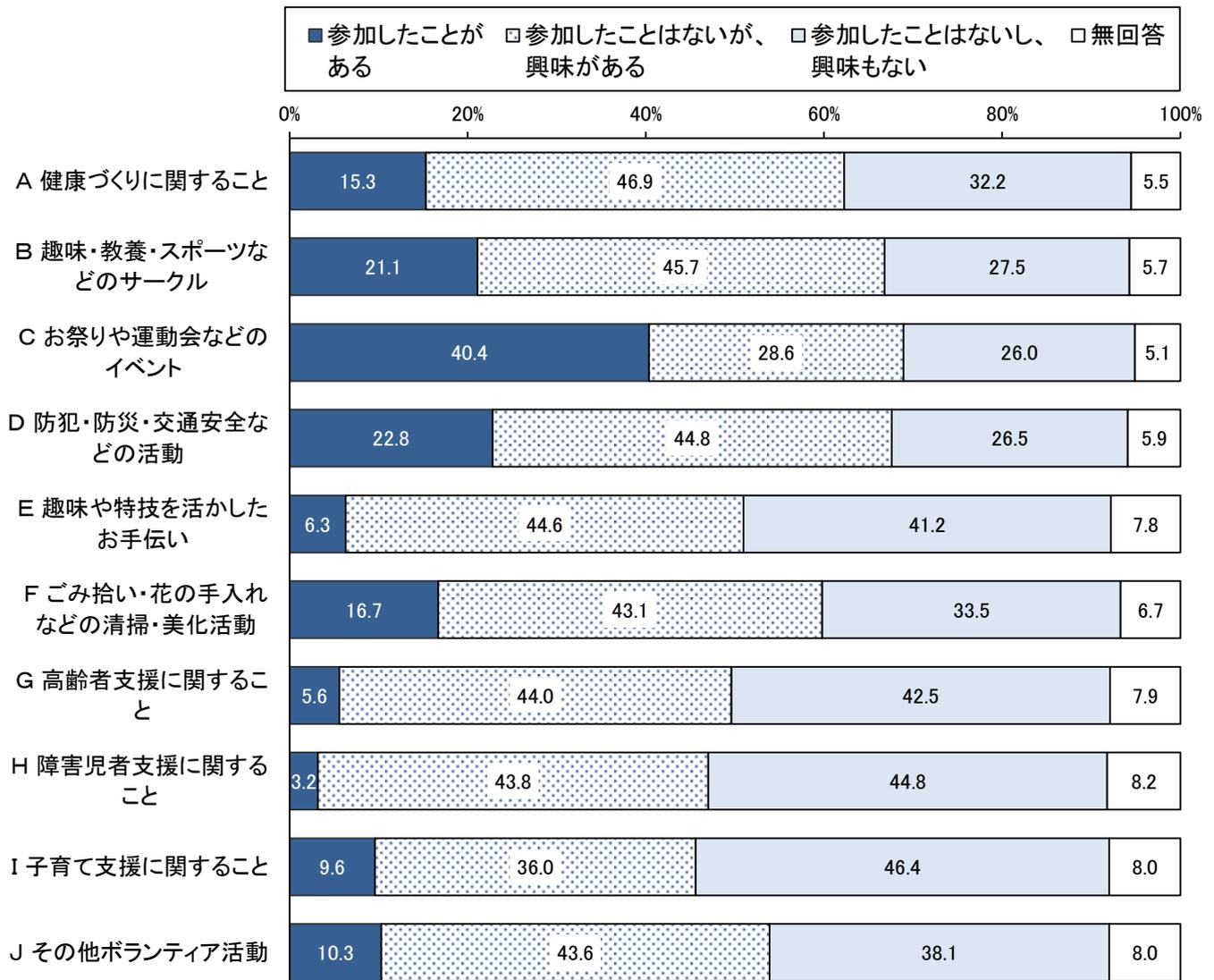


【問 27_自治会町内会加入・活動等参加状況別】



「問 28 地域活動の参加状況」－ 1

地域活動の参加状況について、参加経験の割合が最も高いのは「お祭りや運動会などのイベント」で4割を超えている。次いで、「防犯・防災・交通安全などの活動」「趣味・教養・スポーツなどのサークル」が2割強、「ごみ拾い・花の手入れなどの清掃・美化活動」「健康づくりに関すること」が1割半ばなどとなっている。

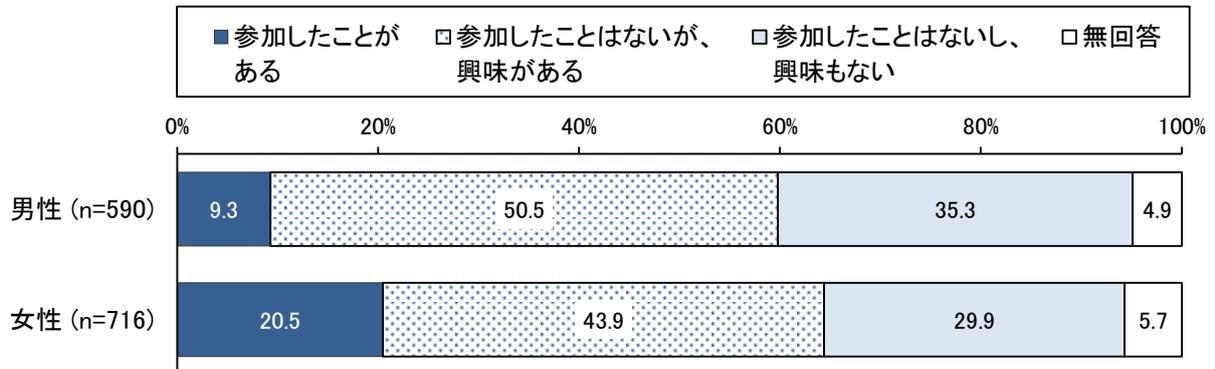


(n=1,325)

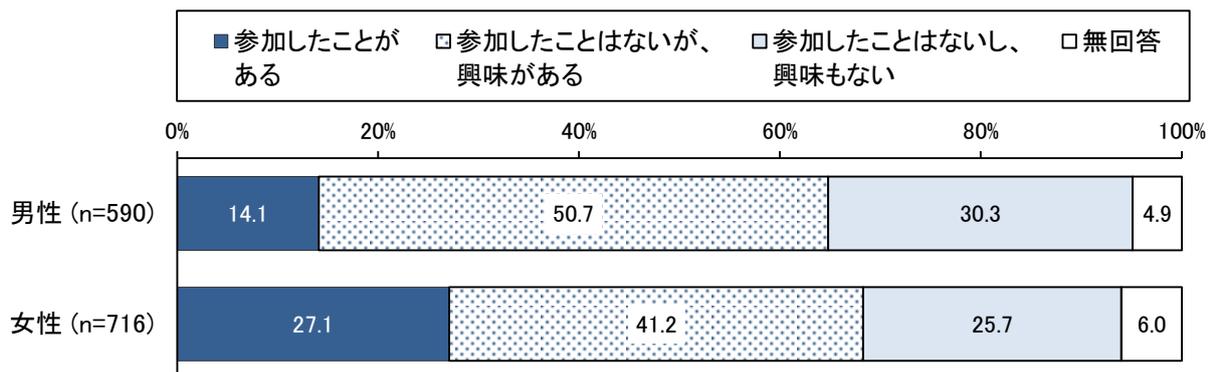
「問 28 地域活動の参加状況」－ 2

性別にみると、「お祭りや運動会などのイベント」「防犯・防災・交通安全などの活動」「趣味・教養・スポーツなどのサークル」をはじめ、ほとんどの活動で女性の方が男性より参加経験者の割合が高くなっている。

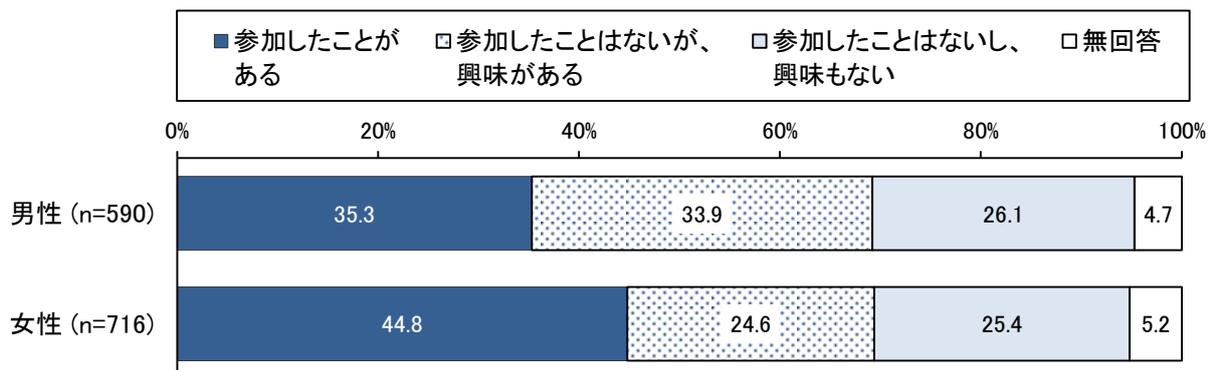
【問 28 A 健康づくりに関すること_性別】



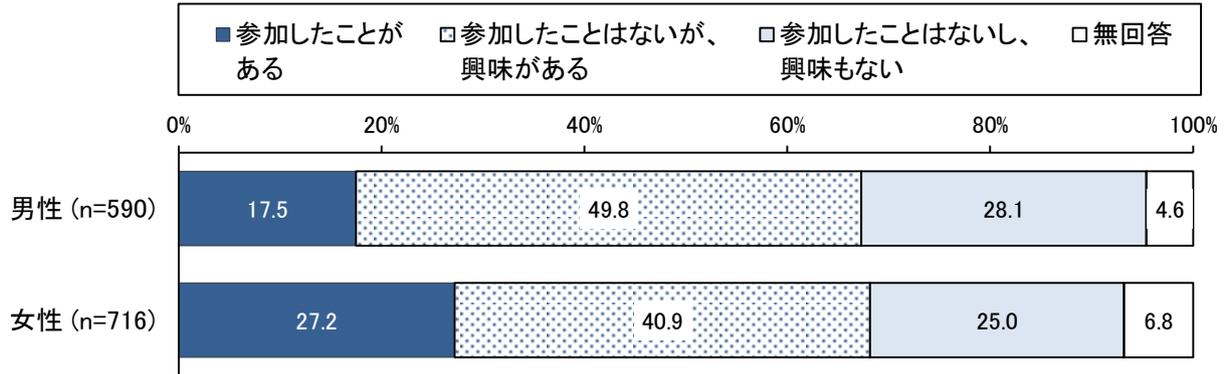
【問 28 B 趣味・教養・スポーツなどのサークル_性別】



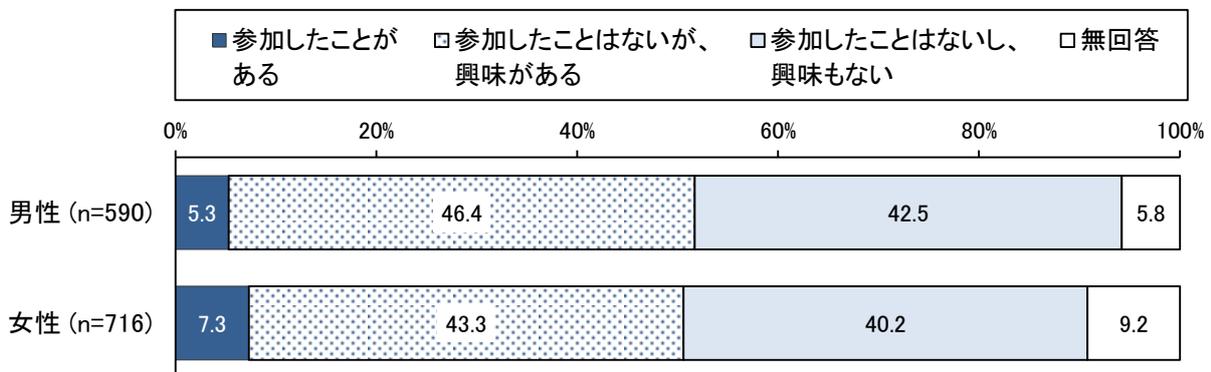
【問 28 C お祭りや運動会などのイベント_性別】



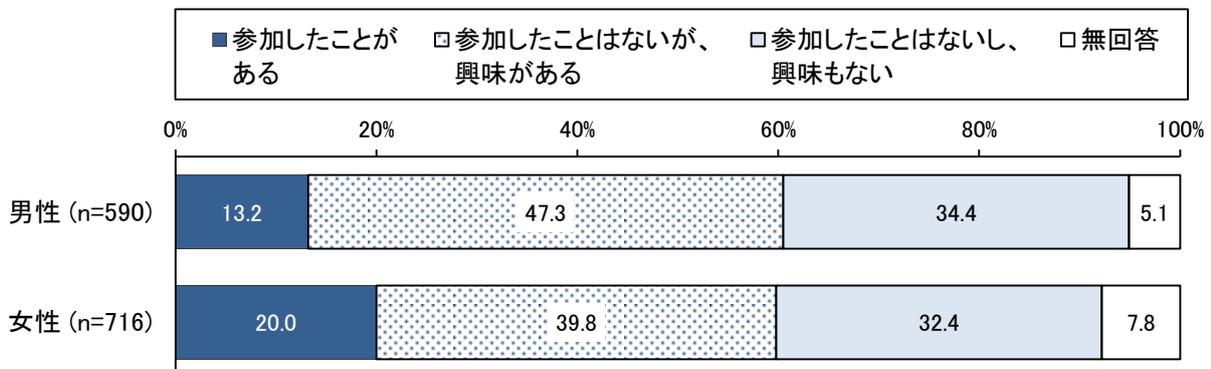
【問 28 D 防犯・防災・交通安全などの活動_性別】



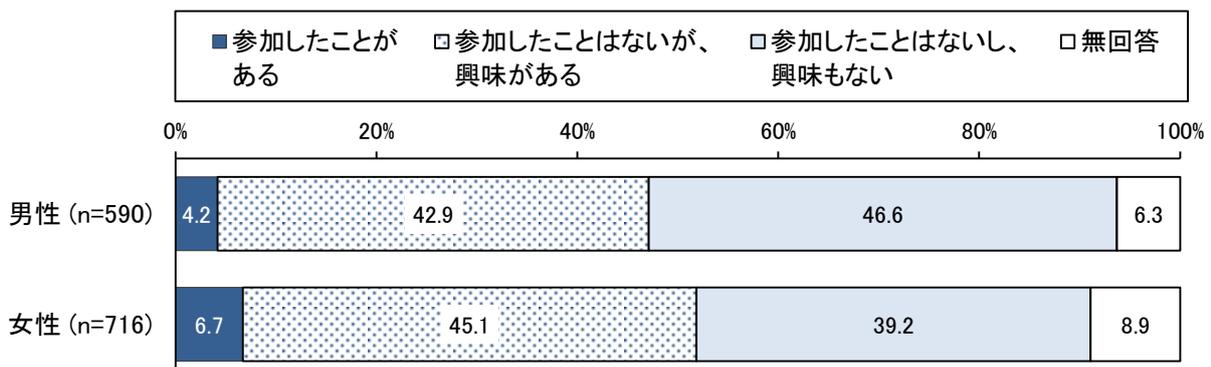
【問 28 E 趣味や特技を活かしたお手伝い_性別】



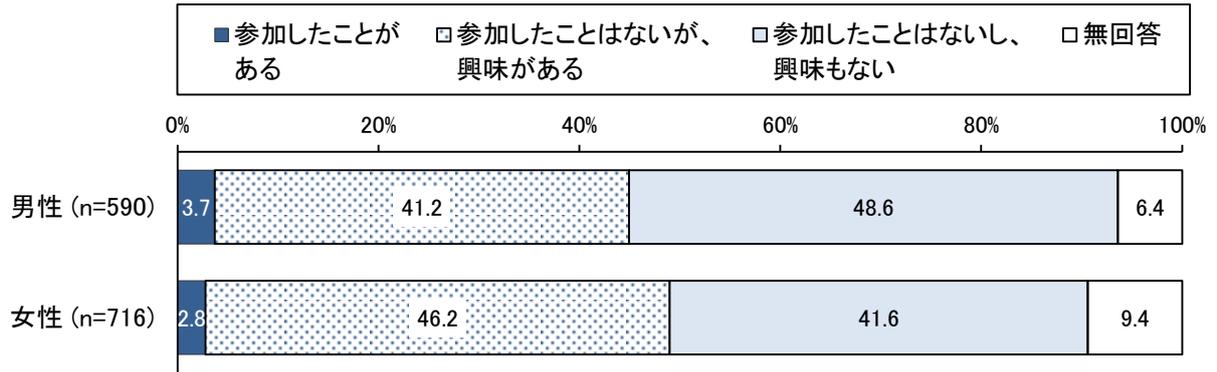
【問 28 F ごみ拾い・花の手入れなどの清掃・美化活動_性別】



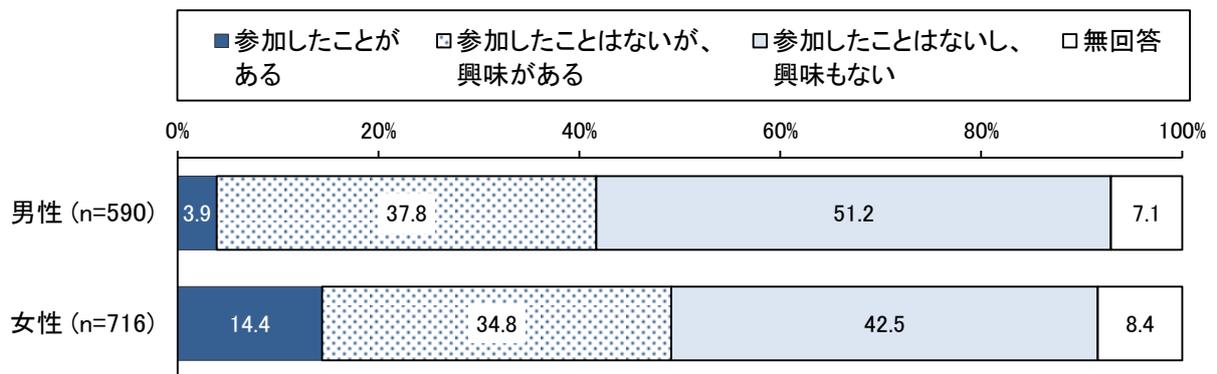
【問 28 G 高齢者支援に関すること_性別】



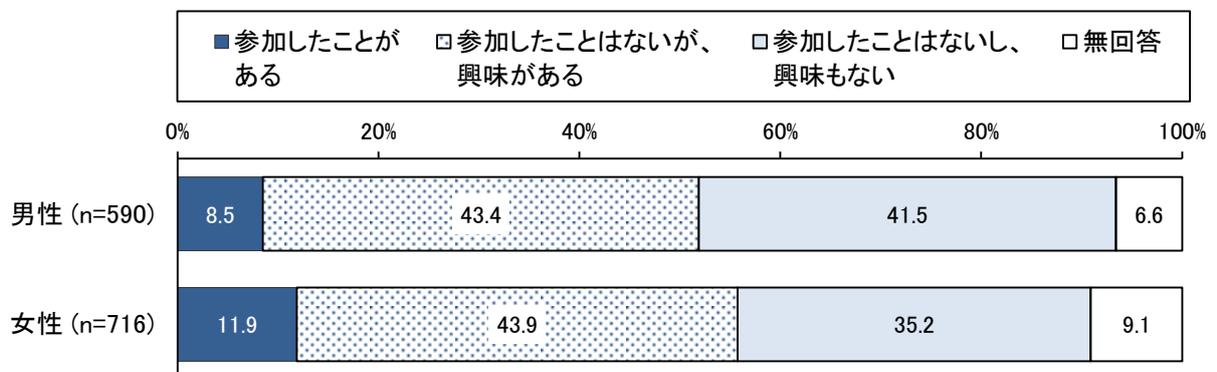
【問 28 H 障害児者支援に関すること_性別】



【問 28 I 子育て支援に関すること_性別】



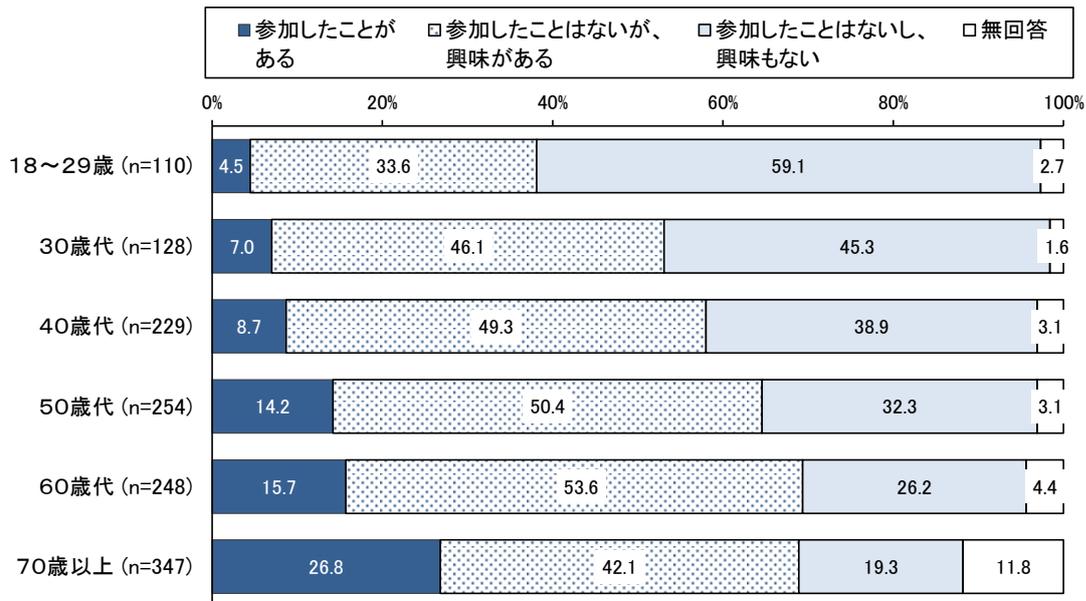
【問 28 J その他ボランティア活動_性別】



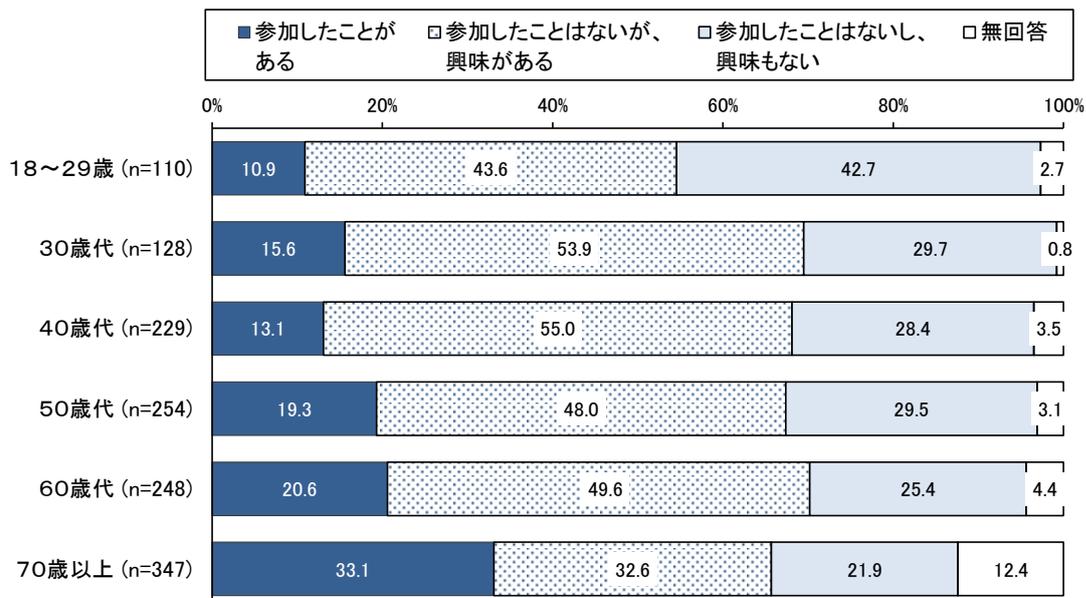
「問 28 地域活動の参加状況」－ 3

年代別にみると、「健康づくりに関すること」「趣味・教養・スポーツなどのサークル」はおおむね年代が上がるにつれ参加経験者の割合が高い傾向となっている。その他、比較的高齢層の方が参加経験者の割合が高いものが多い中、「障害児者支援に関すること」は唯一 18～29 歳が全年代で最も高くなっている。

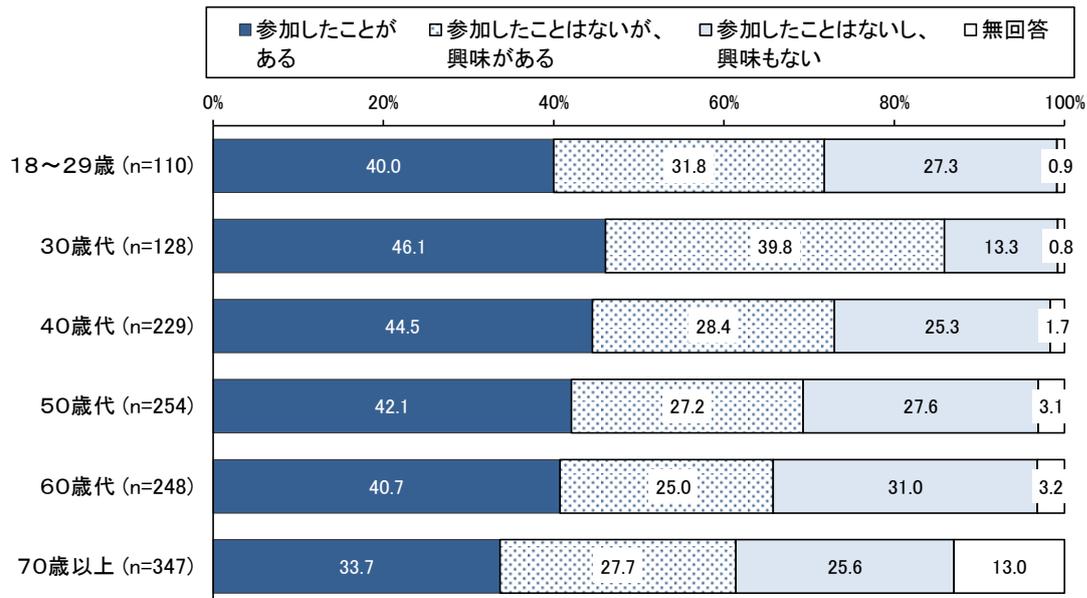
【問 28 A 健康づくりに関すること_年代別】



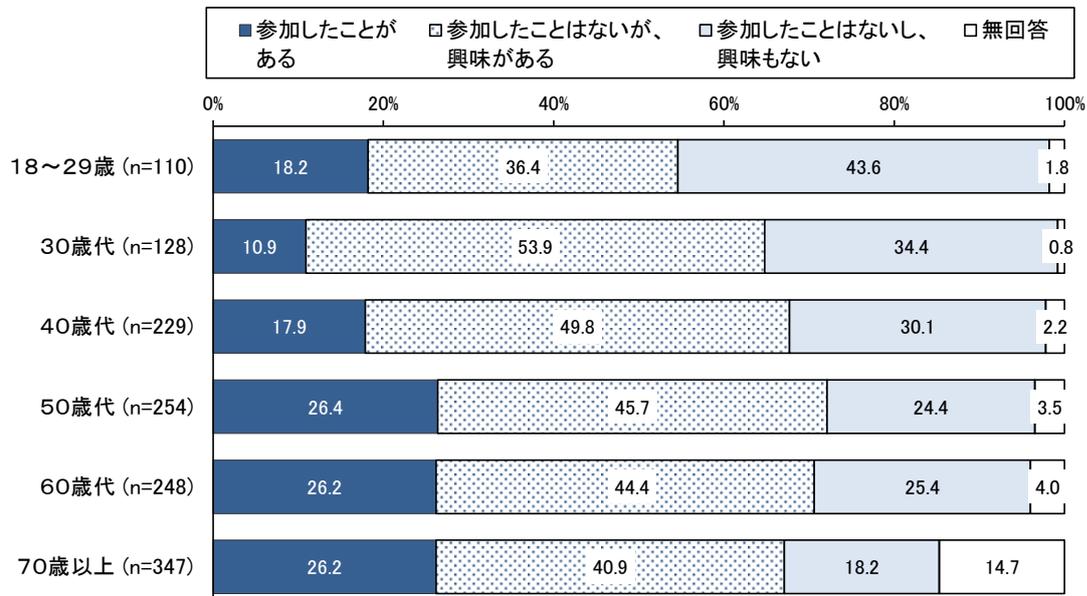
【問 28 B 趣味・教養・スポーツなどのサークル_年代別】



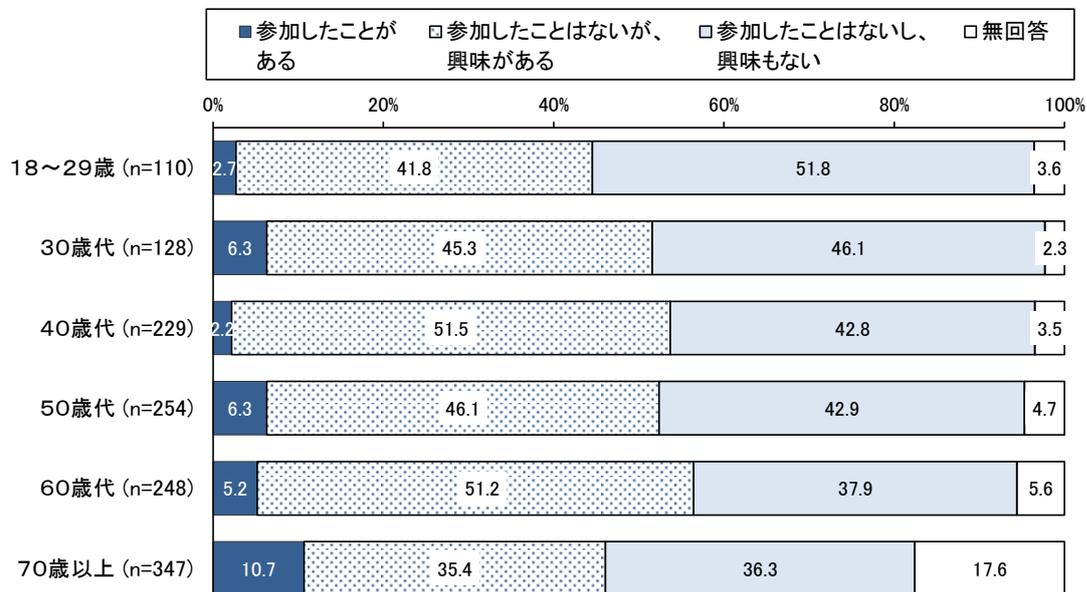
【問 28 C お祭りや運動会などのイベント_年代別】



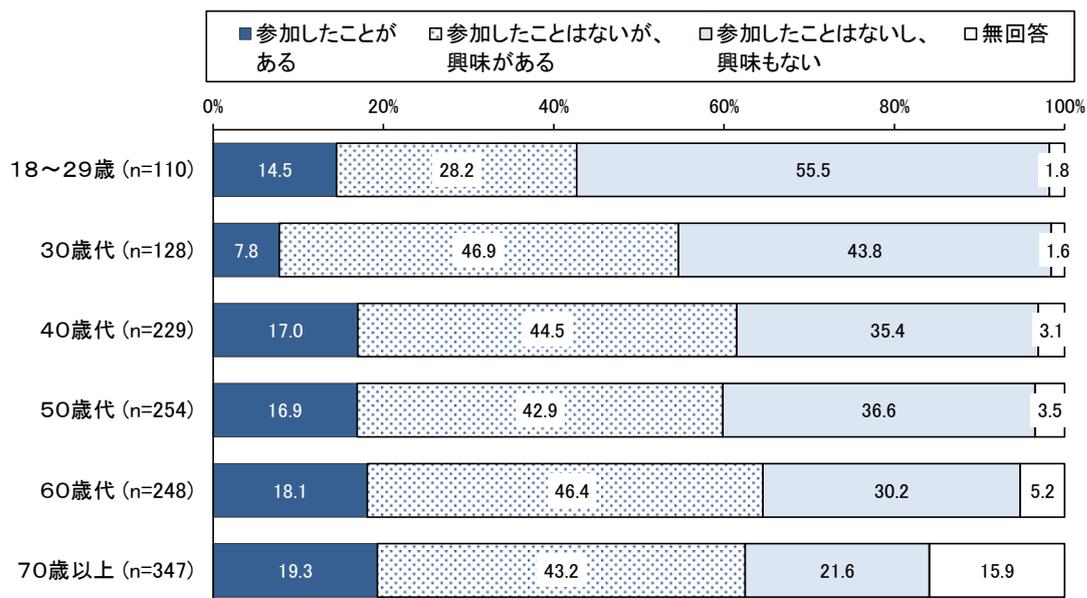
【問 28 D 防犯・防災・交通安全などの活動_年代別】



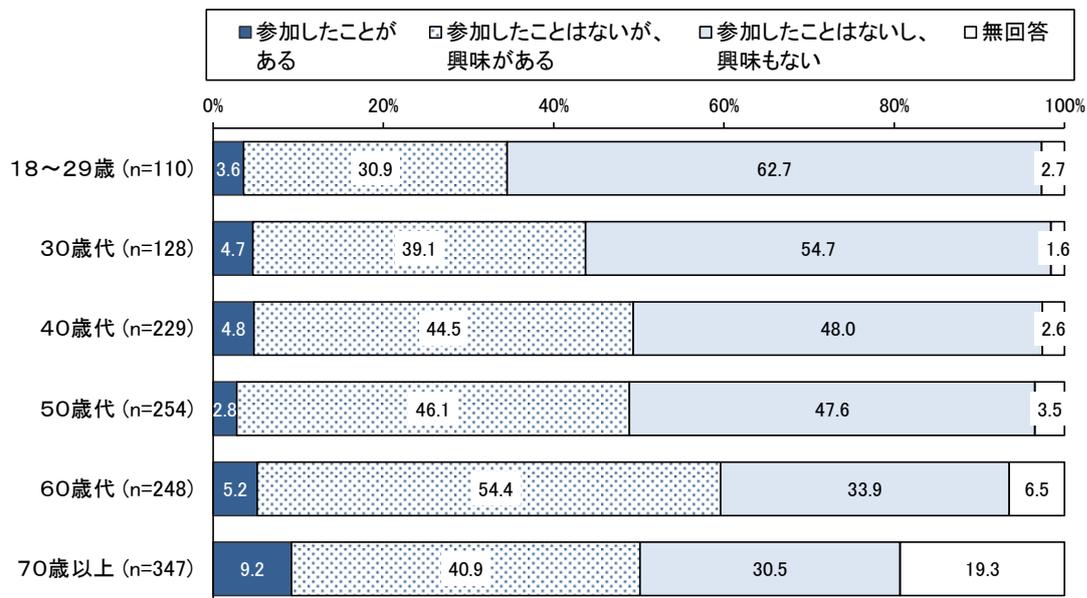
【問 28 E 趣味や特技を活かしたお手伝い_年代別】



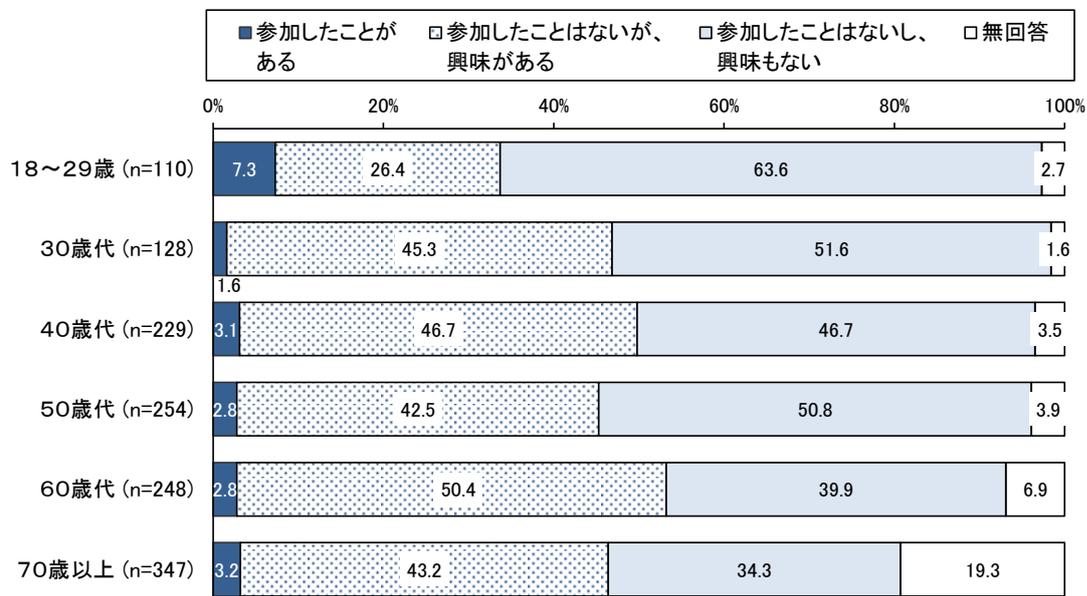
【問 28 F ごみ拾い・花の手入れなどの清掃・美化活動_年代別】



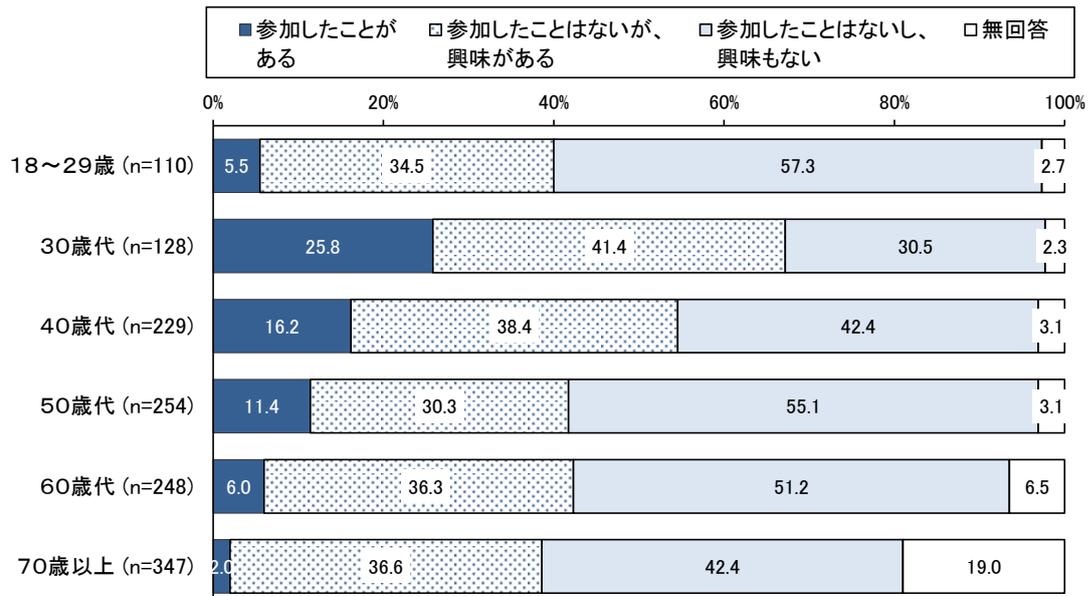
【問 28 G 高齢者支援に関すること_年代別】



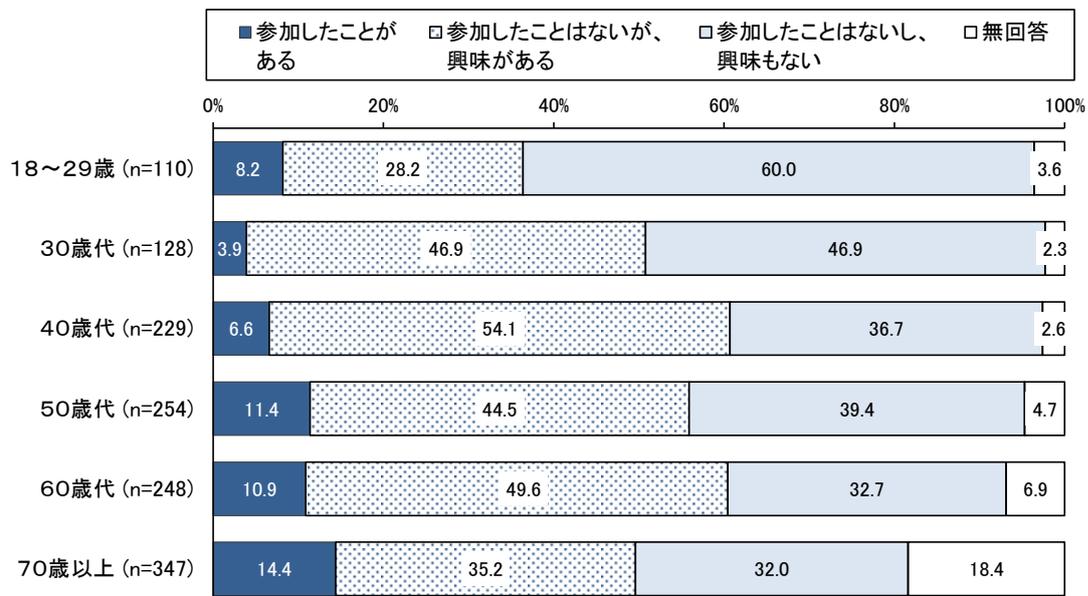
【問 28 H 障害児者支援に関すること_年代別】



【問 28 I 子育て支援に関すること_年代別】



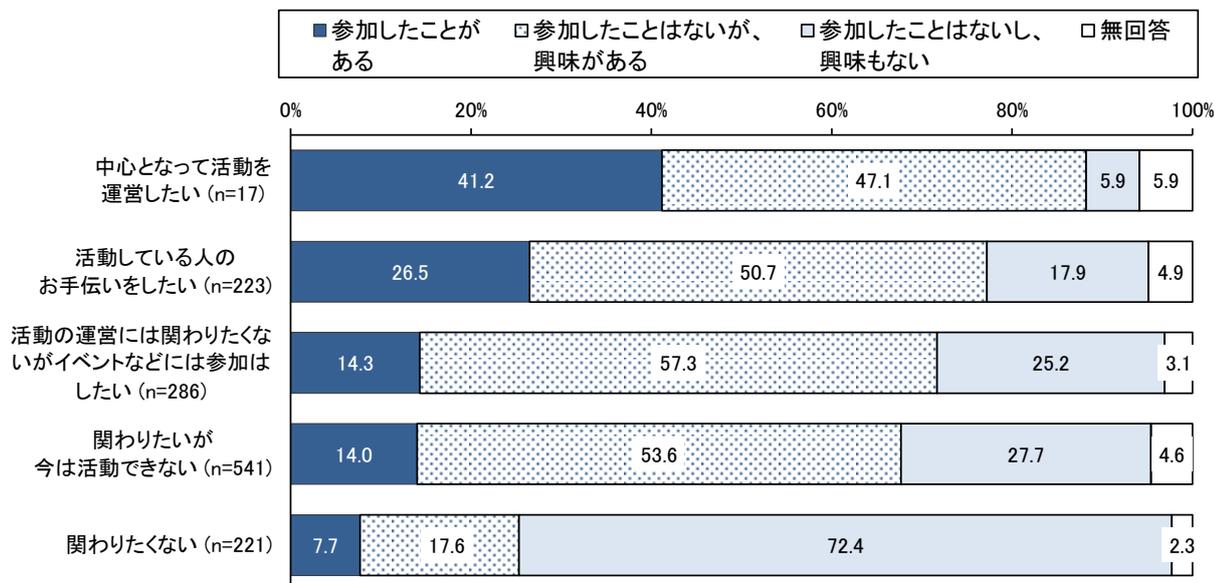
【問 28 J その他ボランティア活動_年代別】



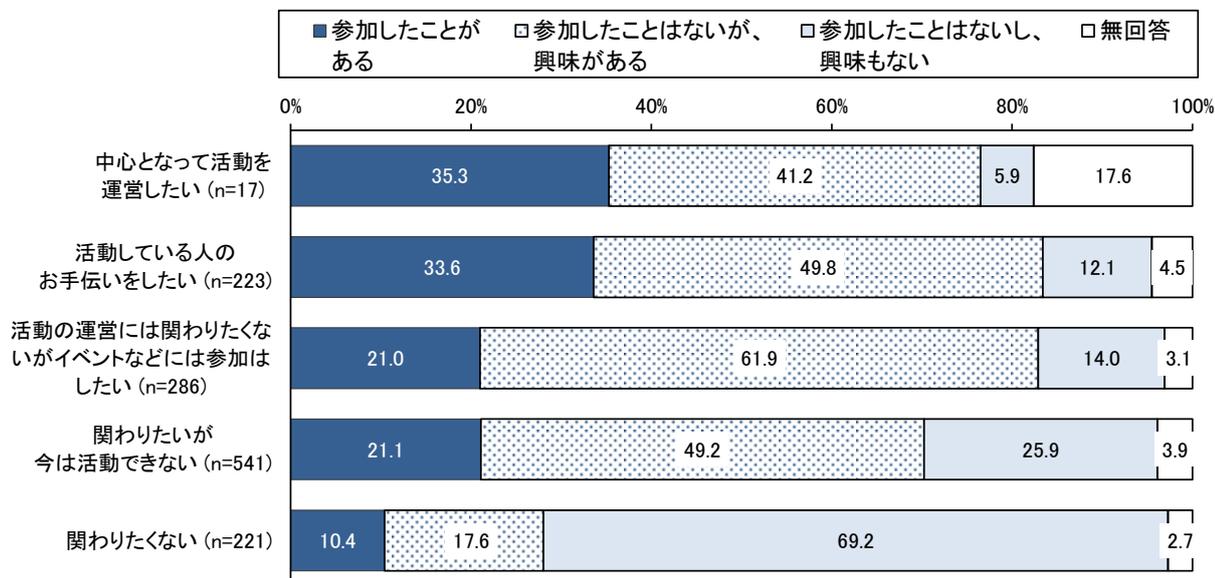
「問 28 地域活動の参加状況」－ 4

地域活動への考え方にみると、やはり多くの活動で『中心となって活動を運営したい』という人の参加率が高い。その中で、「お祭りや運動会などのイベント」「趣味や特技を活かしたお手伝い」「障害児者支援に関すること」は、『中心となって活動を運営したい』よりも『活動している人のお手伝いをしたい』という人の方が参加率が高くなっている。

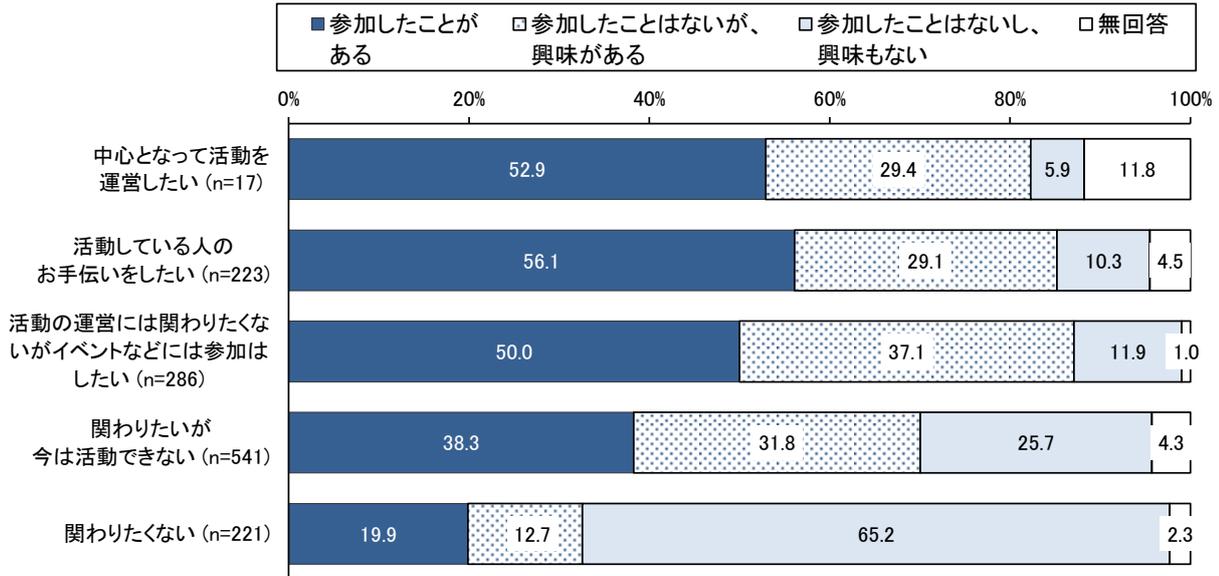
【問 28 A 健康づくりに関すること_地域活動への考え方別】



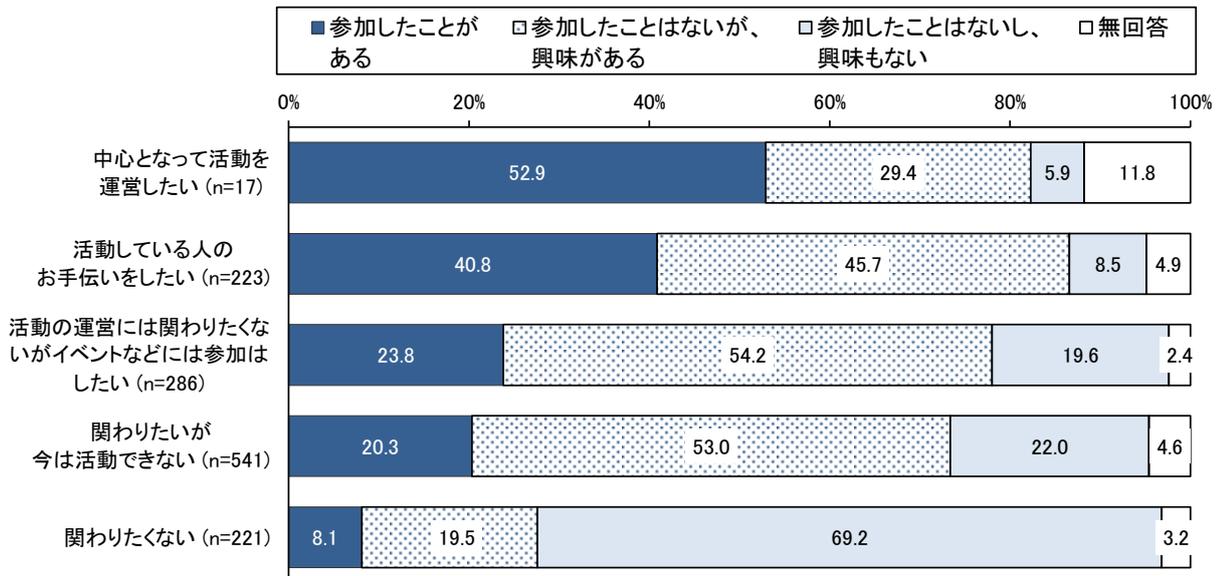
【問 28 B 趣味・教養・スポーツなどのサークル_地域活動への考え方別】



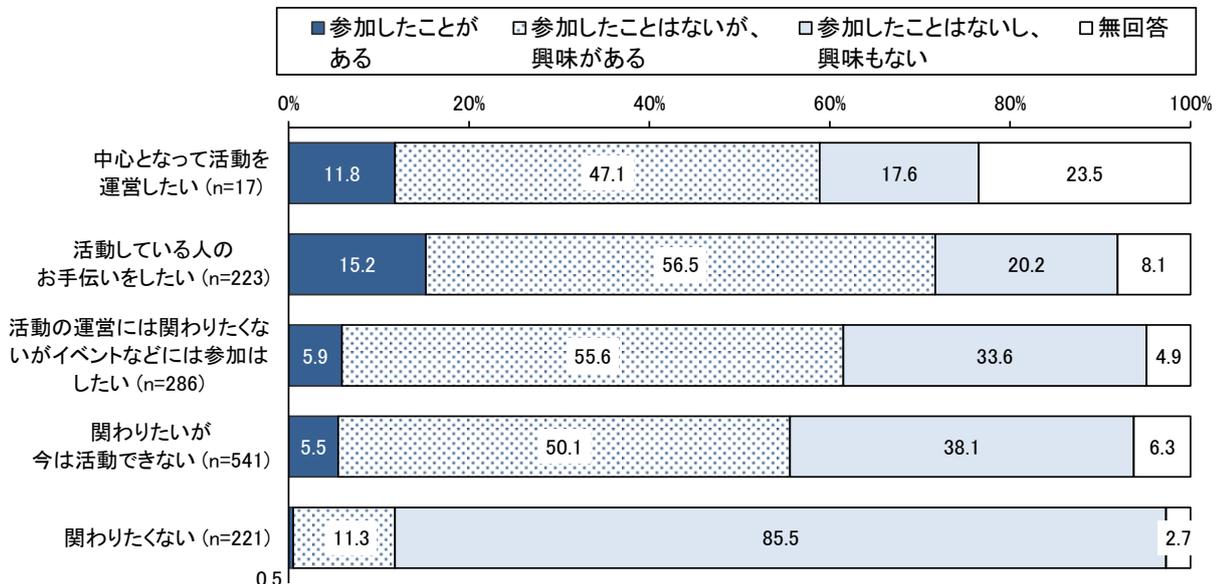
【問 28 C お祭りや運動会などのイベント_地域活動への考え方別】



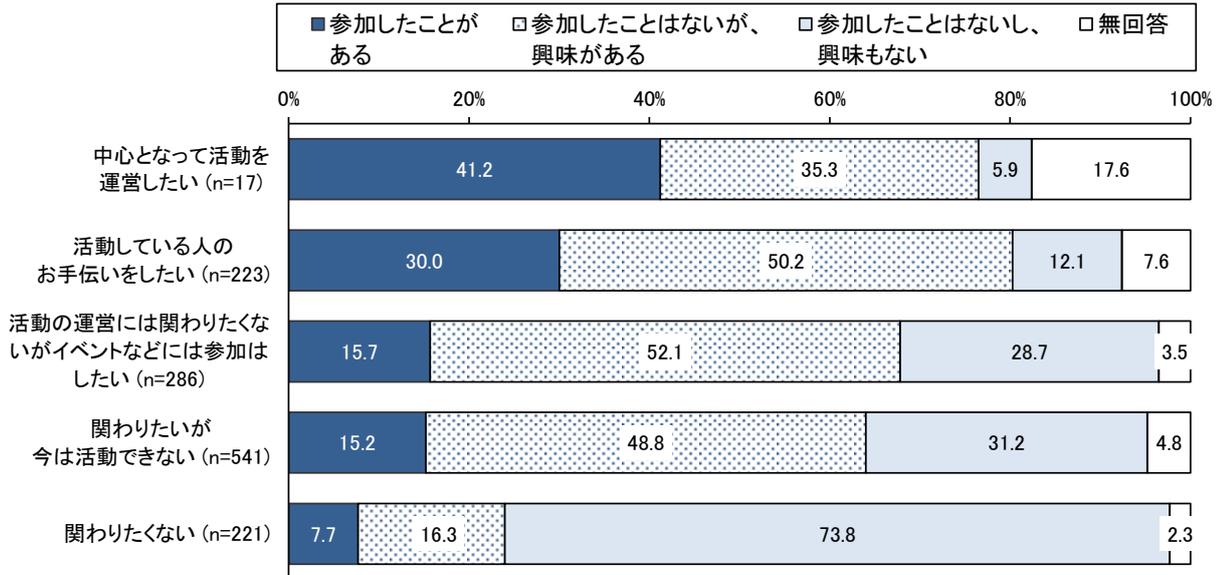
【問 28 D 防犯・防災・交通安全などの活動_地域活動への考え方別】



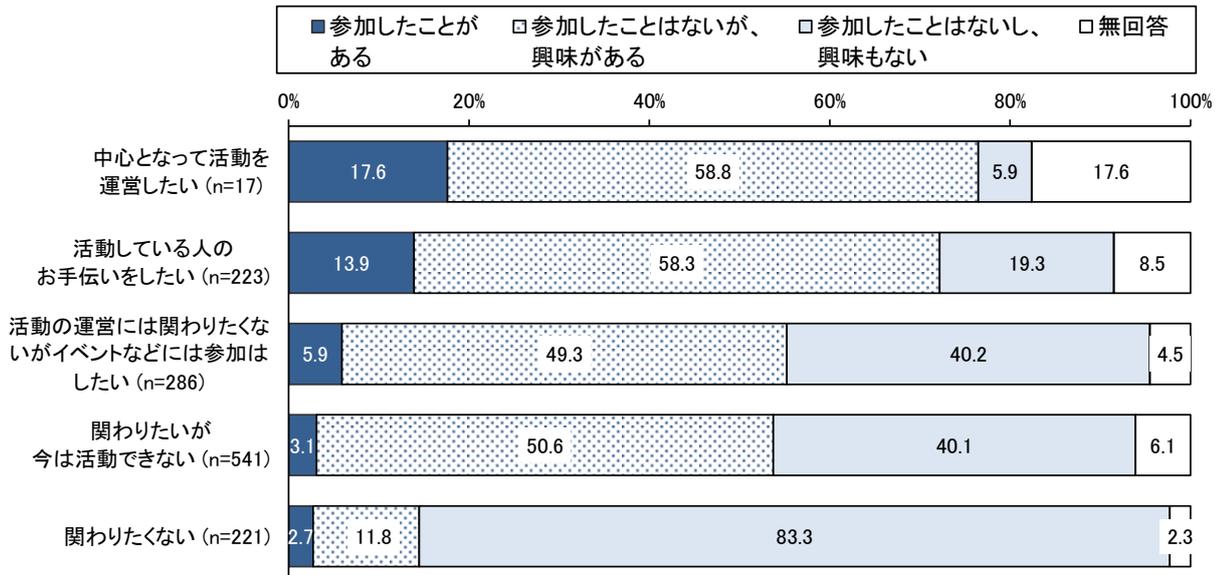
【問 28 E 趣味や特技を活かしたお手伝い_地域活動への考え方別】



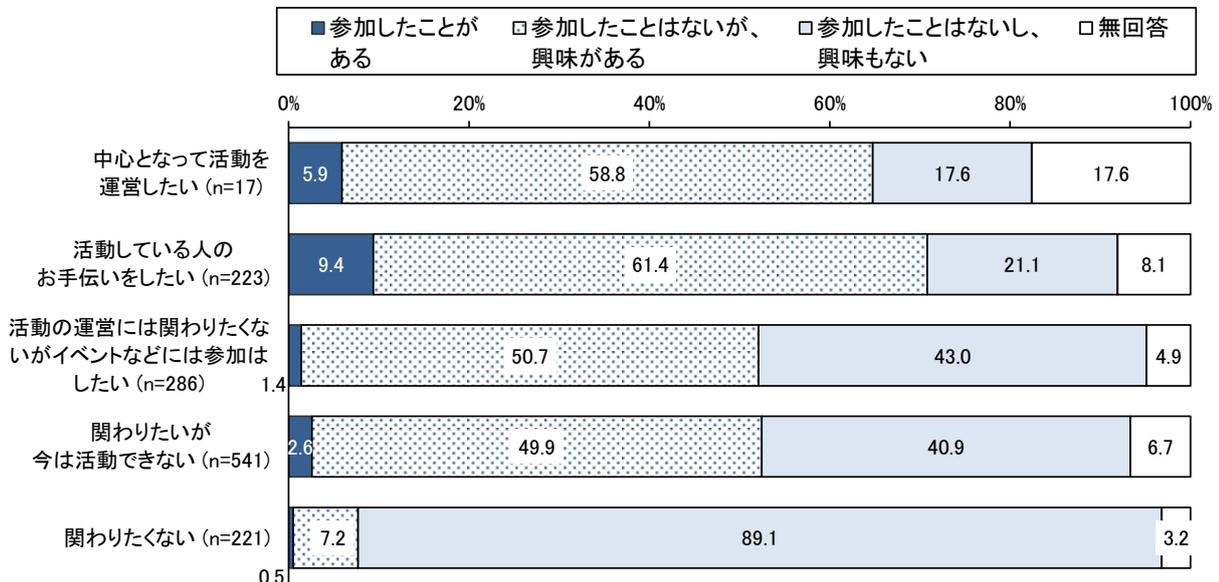
【問 28 F ごみ拾い・花の手入れなどの清掃・美化活動_地域活動への考え方別】



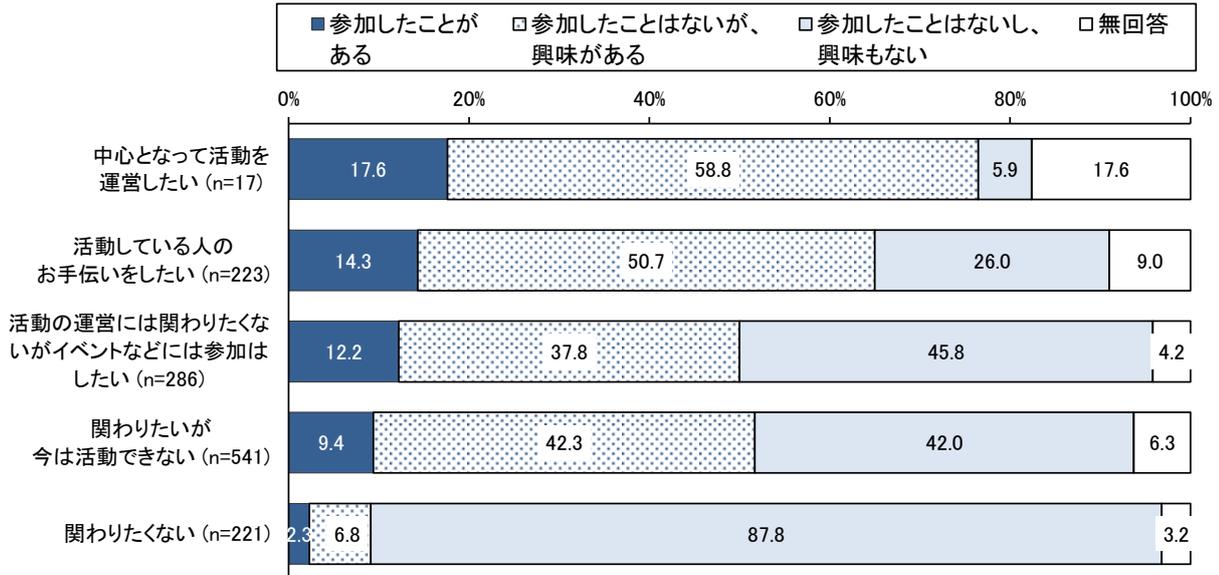
【問 28 G 高齢者支援に関すること_地域活動への考え方別】



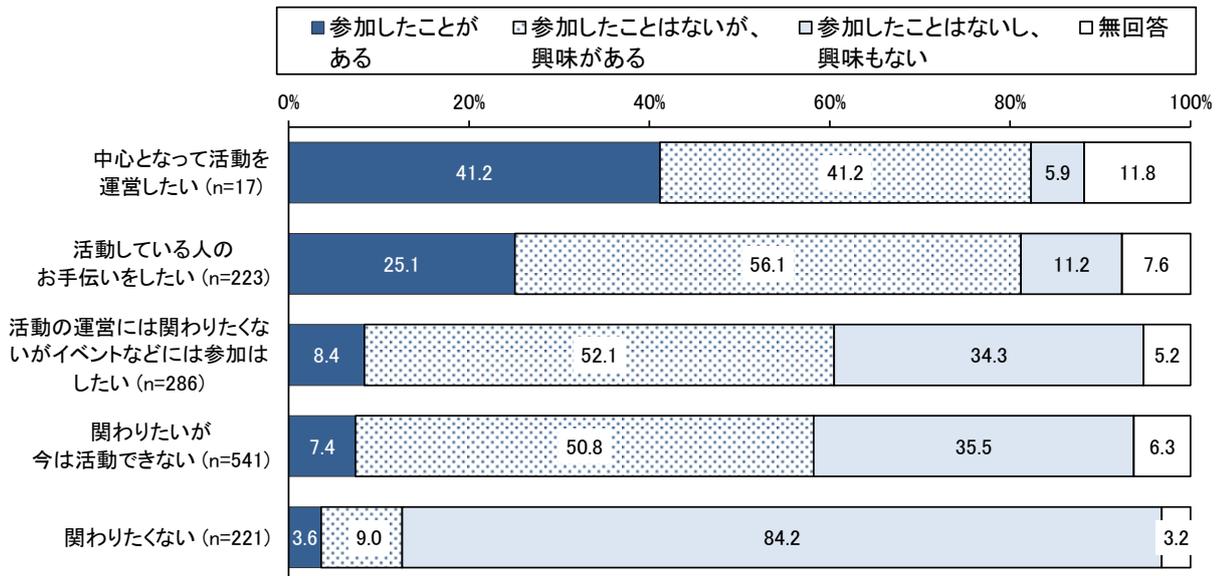
【問 28 H 障害児者支援に関すること_地域活動への考え方別】



【問 28 I 子育て支援に関すること_地域活動への考え方別】



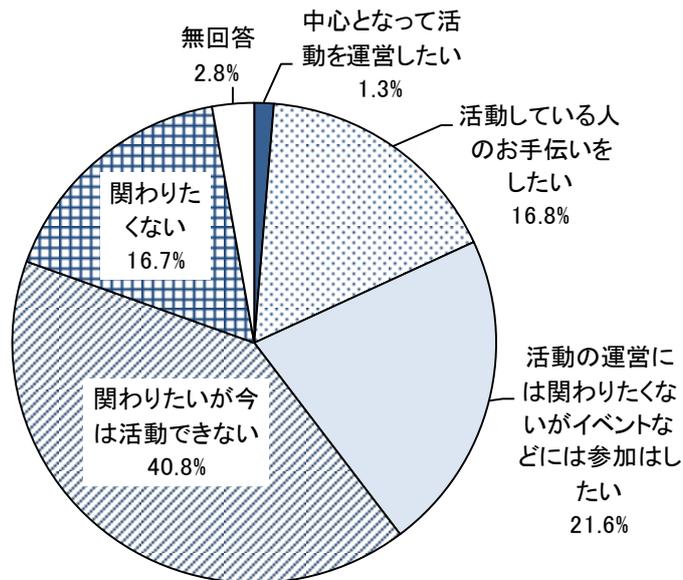
【問 28 J その他ボランティア活動_地域活動への考え方別】



「問 29 地域活動に関する考え方」 - 1

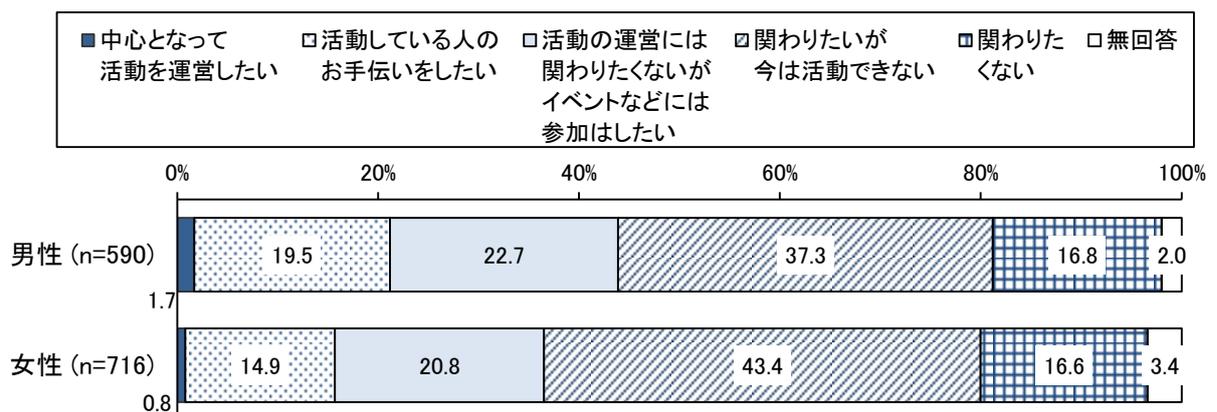
地域活動に関する考え方については、最も多いのが「関わりたいが今は活動できない」で全体の約4割を占めている。次いで、「活動の運営には関わりたいがイベントなどには参加はしたい」が2割強である。「中心となって活動を運営したい」は1.3%にとどまっているが、「活動している人のお手伝いをしたい」を合わせると、現在活動へ参加意向のある人は2割弱となっている。

性別にみると、女性の方が「関わりたいが今は活動できない」の割合が高く、男性の方が「活動している人のお手伝いをしたい」の割合が高くなっている。



(n= 1,325)

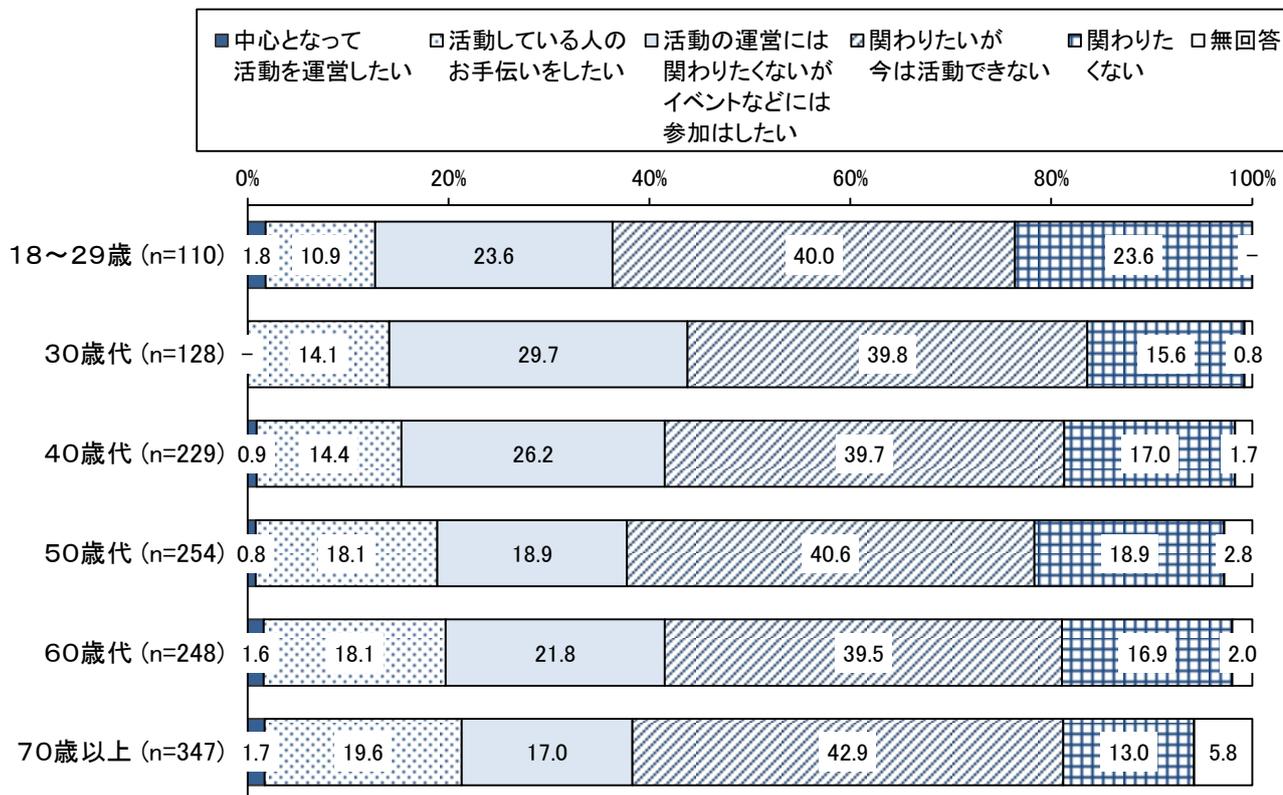
【問 29_性別】



「問 29 地域活動に関する考え方」－ 2

年代別にみると、「中心となって活動を運営したい」と「活動している人のお手伝いをしたい」を合わせた活動参加意向のある人の割合は、年代が上がるほど高い傾向となっている。一方、「関わりたくない」という人は、18～29歳が唯一2割を超え最も高くなっている。

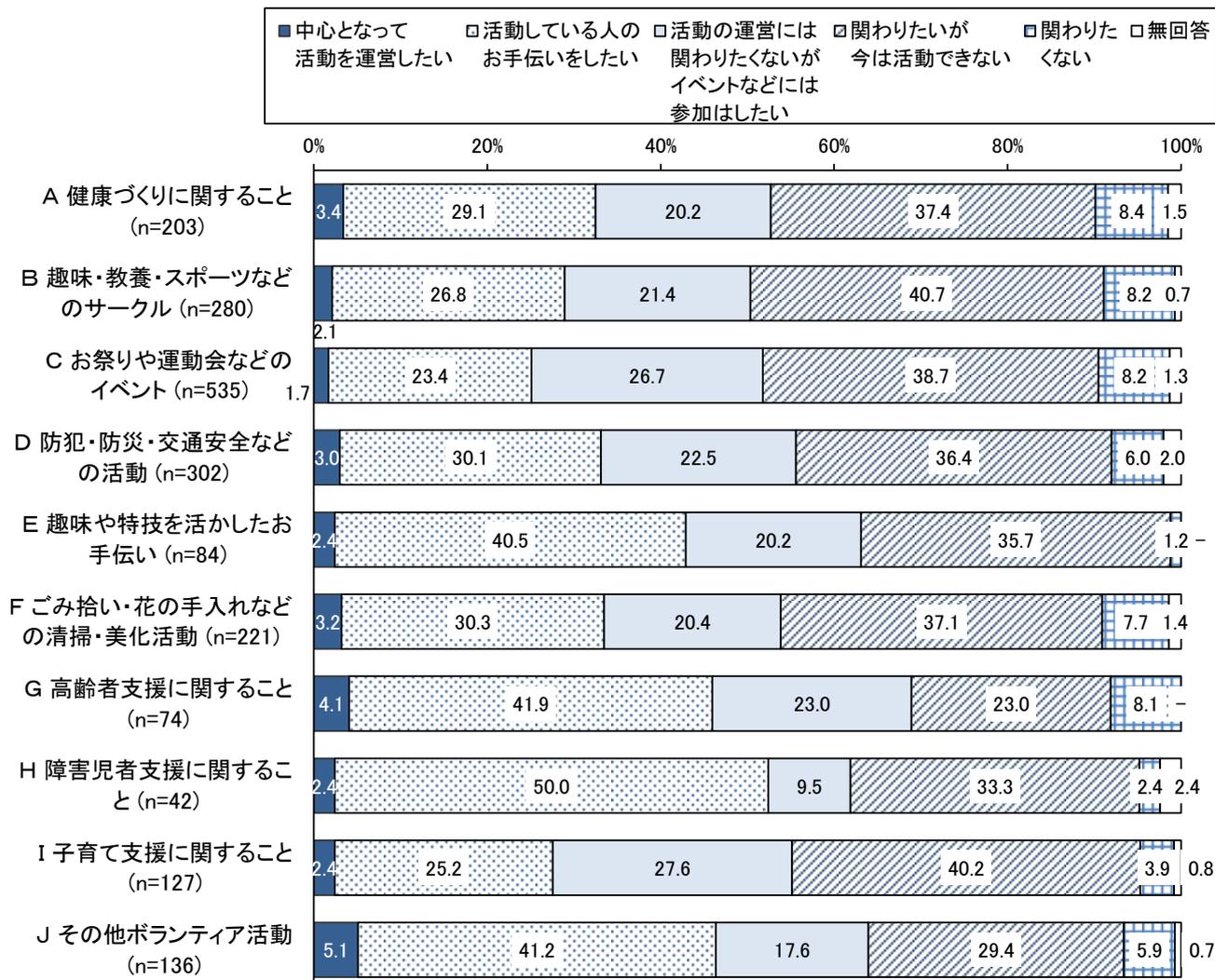
【問 29_年代別】



「問 29 地域活動に関する考え方」－ 3

地域活動参加経験別にみると、「中心となって活動を運営したい」の割合は『その他ボランティア活動』の参加経験者が最も高く、次いで『高齢者支援に関すること』の参加経験者となっている。「活動している人のお手伝いをしたい」は、『障害児者支援に関すること』の参加経験者が最も高くなっている。

【問 29_地域活動参加経験別】(A～J 参加経験者での集計結果)

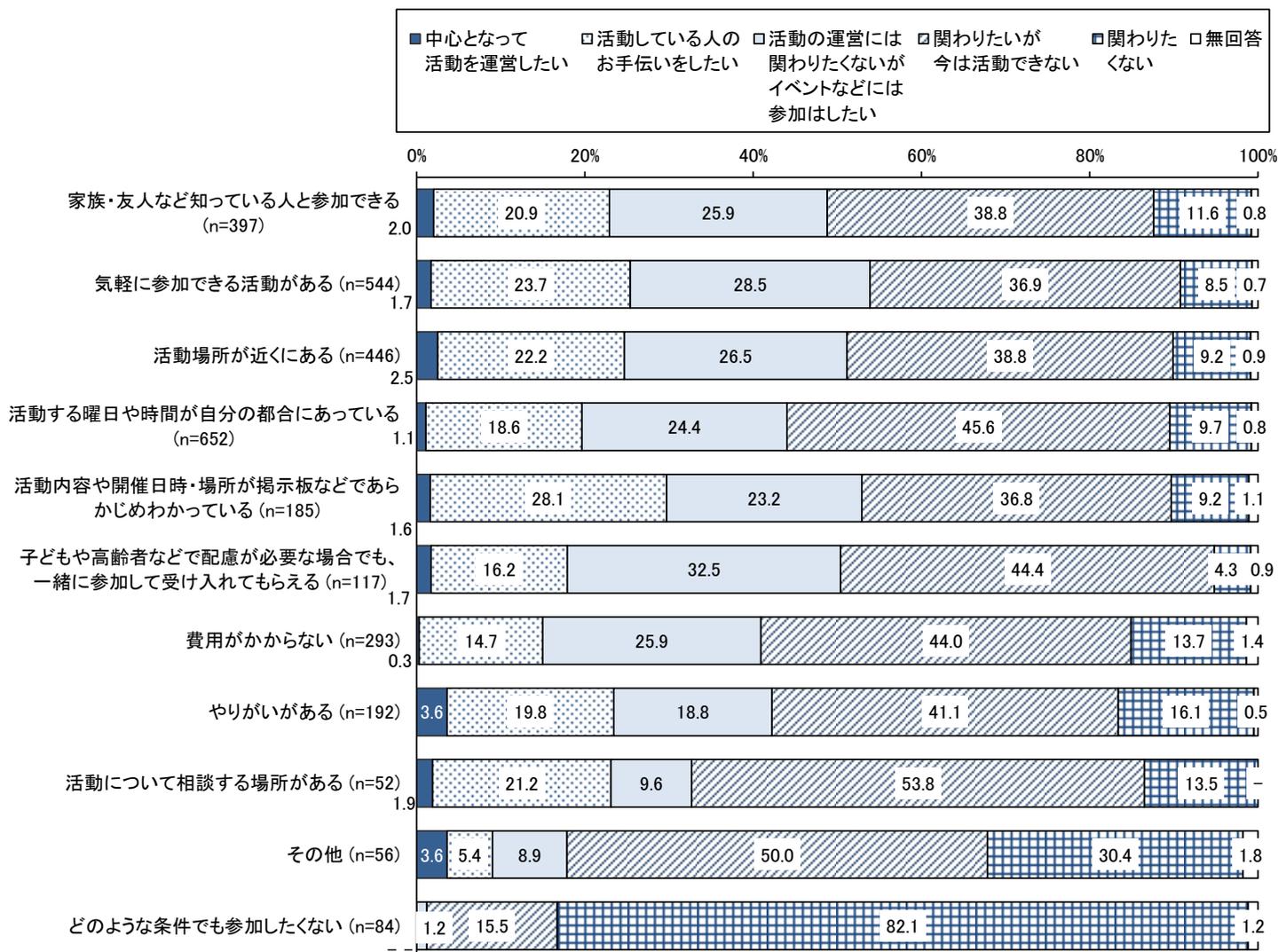


「問 29 地域活動に関する考え方」－ 4

地域活動参加条件別にみると、「中心となって活動を運営したい」の割合は『やりがいがある』『その他※』を参加条件としている人が他属性に比べやや高くなっている。「活動している人のお手伝いをしたい」は、『活動内容や開催日時・場所が掲示板などであらかじめわかっている』が3割近くで最も高く、『気軽に参加できる活動がある』『活動場所が近くにある』『活動について相談する場所がある』『家族・友人など知っている人と参加できる』も2割を超え比較的高くなっている。

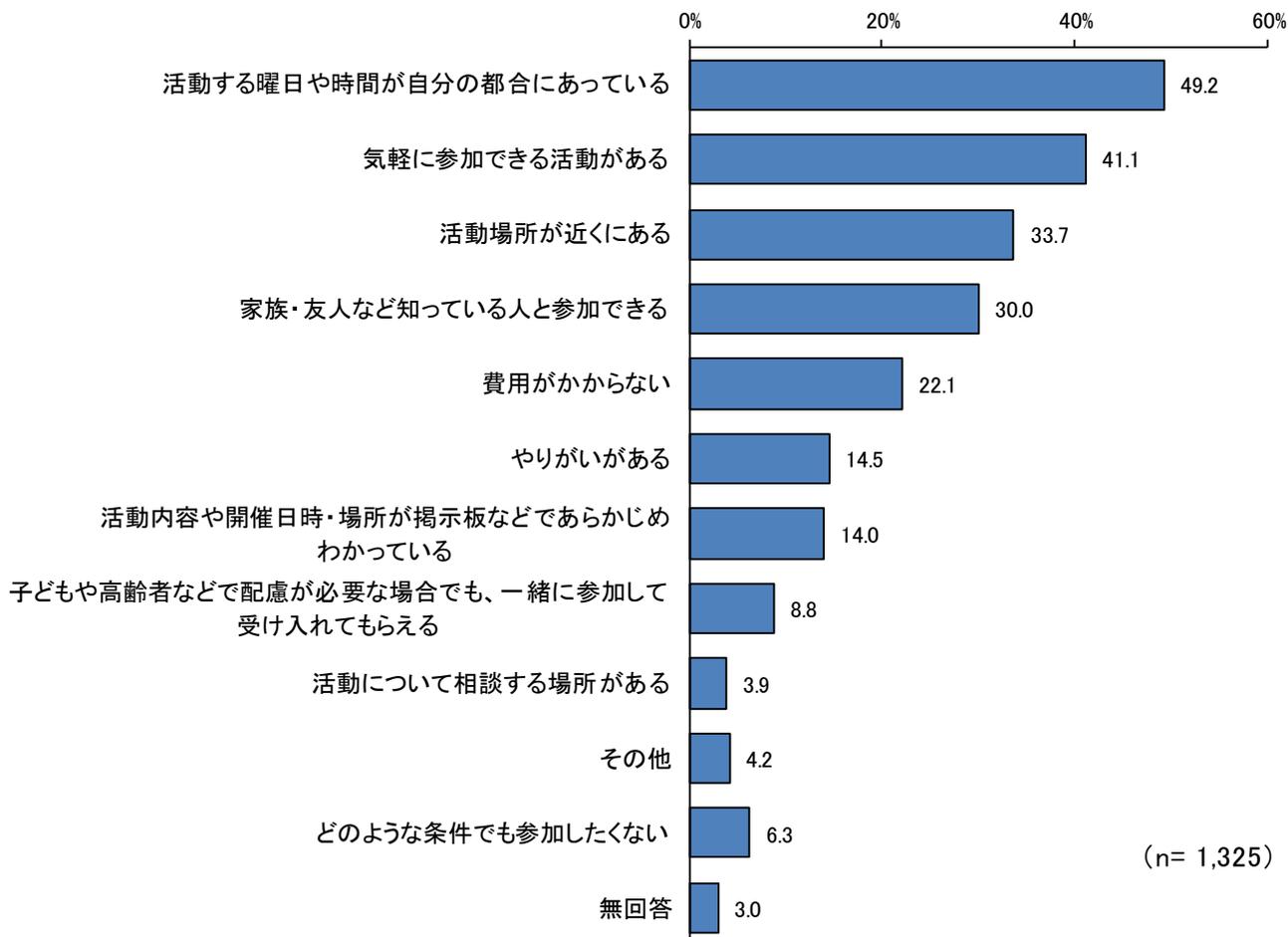
※「その他」：“楽しい” “一人でも複数人でも浮かない、居心地の悪くない雰囲気” “他所者を受け入れる素地が必要” など

【問 29_地域活動への参加条件別】



「問 30 地域活動に参加しやすいと思う条件」（3つまで回答）－ 1

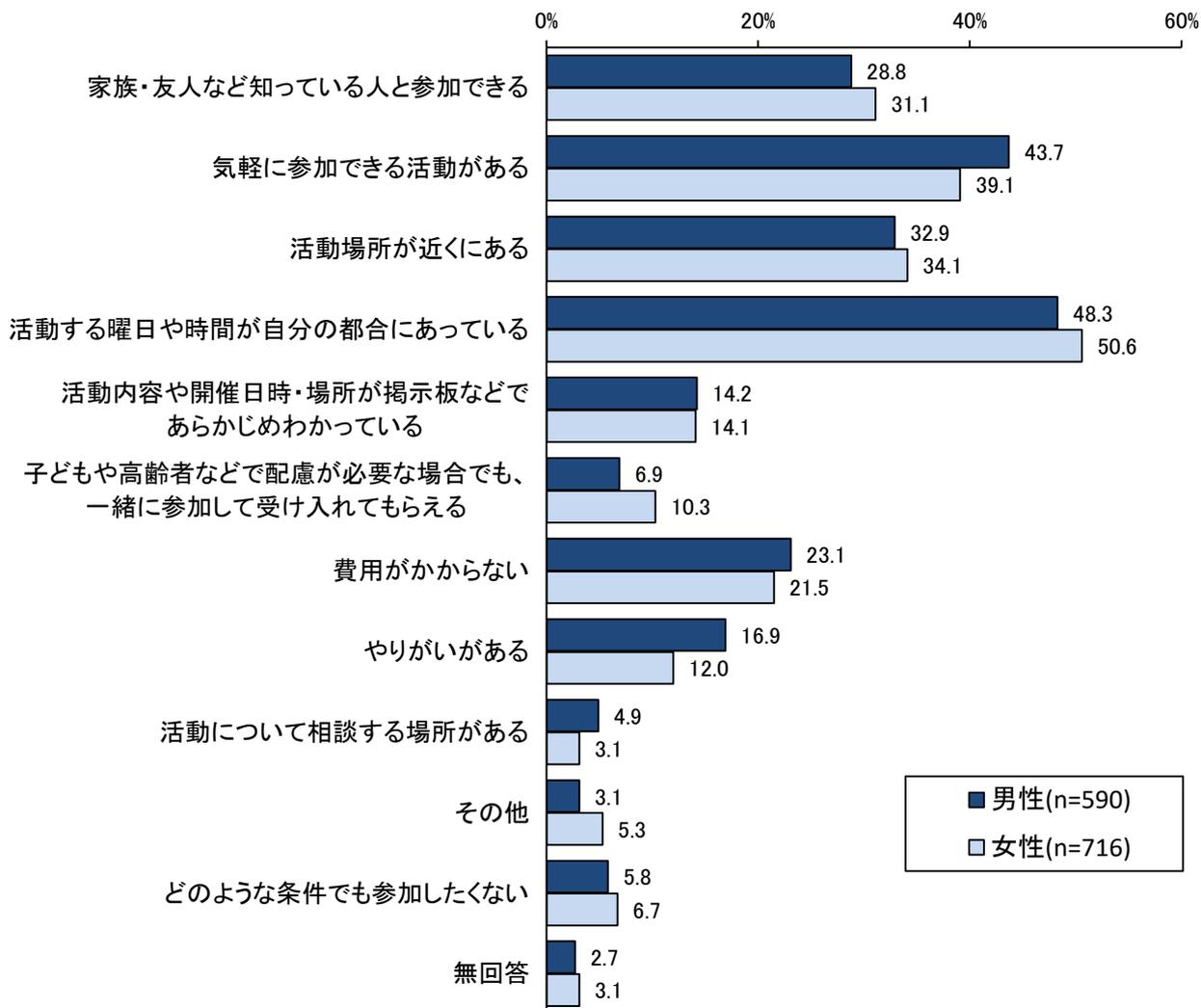
地域活動に参加しやすいと思う条件については、「活動する曜日や時間が自分の都合にあっている」が5割近くで最も高くなっている。次いで、「気軽に参加できる活動がある」が約4割、「活動場所が近くにある」「家族・友人など知っている人と参加できる」が約3割、「費用がかからない」が約2割で続いている。



「問 30 地域活動に参加しやすいと思う条件」（3つまで回答）－ 2

性別にみると、比較的男女間の差が大きいものとしては、「気軽に参加できる活動がある」「やりがいがある」は男性で高く、「子どもや高齢者などで配慮が必要な場合でも、一緒に参加して受け入れてもらえる」は女性で高くなっている。

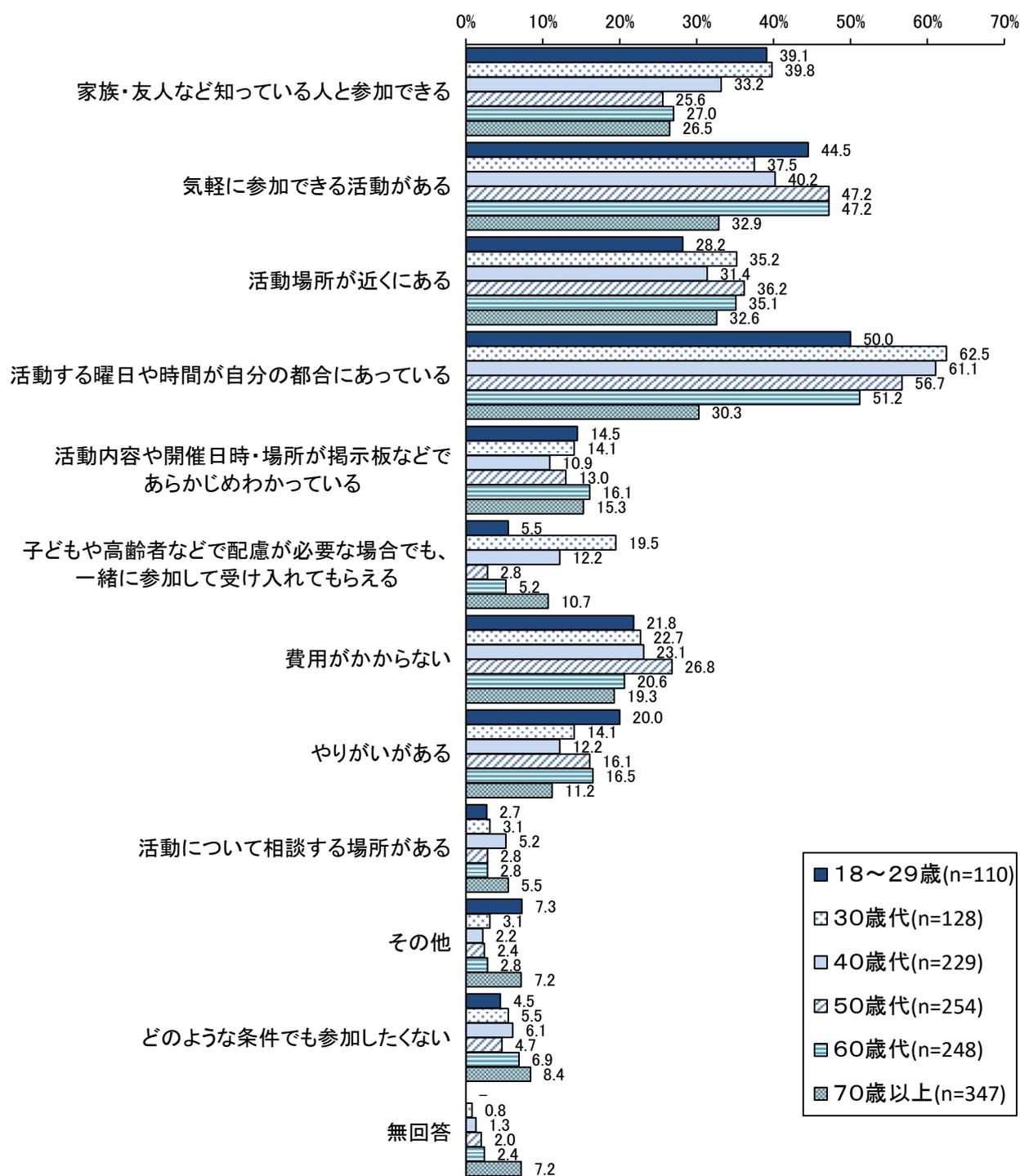
【問 30_性別】



「問 30 地域活動に参加しやすいと思う条件」（3つまで回答）－ 3

年代別にみると、「活動する曜日や時間が自分の都合にあっている」は30歳代・40歳代で6割を超え高くなっている。「気軽に参加できる活動がある」は50歳代・60歳代で、「家族・友人など知っている人と参加できる」は18～29歳・30歳代でやや高くなっている。「やりがいがある」を条件とする人は18～29歳が最も高くなっている。

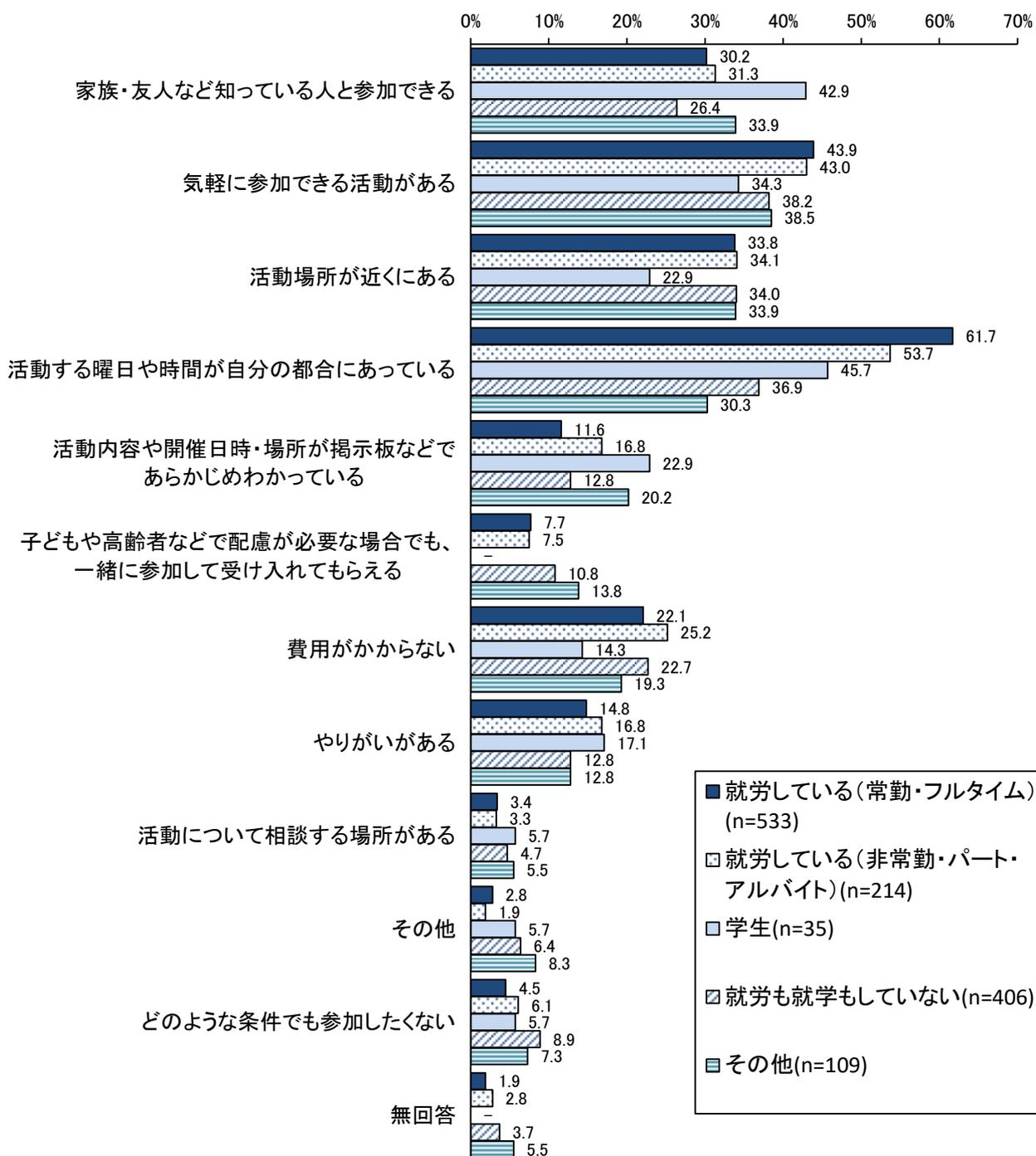
【問 30_年代別】



「問 30 地域活動に参加しやすいと思う条件」（3つまで回答）－ 4

就労・就学状況別にみると、「活動する曜日や時間が自分の都合にあっている」は『就労している（常勤・フルタイム）』で6割を超え最も高くなっている。「気軽に参加できる活動がある」は、『就労している（常勤・フルタイム）』『就労している（非常勤・パート・アルバイト）』で高く、「家族・友人など知っている人と参加できる」は『学生』で最も高くなっている。

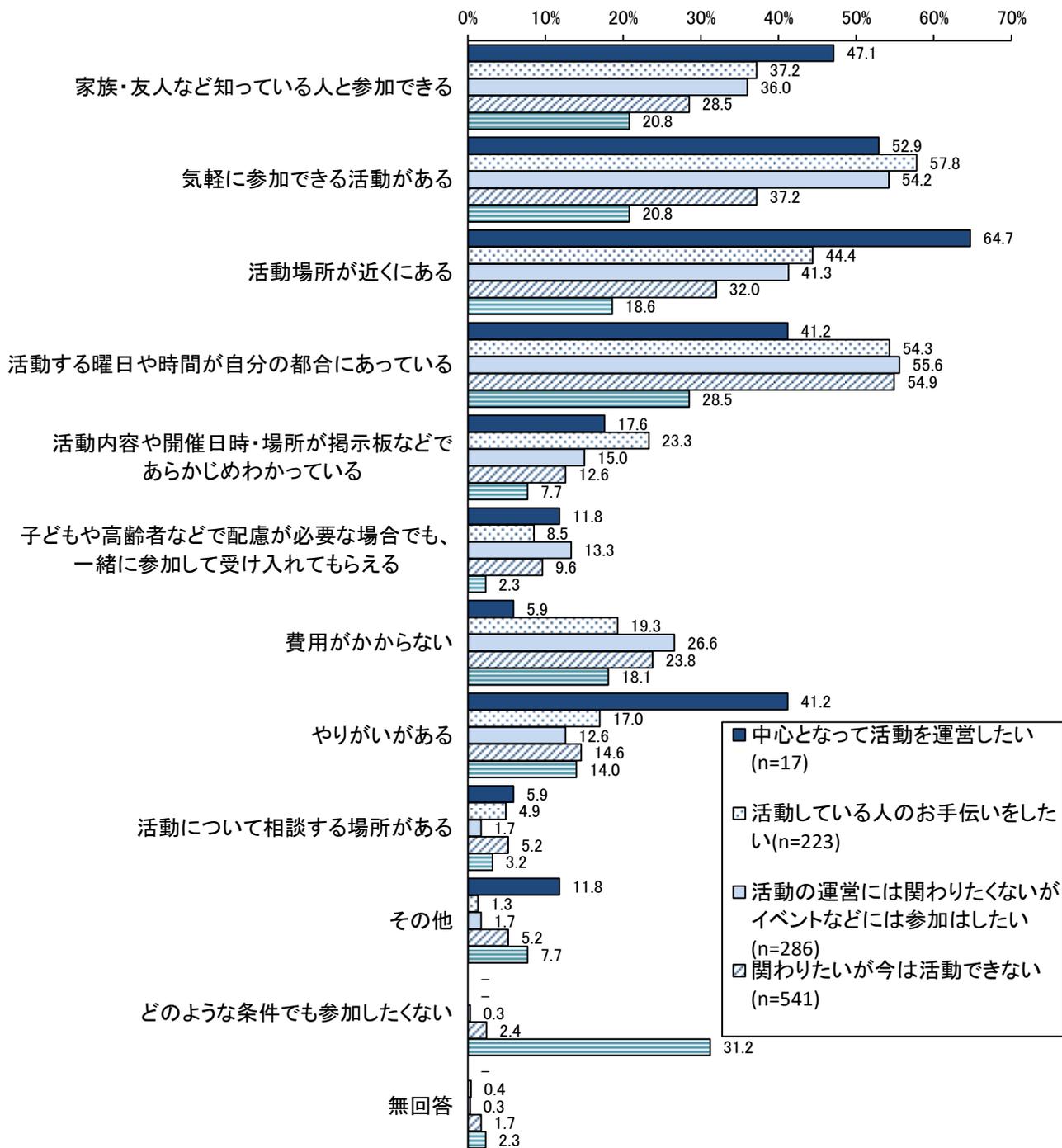
【問 30_就労・就学状況別】



「問 30 地域活動に参加しやすいと思う条件」（3つまで回答）－ 5

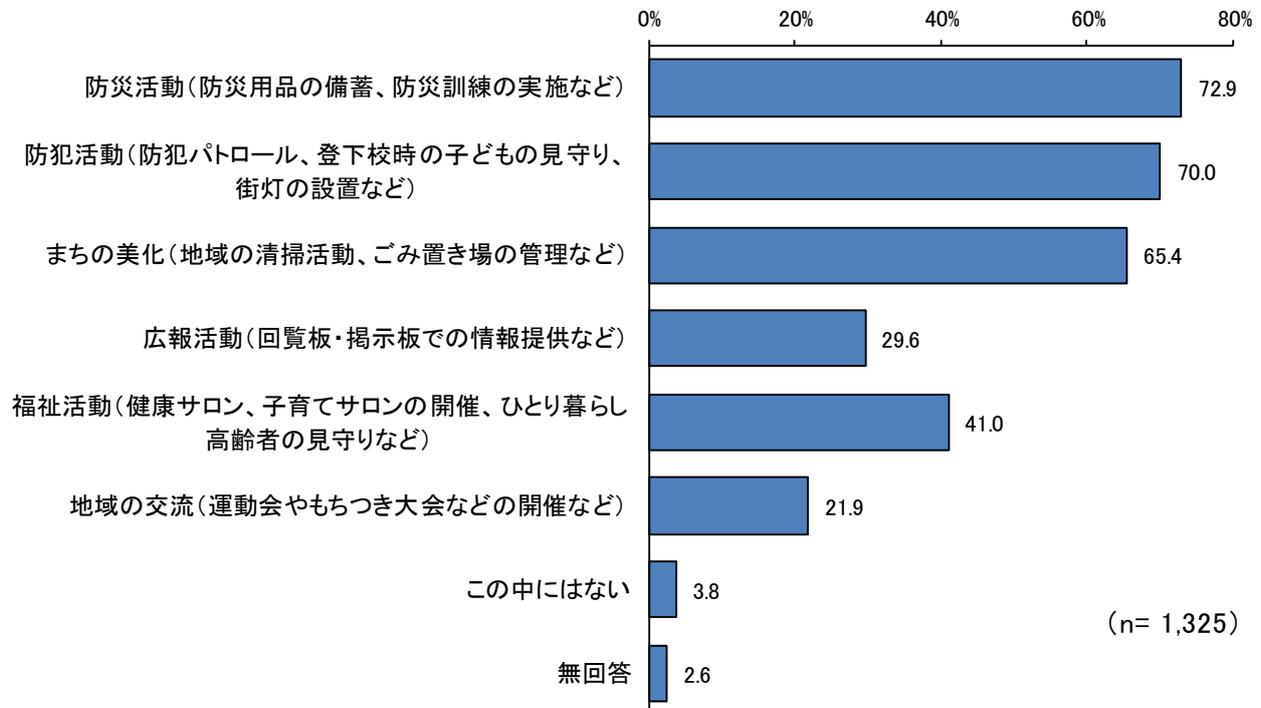
地域活動に関する考え方別にみると、『中心となって活動を運営したい』という人は、「やりがいがある」が特に他の属性に比べ突出して高くなっている。そのほか、「活動場所が近くにある」「家族・友人など知っている人と参加できる」も他の属性に比べ高い。

【問 30_地域活動に関する考え方別】



「問 31 なくてはならないと思う地域活動」(複数回答) - 1

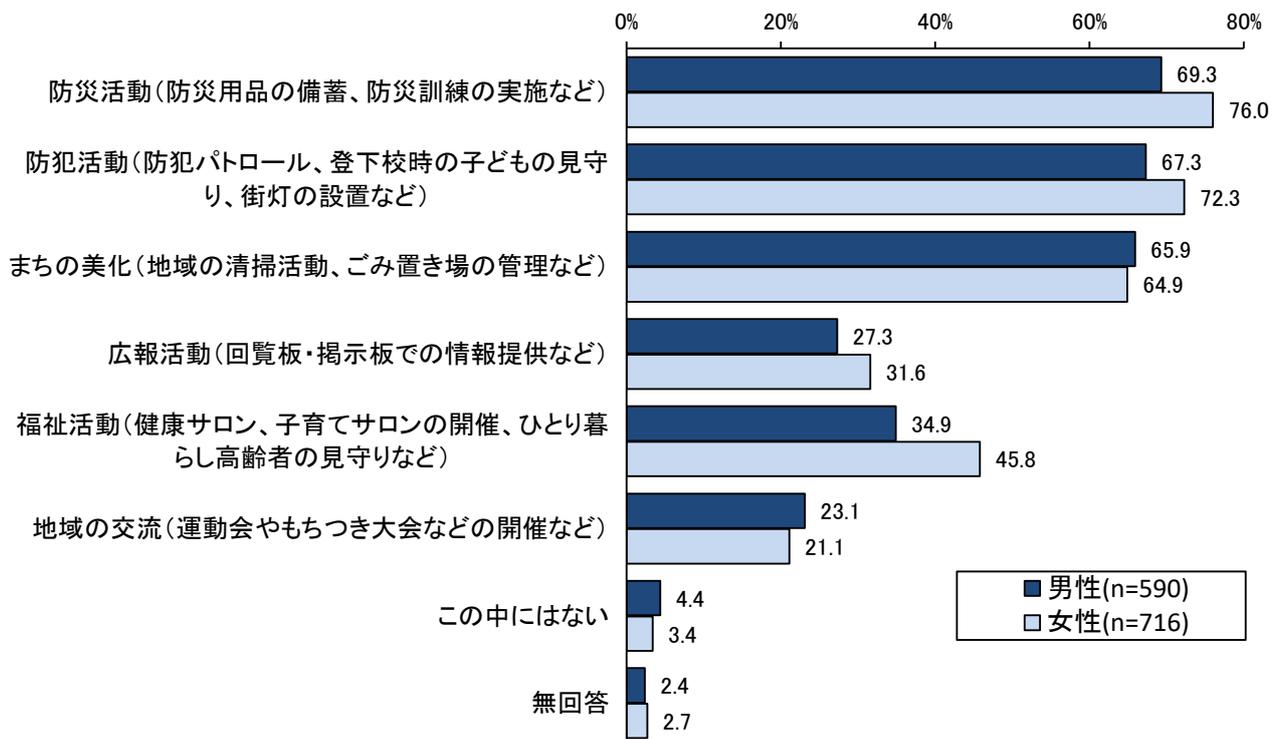
区民の生活になくてはならないと思う地域活動を尋ねたところ、「防災活動(防災用品の備蓄、防災訓練の実施など)」が7割強、「防犯活動(防犯パトロール、登下校時の子どもの見守り、街灯の設置など)」が7割、「まちの美化(地域の清掃活動、ごみ置き場の管理など)」が6割半ばと高くなっている。



「問 31 なくてはならないと思う地域活動」(複数回答) - 2

性別にみると、「福祉活動(健康サロン、子育てサロンの開催、ひとり暮らし高齢者の見守りなど)」で女性が高くなっているのが目立つ。そのほか、「防災活動(防災用品の備蓄、防災訓練の実施など)」「防犯活動(防犯パトロール、登下校時の子どもの見守り、街灯の設置など)」「広報活動(回覧板・掲示板での情報提供など)」も女性の方が男性より高くなっている。

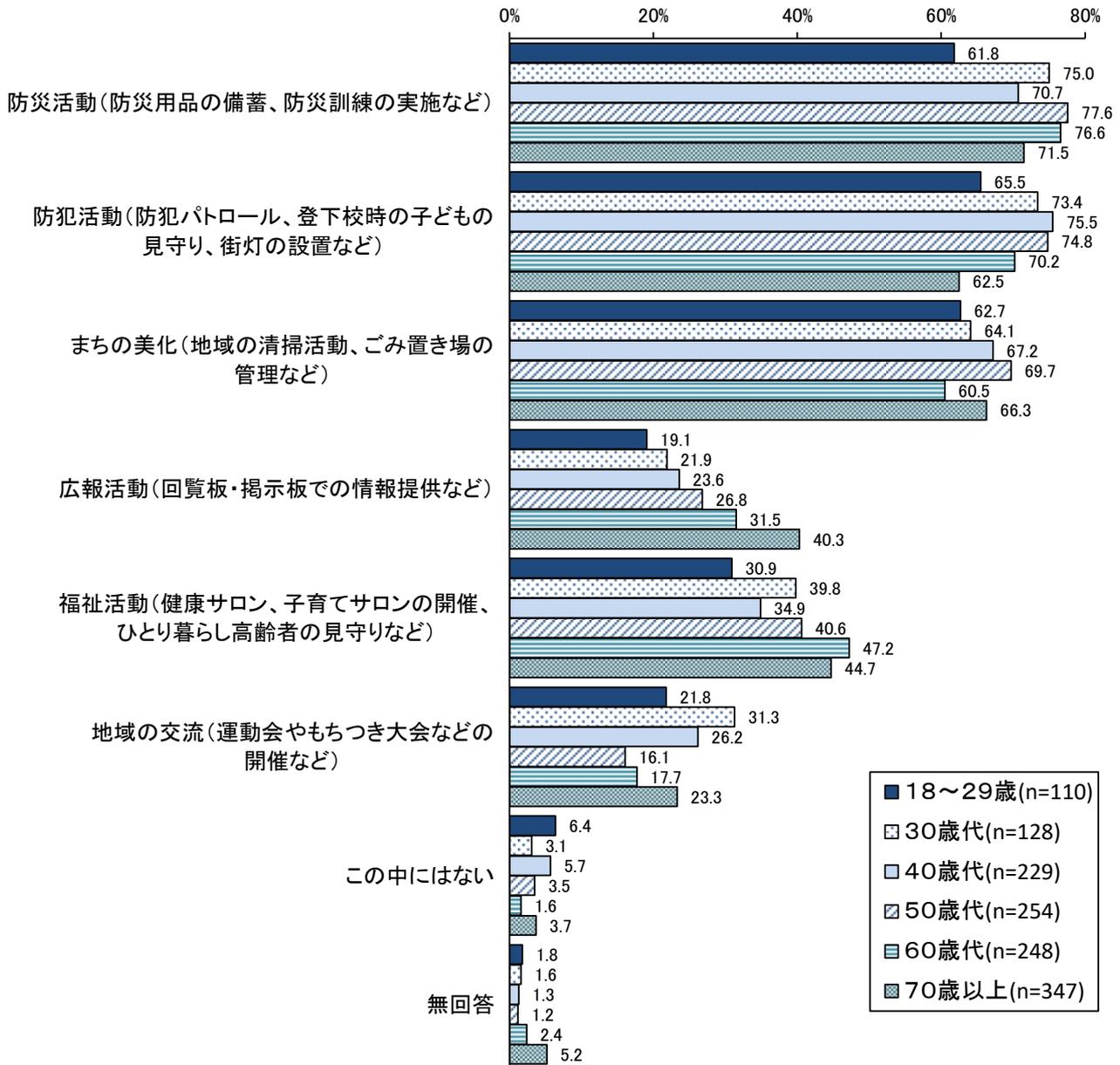
【問 31_性別】



「問 31 なくてはならないと思う地域活動」(複数回答) - 3

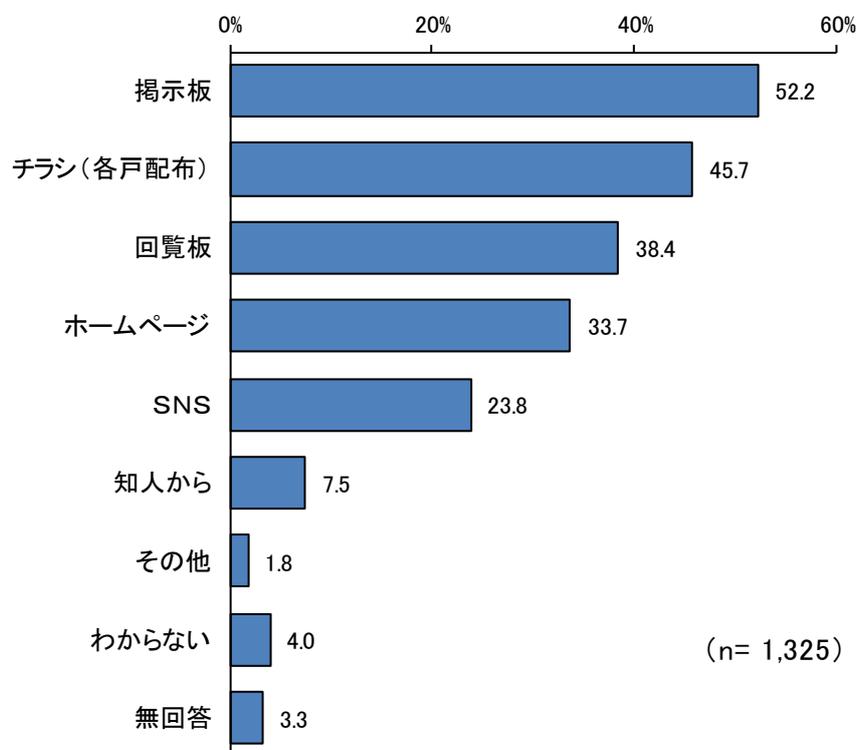
年代別にみると、「広報活動(回覧板・掲示板での情報提供など)」は年代が上がるにつれ割合も高い傾向となっている。「地域の交流(運動会やもちつき大会などの開催など)」は、30歳代が唯一3割を超え最も高くなっている。

【問 31_年代別】



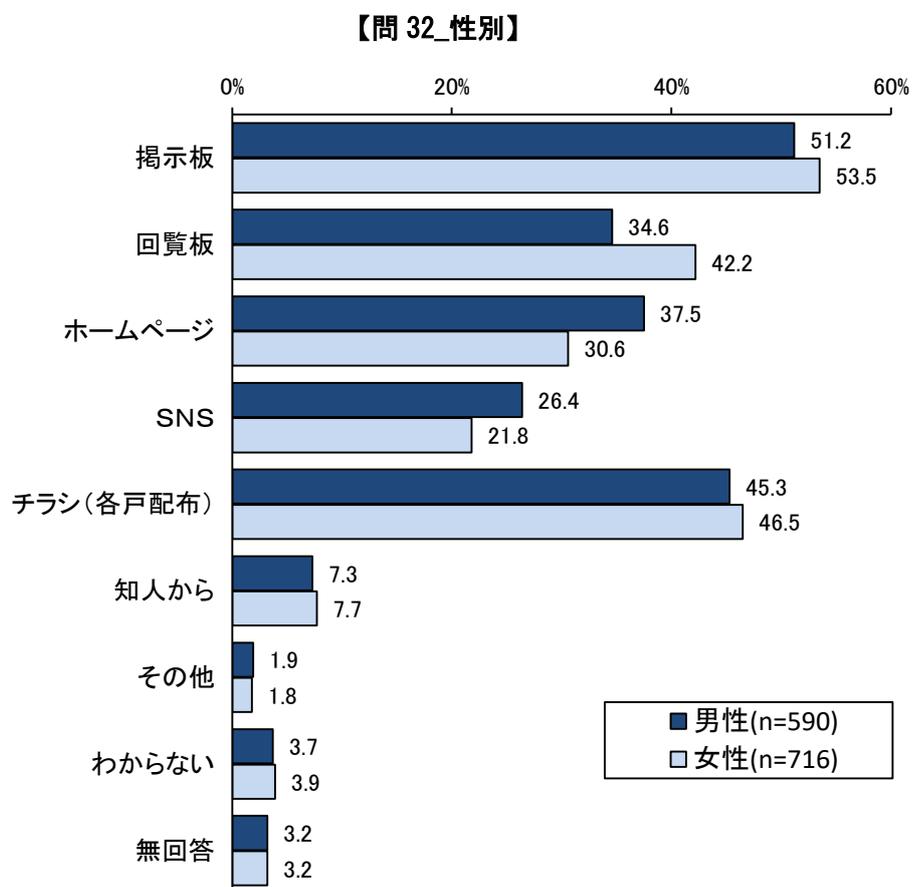
「問 32 地域活動の情報を何から入手できると良いか」（複数回答）－ 1

地域活動の情報を何から入手できると良いか尋ねたところ、「掲示板」が5割を超え最も高く、次いで「チラシ（各戸配布）」が4割半ばとなっている。以下、「回覧板」「ホームページ」が3割台、「SNS」が2割強で続いている。



「問 32 地域活動の情報を何から入手できると良いか」（複数回答）－ 2

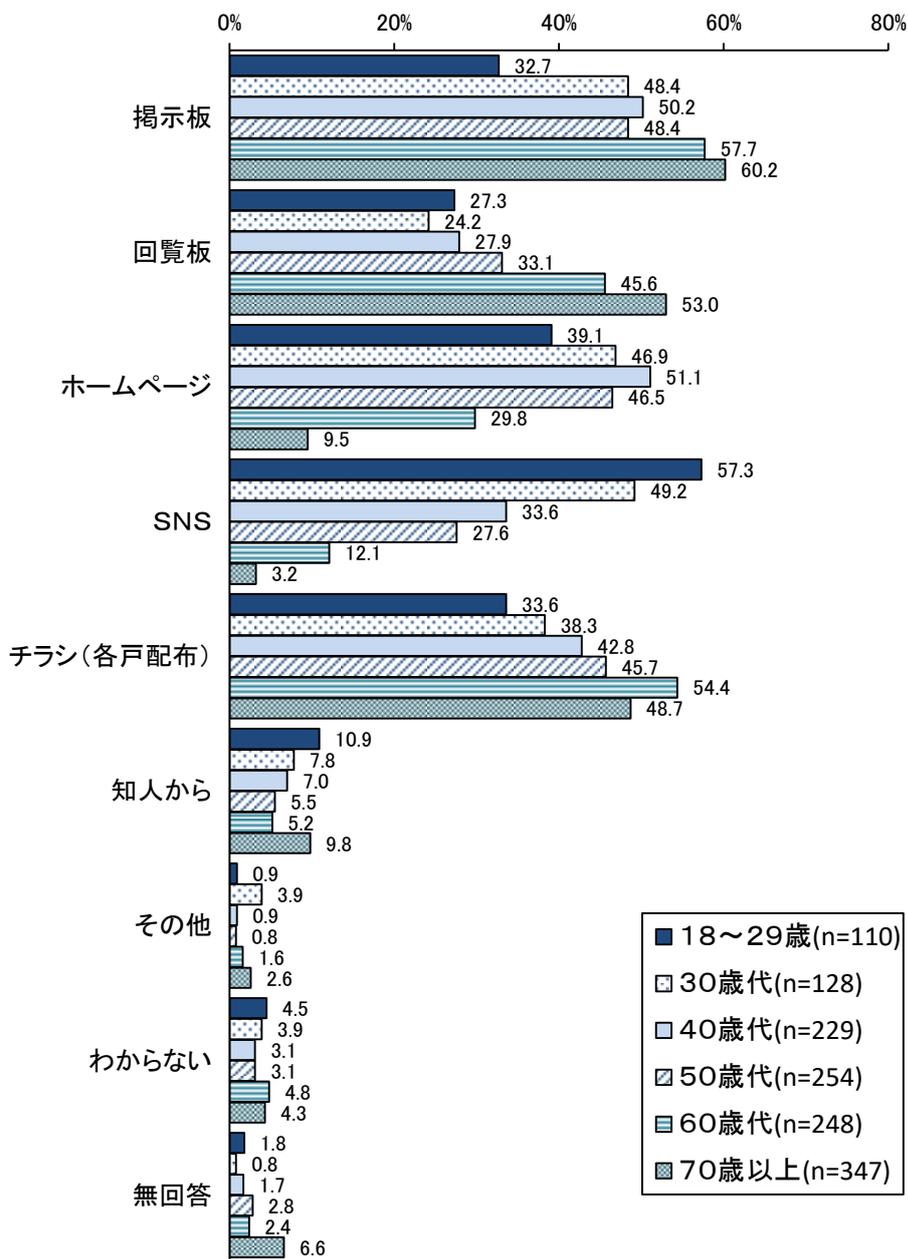
性別にみると、「回覧板」は女性で高く、「ホームページ」「SNS」は男性で高くなっている。その他の項目は大きな差がみられない。



「問 32 地域活動の情報を何から入手できると良いか」（複数回答）－ 3

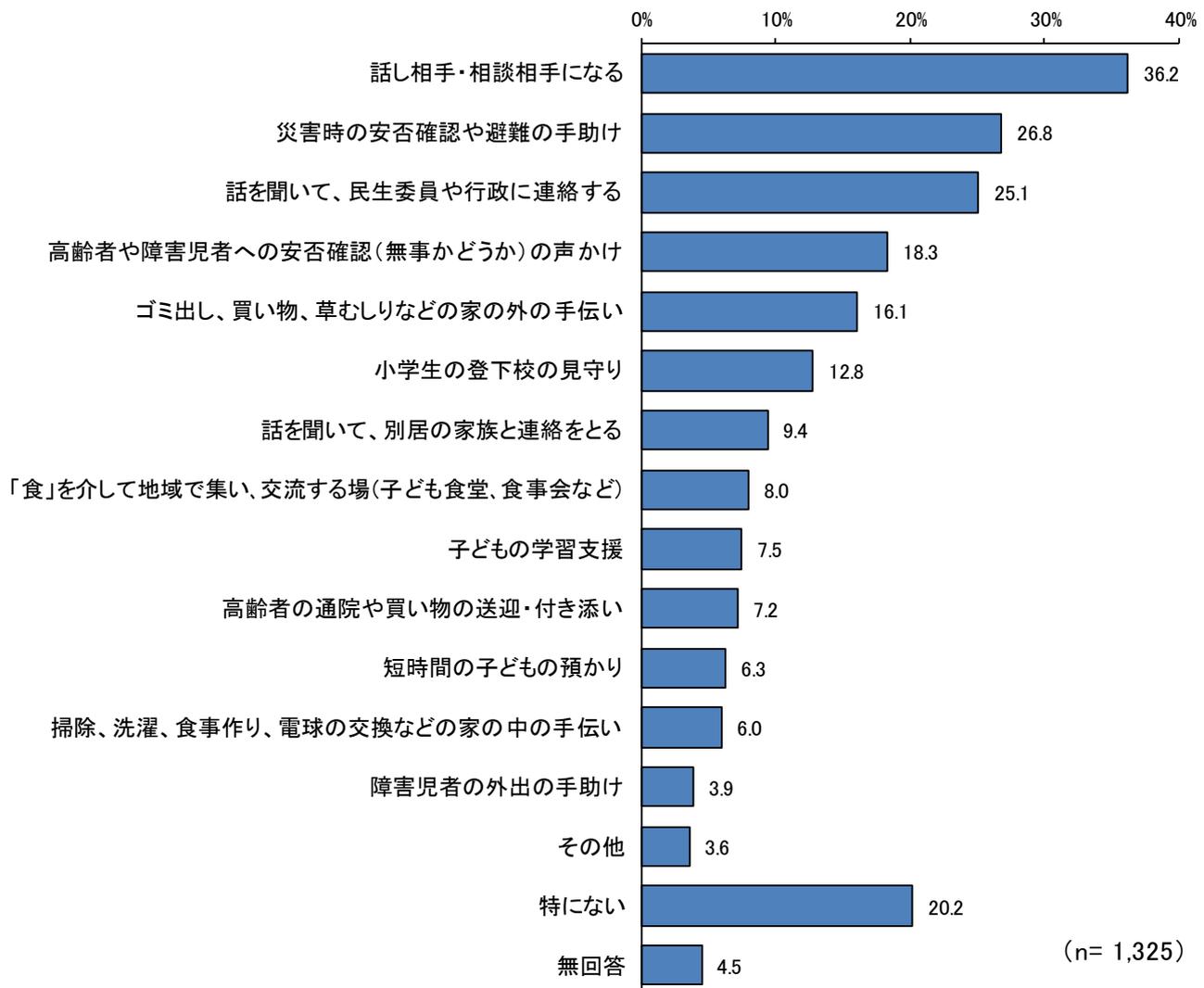
年代別にみると、「掲示板」「回覧板」「チラシ（各戸配布）」はおおむね高齢層の方が割合が高く、若年層では低い。中でも、「掲示板」で18～29歳が約3割と**特に低く**なっているのが目立つ。一方、「SNS」は若い年代ほど割合が高く、18～29歳では6割近くにのぼっている。

【問 32_年代別】



「問 33 隣近所の困っている方にどのような手助けができるか」（複数回答）－ 1

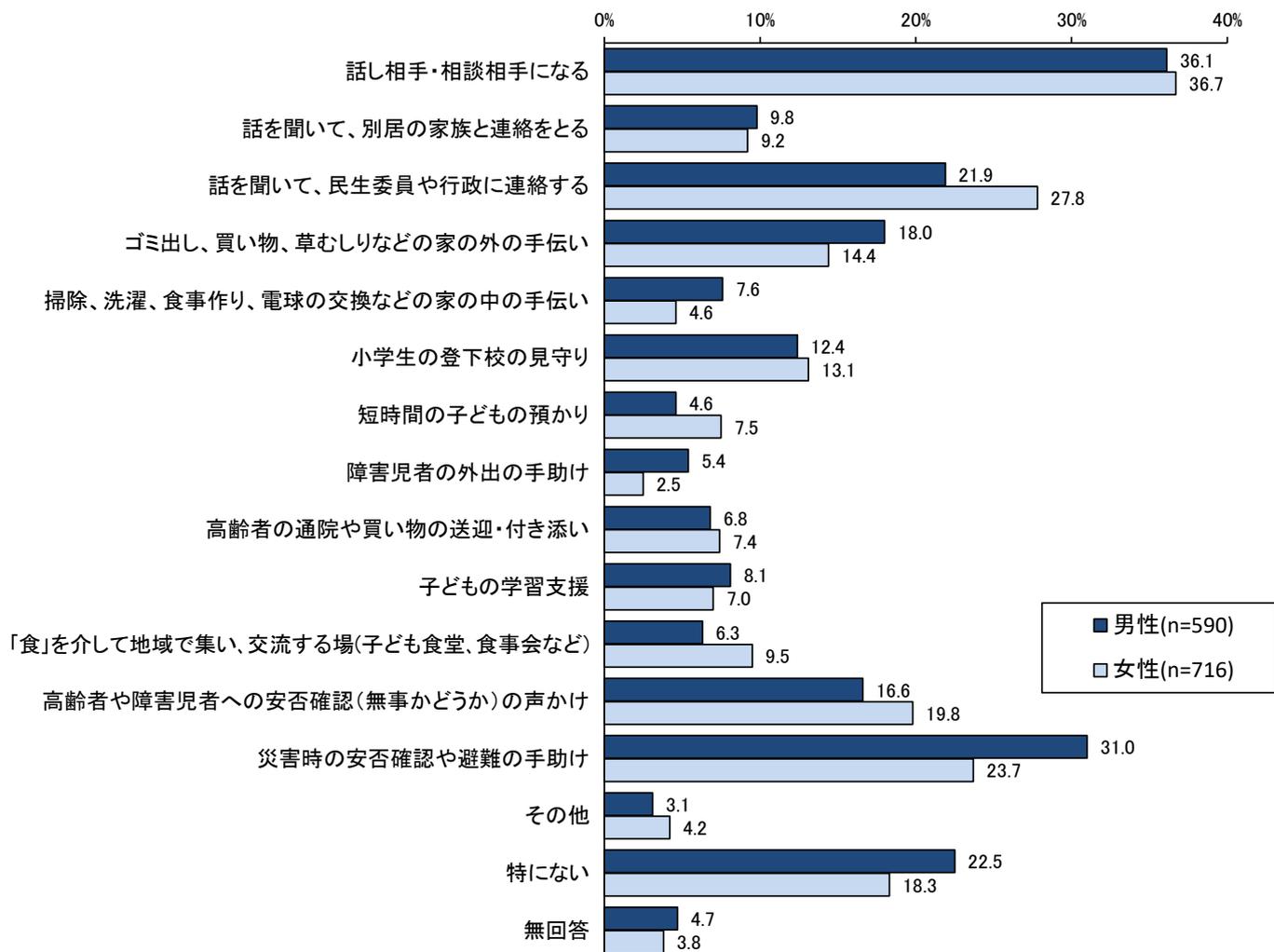
隣近所の困っている方にどのような手助けができるかを尋ねたところ、「話し相手・相談相手になる」が3割半ばで最も高く、次いで「災害時の安否確認や避難の手助け」「話を聞いて、民生委員や行政に連絡する」が2割半ばとなっている。なお、「特にない」という人は約2割となっている。



「問 33 隣近所の困っている方にどのような手助けができるか」（複数回答）－ 2

性別にみると、「話を聞いて、民生委員や行政に連絡する」は女性で高く、「災害時の安否確認や避難の手助け」は男性で高くなっており、この2項目で比較的男女の差が大きくなっている。なお、「特にない」は男性の方が高くなっている。

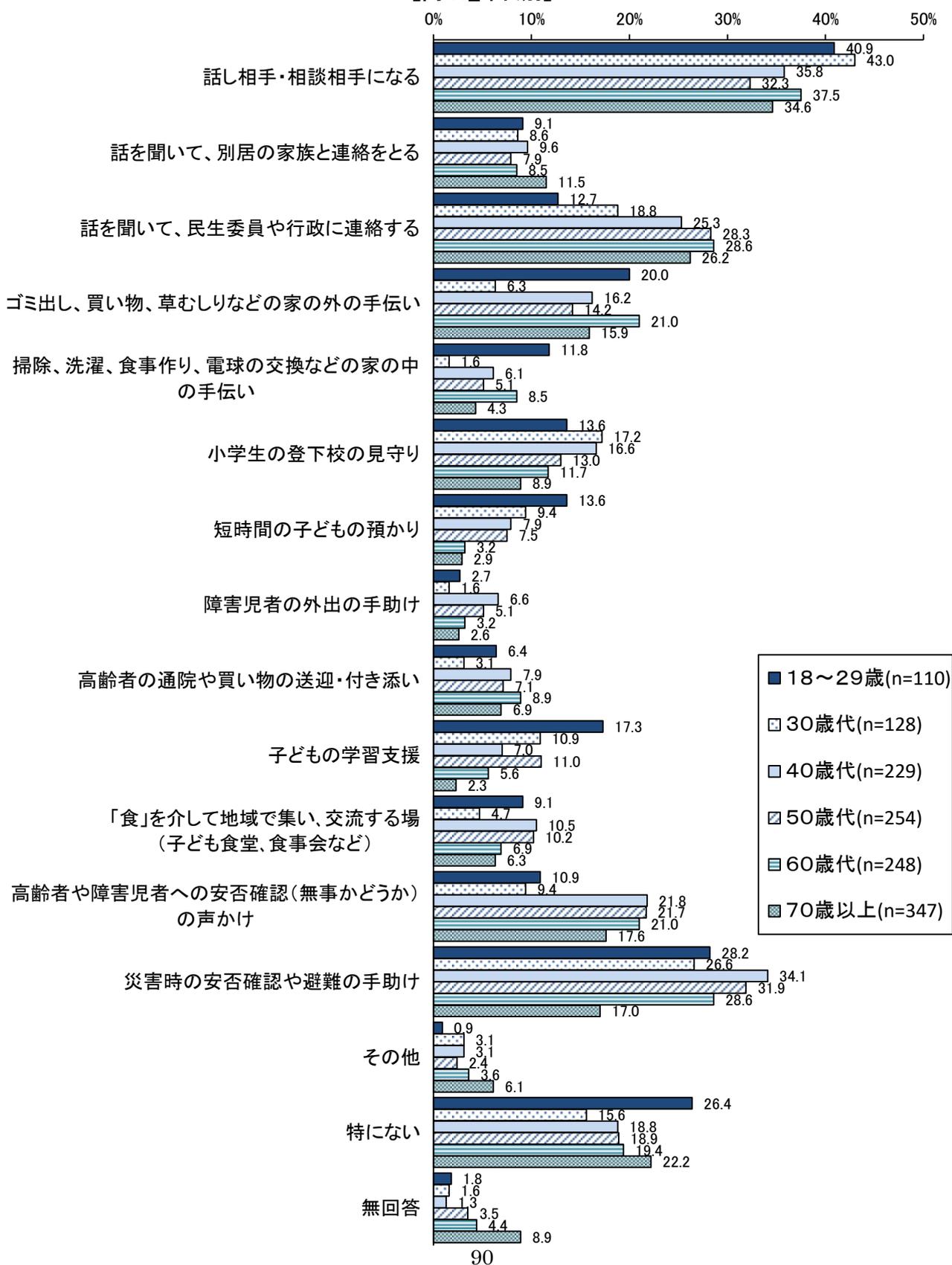
【問 33_性別】



「問 33 隣近所の困っている方にどのような手助けができるか」（複数回答）－ 3

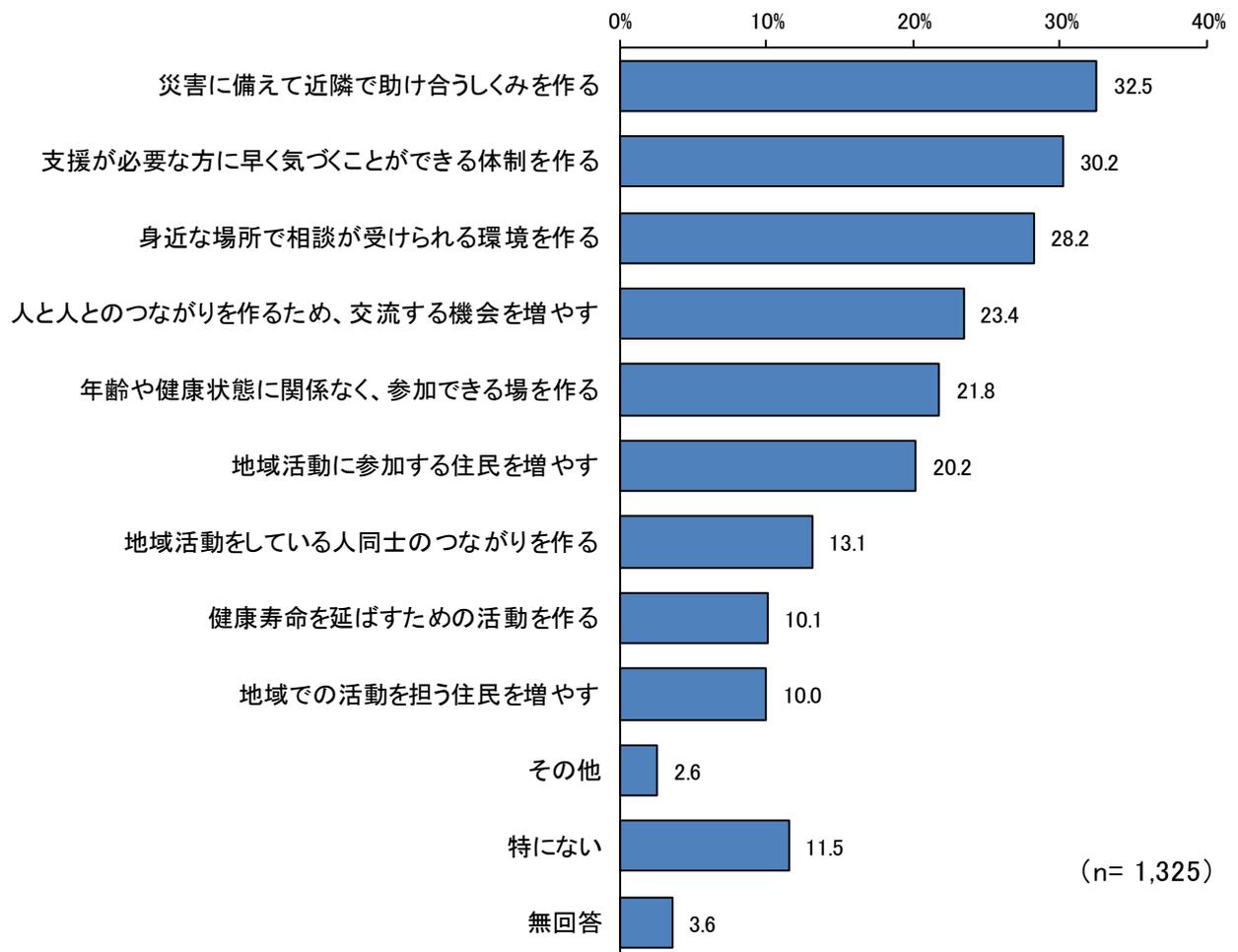
年代別にみると、「話を聞いて、民生委員や行政に連絡する」は若年層で低く、50歳代・60歳代で3割近くと高くなっている。一方、18～29歳が他年代より割合の高い項目も多くみられ、「子どもの学習支援」「短時間の子どもの預かり」「掃除、洗濯、食事作り、電球の交換などの家の中の手伝い」は最も高く、「話し相手・相談相手になる」は約4割で30歳代に次いで高くなっている。

【問 33_年代別】



「問 34 地域が住みやすくなるために特に必要だと考える取組」（3つまで回答）－ 1

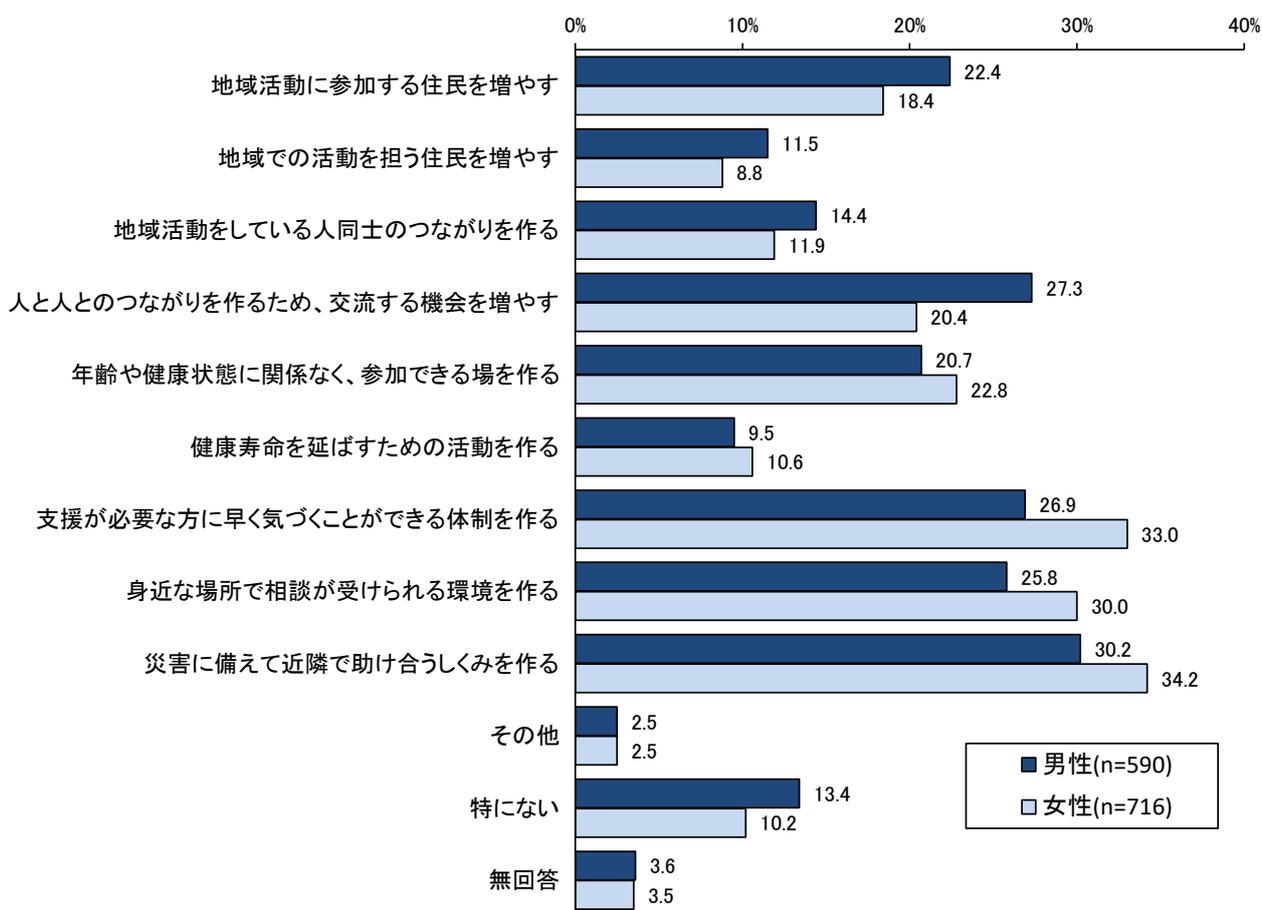
地域が住みやすくなるために特に必要だと考える取組については、「災害に備えて近隣で助け合うしくみを作る」が3割強で最も高く、次いで「支援が必要な方に早く気づくことができる体制を作る」「身近な場所で相談が受けられる環境を作る」が3割前後となっている。以下、「人と人とのつながりを作るため、交流する機会を増やす」「年齢や健康状態に関係なく、参加できる場を作る」「地域活動に参加する住民を増やす」がそれぞれ2割強で続いている。



「問 34 地域が住みやすくなるために特に必要だと考える取組」（3つまで回答）－ 2

性別にみると、「災害に備えて近隣で助け合うしくみを作る」「支援が必要な方に早く気づくことができる体制を作る」「身近な場所で相談が受けられる環境を作る」の上位3項目は、女性の方が高くなっている。男性の方が高い項目は、「人と人とのつながりを作るため、交流する機会を増やす」「地域活動に参加する住民を増やす」などとなっている。

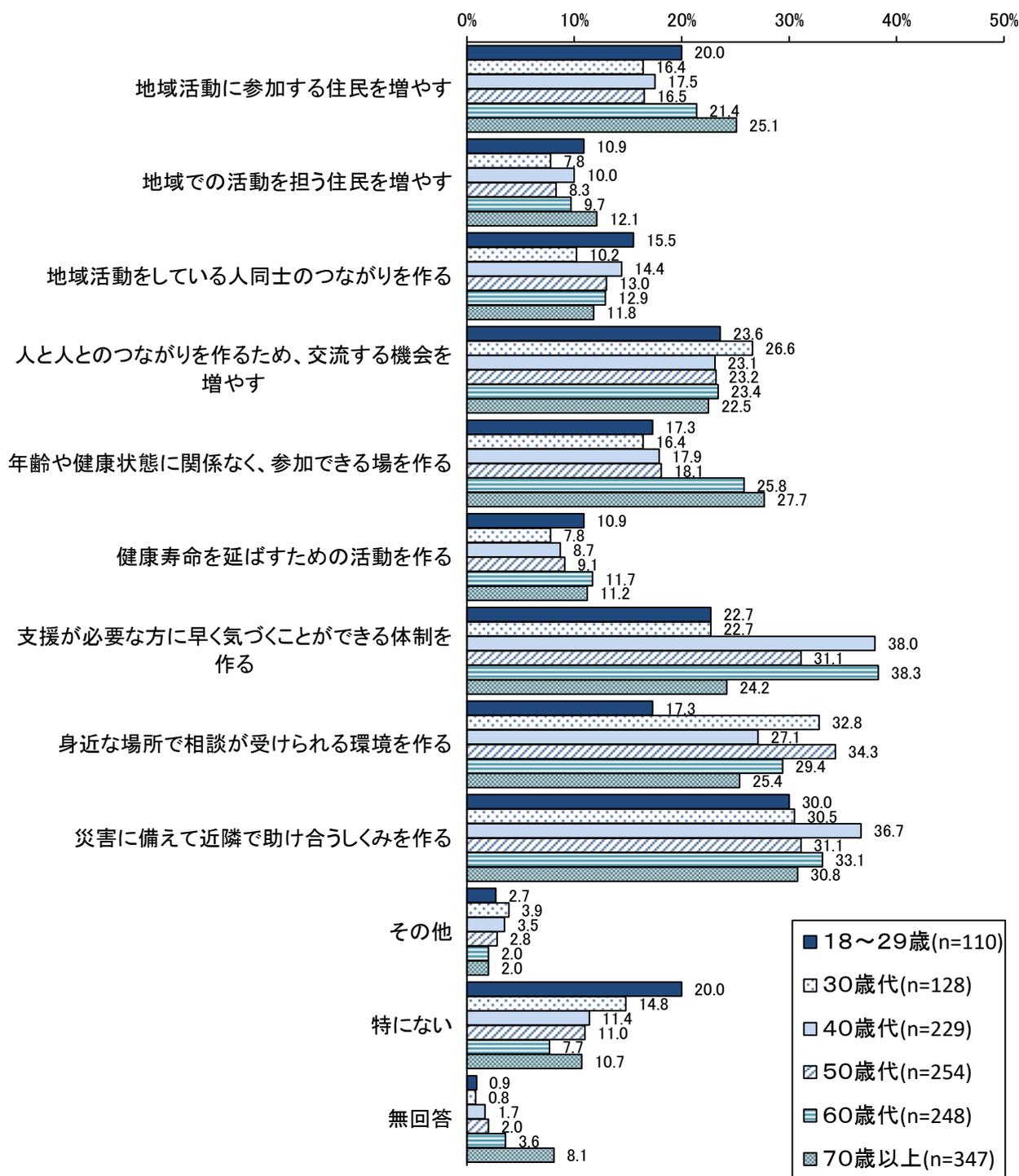
【問 34_性別】



「問 34 地域が住みやすくなるために特に必要だと考える取組」（3つまで回答） - 3

年代別にみると、「災害に備えて近隣で助け合うしくみを作る」は40歳代で最も高くなっている。「人と人とのつながりを作るため、交流する機会を増やす」は30歳代で最も高く、「年齢や健康状態に関係なく、参加できる場を作る」は60歳代・70歳以上の高齢層で高くなっている。

【問 34_年代別】

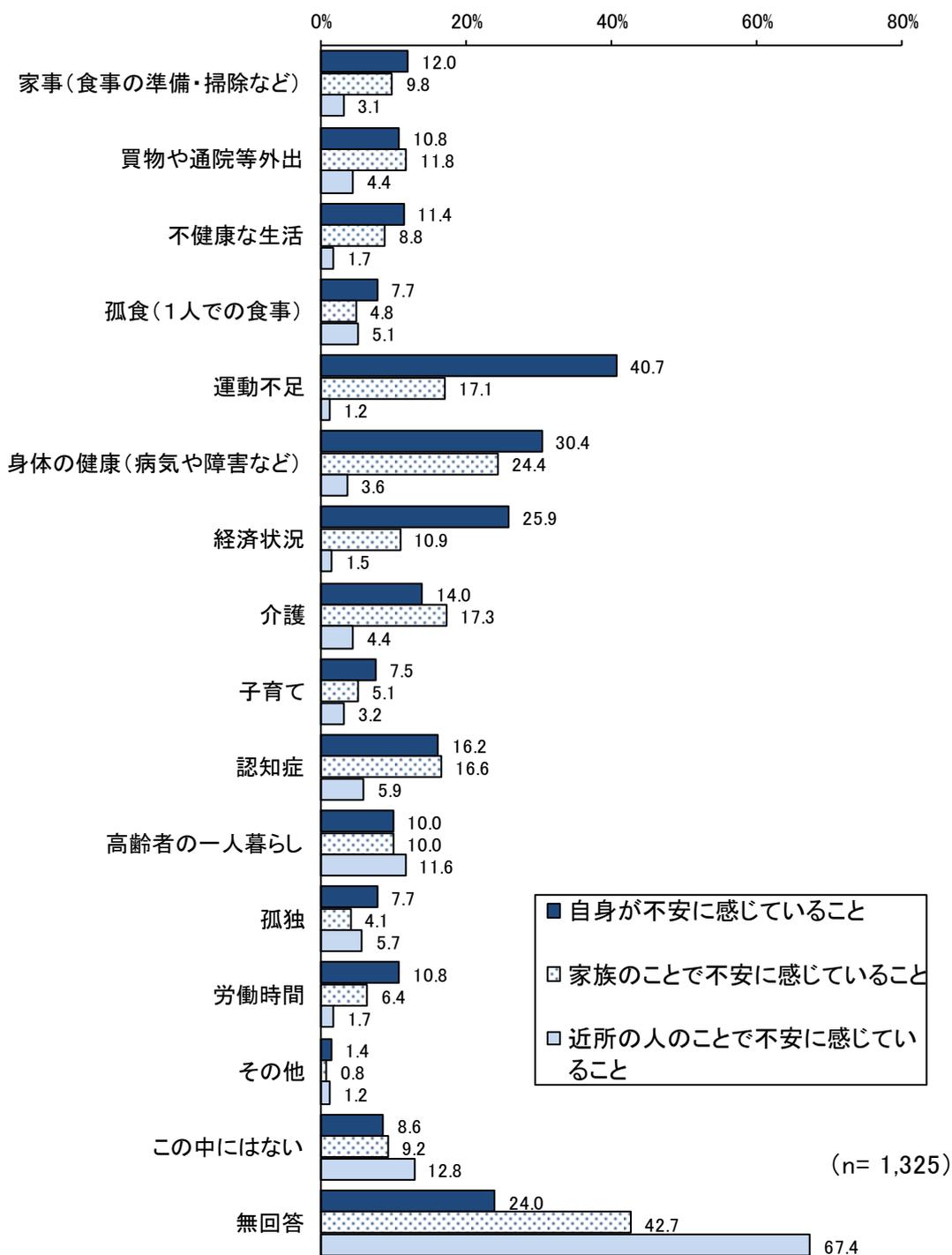


「問 35 不安に感じていること」(複数回答) - 1

自身が不安に感じていることについては、「運動不足」が最も高く、次いで「身体の健康(病気や障害など)」「経済状況」の順となっている。

家族のことで不安に感じていることについては、「身体の健康(病気や障害など)」が最も高く、次いで「介護」「運動不足」「認知症」と続いている。

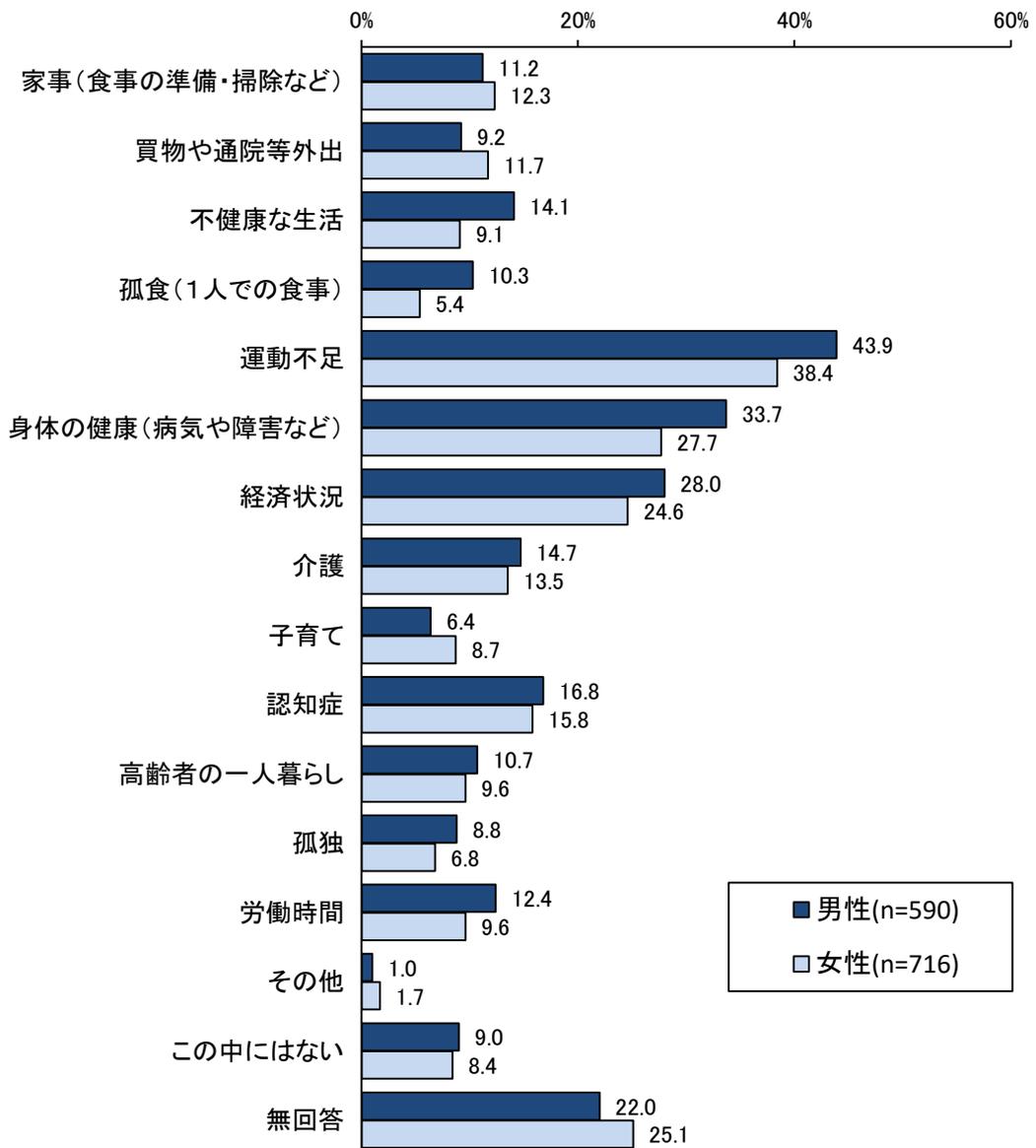
近所の人々のことで不安に感じていることについては、「この中にはない」が最も高く、次いで「高齢者の一人暮らし」「認知症」などとなっている。



「問 35 不安に感じていること」(複数回答) - 2

自身が不安に感じていることを性別にみると、「運動不足」「身体の健康(病気や障害など)」「経済状況」「不健康な生活」など、男性の方が割合の高い項目が多くなっている。一方、「買物や通院等外出」「子育て」は女性の方がやや高くなっている。

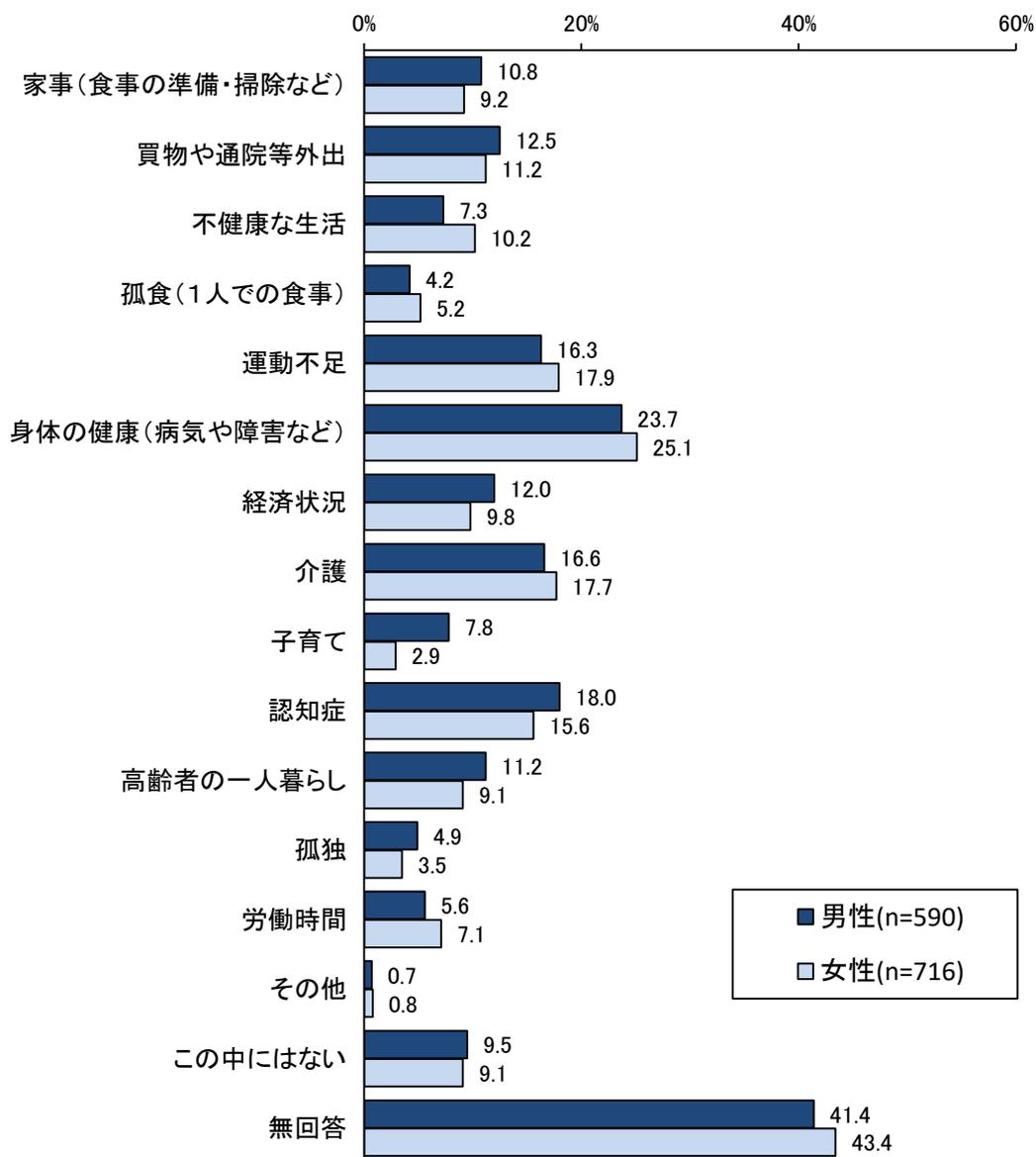
【問 35A 自身が不安に感じていること_性別】



「問 35 不安に感じていること」(複数回答) - 3

家族のことで不安に感じていることを性別にみると、「認知症」「経済状況」「高齢者の一人暮らし」「子育て」で男性の方が高く、「不健康な生活」では女性の方が高くなっている。

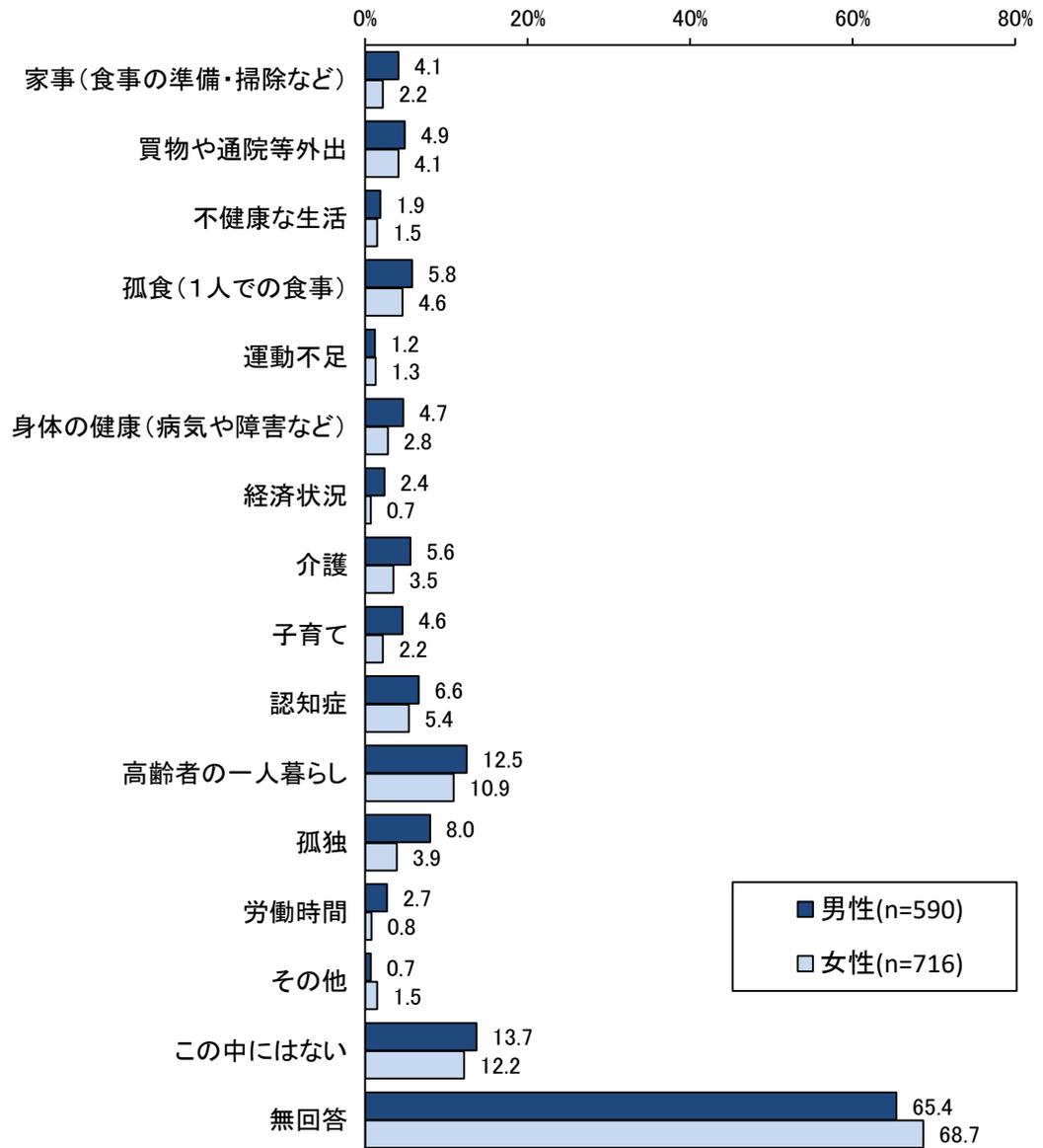
【問 35B 家族のことで不安に感じていること_性別】



「問 35 不安に感じていること」(複数回答) - 4

近所の人のごことで不安に感じていることを性別にみると、「孤独」で男性の方が割合が高くなっている。そのほか、「介護」「身体の健康(病気や障害など)」など男性の方が若干高くなっているものが多い。

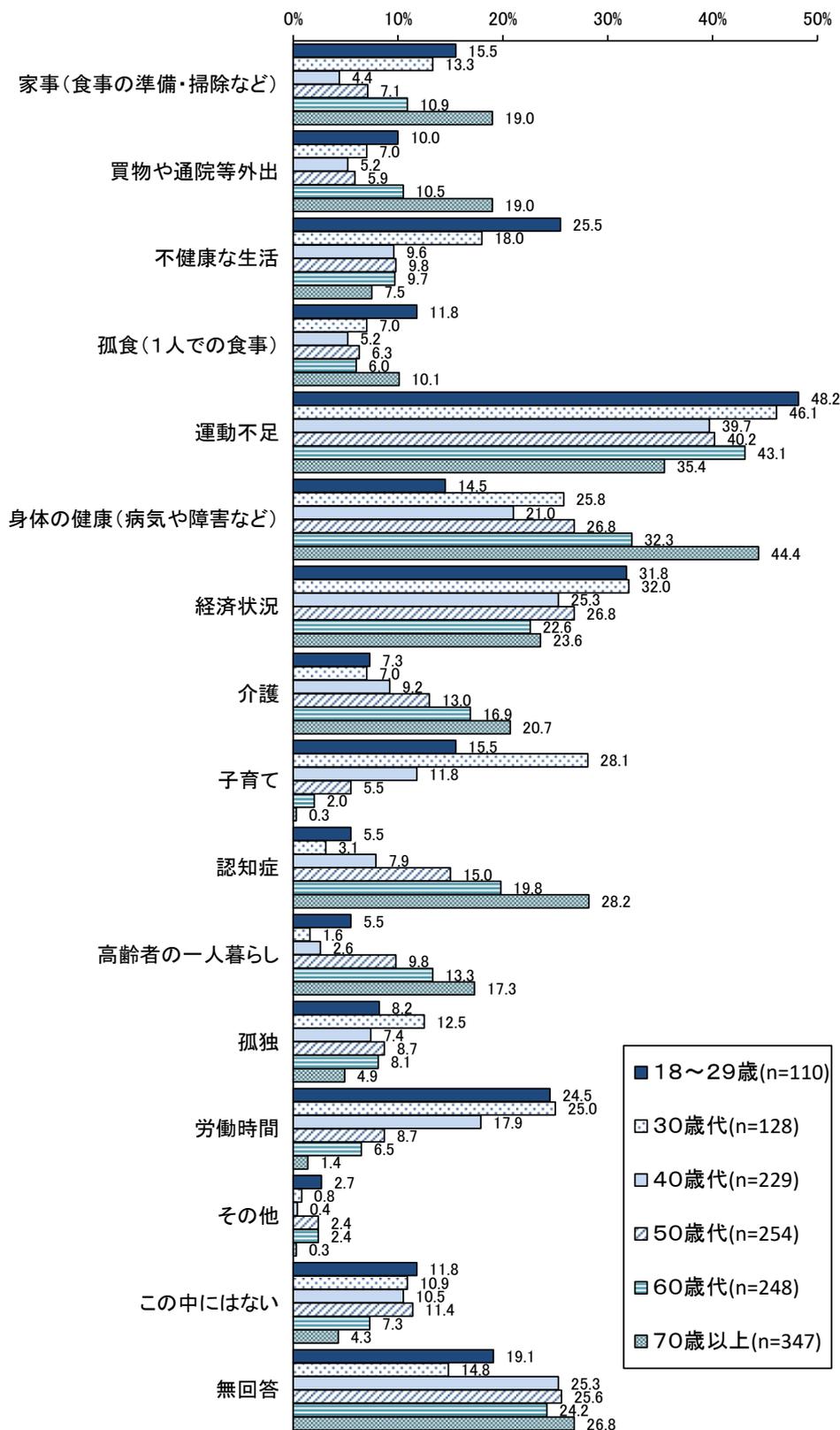
【問 35C 近所の人のごことで不安に感じていること_性別】



「問 35 不安に感じていること」(複数回答) - 5

自身が不安に感じていることを年代別にみると、「運動不足」は18～29歳で最も高く、次いで30歳代、60歳代の順となっている。「身体の健康(病気や障害など)」は70歳以上、「子育て」は30歳代が最も高い。また、「不健康な生活」は18～29歳、「労働時間」は18～29歳・30歳代が他年代に比べ高くなっている。

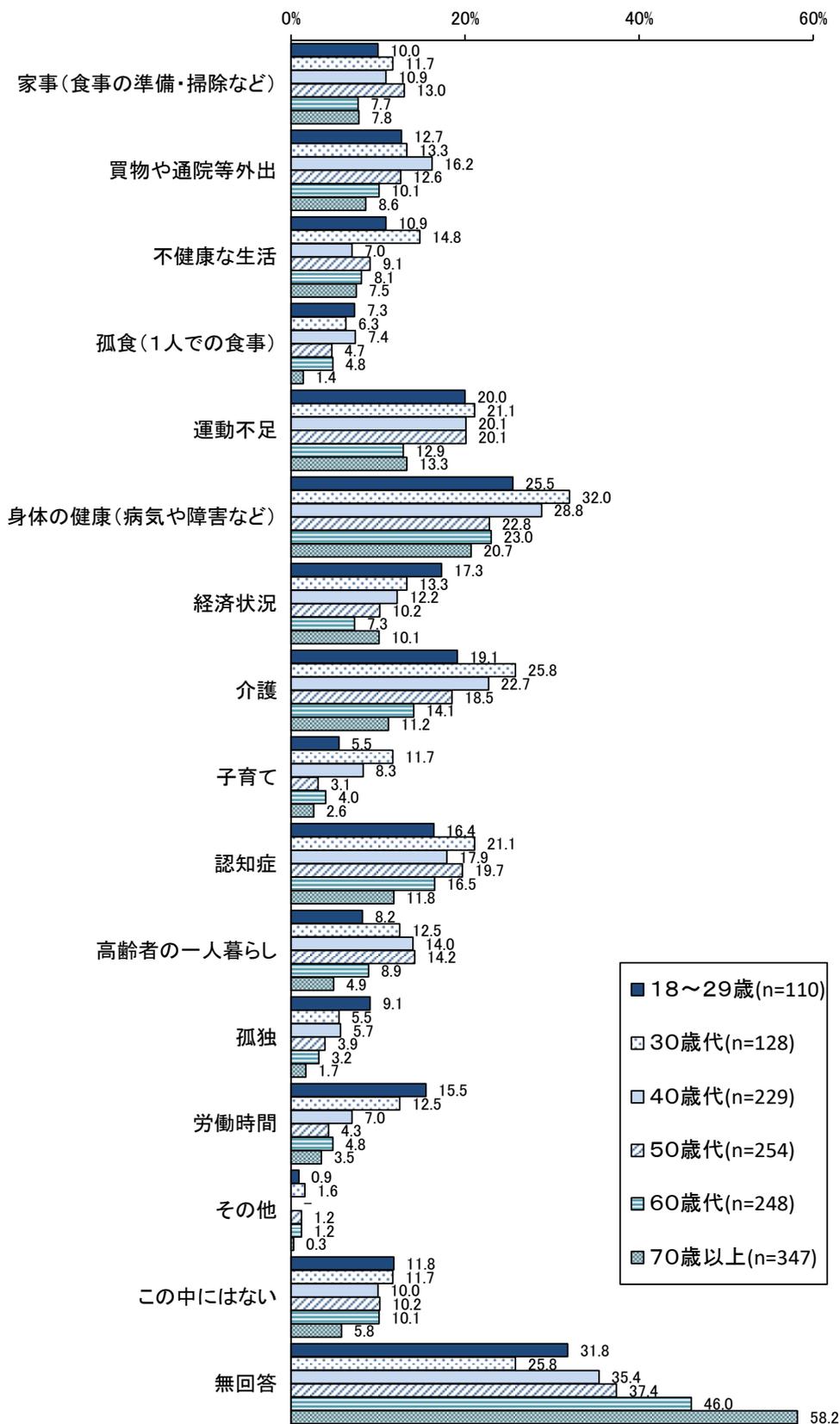
【問 35A 自身が不安に感じていること_年代別】



「問 35 不安に感じていること」(複数回答) - 6

家族のことで不安に感じていることを年代別にみると、「身体の健康(病気や障害など)」「介護」「認知症」「運動不足」「不健康な生活」「子育て」の6項目で30歳代が最も高くなっている。「労働時間」「孤独」は18~29歳が最も高くなっている。

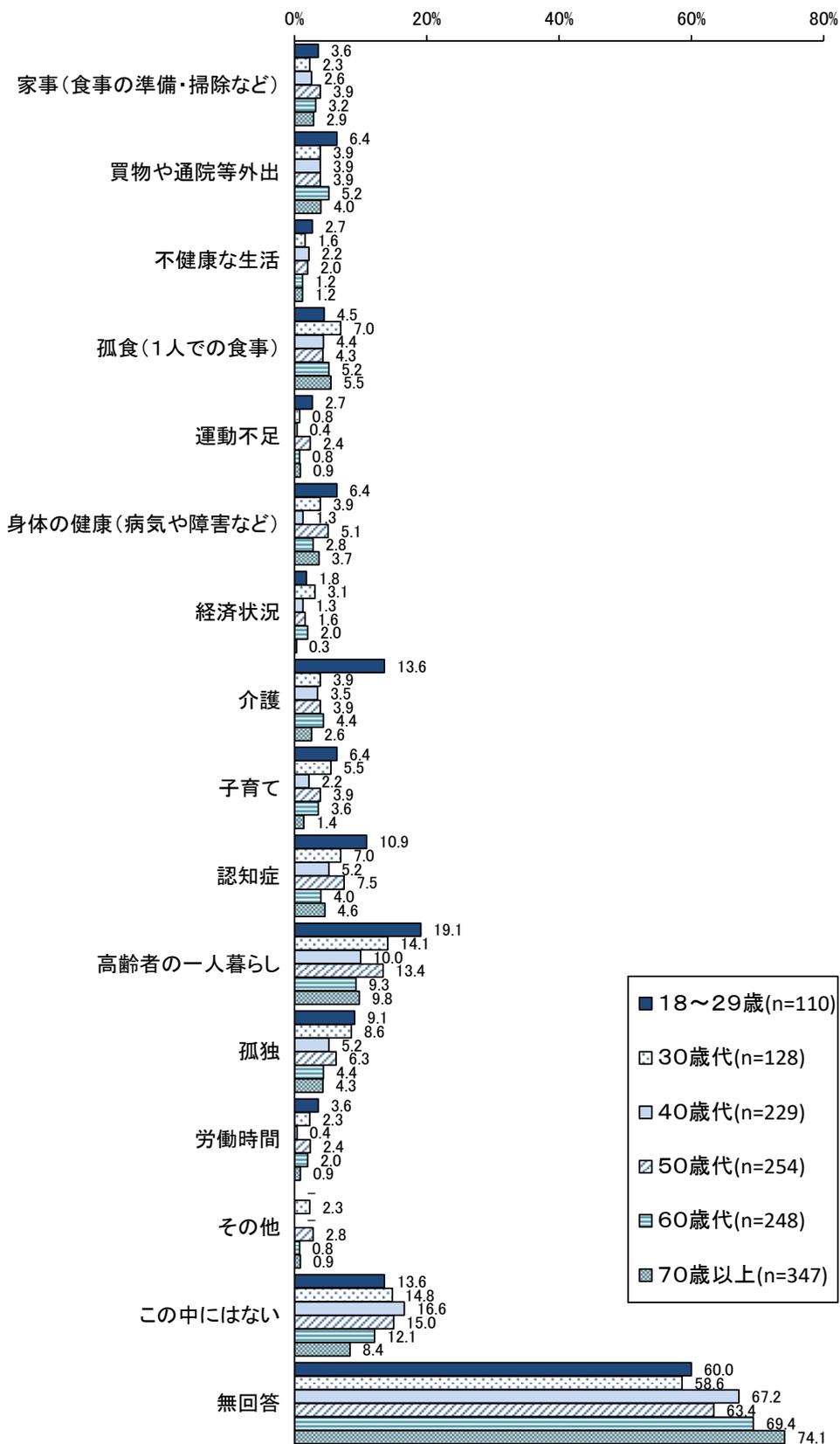
【問 35B 家族のことで不安に感じていること_年代別】



「問 35 不安に感じていること」(複数回答) - 7

近所の人のごことで不安に感じていることを年代別にみると、「高齢者の一人暮らし」「介護」「認知症」など18~29歳が最も割合が高い項目が多くなっている。

【問 35C 近所の人のごことで不安に感じていること_年代別】



「問 35 不安に感じていること」(複数回答) - 8

近所の人のごことで不安に感じていることについて、困っている方への手助け方法別にみると、「高齢者の一人暮らし」は『「食」を介して地域で集い、交流する場(子ども食堂、食事会など)』をできるという人、及び『掃除、洗濯、食事作り、電球の交換などの家の中の手伝い』をできるという人で2割を超え高くなっている。「認知症」は『子どもの学習支援』をできるという人が最も高く、「孤独」は『障害児者の外出の手助け』をできるという人が最も高くなっている。

【問 35 「不健康な生活」_困っている方への手助け方法別】

	n=	除家事(食事の準備・掃除など)	買物や通院等外出	不健康な生活	孤食(1人での食事)	運動不足	害身体(健康(病気や障など))	経済状況	介護	子育て	認知症	高齢者の一人暮らし	孤独	労働時間	その他	この中にはない	無回答
全体	1,325	3.1	4.4	1.7	5.1	1.2	3.6	1.5	4.4	3.2	5.9	11.6	5.7	1.7	1.2	12.8	67.4
話し相手・相談相手になる	480	5.4	7.5	2.7	7.7	2.1	5.8	2.5	6.7	4.4	7.1	15.0	6.9	1.7	1.3	10.8	63.5
話を聞いて、別居の家族と連絡をとる	125	9.6	12.8	4.8	11.2	3.2	8.8	4.0	7.2	5.6	12.8	19.2	8.8	2.4	1.6	12.8	53.6
話を聞いて、民生委員や行政に連絡する	333	4.5	5.7	2.4	7.5	2.1	4.8	1.8	5.4	3.6	7.5	16.8	6.6	2.4	0.9	9.0	63.1
ゴミ出し、買い物、草むしりなどの家の外の手伝い	213	6.6	10.8	4.2	7.5	2.8	7.5	4.2	8.9	8.0	11.7	19.7	9.4	4.2	0.9	8.0	61.5
掃除、洗濯、食事作り、電球の交換などの家の中の手伝い	79	7.6	13.9	6.3	11.4	6.3	11.4	7.6	12.7	10.1	12.7	21.5	12.7	3.8	1.3	7.6	58.2
小学生の登下校の見守り	170	1.8	5.3	2.4	5.3	3.5	3.5	2.4	8.8	5.3	8.8	12.4	7.1	2.9	0.6	11.2	67.6
短時間の子どもの預かり	83	1.2	3.6	4.8	7.2	2.4	6.0	3.6	7.2	4.8	6.0	10.8	7.2	3.6	1.2	10.8	66.3
障害児者の外出の手助け	52	5.8	3.8	3.8	5.8	-	7.7	5.8	9.6	9.6	11.5	19.2	15.4	5.8	1.9	7.7	63.5
高齢者の通院や買い物の送迎・付き添い	95	7.4	9.5	5.3	10.5	3.2	8.4	5.3	7.4	5.3	9.5	15.8	11.6	3.2	1.1	9.5	62.1
子どもの学習支援	100	4.0	8.0	6.0	9.0	2.0	10.0	4.0	10.0	7.0	15.0	19.0	12.0	3.0	1.0	12.0	58.0
「食」を介して地域で集い、交流する場(子ども食堂、食事会など)	106	5.7	9.4	6.6	11.3	2.8	3.8	4.7	4.7	6.6	11.3	21.7	11.3	3.8	1.9	6.6	59.4
高齢者や障害児者への安否確認(無事かどうか)の声かけ	243	4.9	7.8	2.5	10.3	1.6	4.9	2.5	6.6	4.9	10.3	18.5	10.7	3.3	1.2	7.8	60.9
災害時の安否確認や避難の手助け	355	4.2	6.5	3.1	7.3	1.7	4.5	2.5	6.5	3.9	10.1	19.2	10.1	2.3	1.7	11.0	59.2